

Dell™ OpenManage™  
Printer Manager v2.0

ユーザーガイド



## 備考



**注意：**メモは、コンピュータをより有効に使用するための重要な情報を示します。

本書の情報は、事前通知なしに変更される可能性があります。© 2011 Dell Inc. All rights reserved.

いかなる方法によっても、書面による Dell Inc の許可なしで複製することを固く禁じます。

本書では、以下の商標が使用されています。Dell™、DELL ロゴ、OpenManage™ は Dell Inc の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、MS-DOS®、Windows Vista® は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。ThinXtream™ および DeviceMaestro™ は、ThinXtream Technologies Pte. Ltd のシンガポールにおける商標または登録商標です。

本書では、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

2014 年 1 月，改訂 **A01**

## 改訂履歴

リリース	改訂	日付	説明
2.7b	1.0	2013 年 8 月	三の新機能追加：ステータスインジケータ、Active Directory サービス統合と手動給紙トレイ：紙の警告のアウト。 <ul style="list-style-type: none"><li>・インストールの項更新。</li><li>・ナビゲーションの項更新。</li><li>・ユーザー管理の項更新。</li><li>・更新さの概要章。</li><li>・ステータスインジケータの項を新規追加。</li></ul>
2.7c	1.0	2013 年 11 月	新しい機能が 1 つ追加されました：Single Sign-on <ul style="list-style-type: none"><li>・「はじめに」の章が更新されました。</li><li>・「インストール」の章が更新されました。</li><li>・「よくあるお問い合わせ」の章が更新されました。</li></ul>

---

2.7d	1.0	2013 年 11 月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ インストールの項更新。</li><li>・ ユーザー管理の項更新。</li><li>・ トラブルシューティングの項更新。</li><li>・ 「よくあるお問い合わせ」の章が更新されました。</li></ul>
2.7e	1.0	2014 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 更新されたマップの章を参照してください。</li><li>・ 更新されたレポートの章を参照してください。</li></ul>

---



# 中身

1	はじめに	13
	OMPM のアーキテクチャ	13
	OMPM の起動	15
	Single Sign-on (SSO)	17
	ヘルプを表示するには	21
2	インストール	23
	前提事項	24
	前提条件	25
	OMPM のインストール	26
	Active Directory (AD) 認証の設定	31
	Single Sign-On の設定	35
	OMPM のアップグレード	42
	OMPM のアンインストール	48
3	ナビゲーション	33
	タイトルバー	34
	ナビゲーションパネル	35

ナビゲーションパネルの表示 / 非表示 . . . . .	37
ショートカット . . . . .	37
コンテンツ領域 . . . . .	38
ヘルプパネル . . . . .	42
<b>4 ステータスインジケータ . . . . .</b>	<b>45</b>
ステータスマニターウィジェット . . . . .	48
<b>5 概要 . . . . .</b>	<b>51</b>
プリンタの状態の表示 . . . . .	52
プリンタの状態 . . . . .	54
操作 . . . . .	55
リストビュー . . . . .	55
タイルビュー . . . . .	55
検索 . . . . .	56
リフレッシュ . . . . .	56
設定 . . . . .	57
(削除) . . . . .	57
<b>概要列のカスタマイズ . . . . .</b>	<b>58</b>
ポーリングサイクルのカスタマイズ . . . . .	59
プリンタの詳細情報 . . . . .	60
プリンタの詳細情報の表示と変更 . . . . .	60
フィールドの説明 . . . . .	60
このプリンタをマップに表示 . . . . .	63

<b>6</b>	<b>プリンタグループの管理</b> .....	<b>83</b>
	グループの種類 .....	84
	グループの追加 .....	86
	プリンタをグループに追加する .....	88
	プリンタのブロック .....	90
	プリンタの削除 .....	90
	グループの編集 .....	90
	グループの削除 .....	92
<b>7</b>	<b>マップ</b> .....	<b>93</b>
	操作 .....	94
	マップの追加 .....	97
	マップの編集 .....	99
	マップの削除 .....	101
	プリンターの追加と削除 .....	103
<b>8</b>	<b>レポート</b> .....	<b>103</b>
	レポートの生成 .....	110
	カスタムレポートの作成 .....	112
	カスタム レポートを削除する .....	114
	電子メールとレポートのスケジュール .....	116

<b>9</b>	<b>検出</b> .....	<b>117</b>
	プリンタの検出.....	<b>118</b>
	単一の IP を使用したプリンタの検出.....	121
	IP 範囲を使用したプリンタの検出.....	123
	サブネットマスクを使用してプリンタを検出.....	125
	CSV ファイルから IP アドレスをインポートしてプリンタを検出.....	126
	検出のスケジュール.....	<b>128</b>
	毎日検出のスケジュール.....	128
	毎週検出のスケジュール.....	129
	1 回検出のスケジュール.....	130
	検出の中止.....	<b>132</b>
<b>10</b>	<b>テンプレート</b> .....	<b>133</b>
	テンプレートの種類.....	<b>134</b>
	コンポーネントのテンプレート.....	<b>134</b>
	新しいテンプレートの登録.....	<b>144</b>
	既存のテンプレートの更新.....	<b>146</b>
<b>11</b>	<b>接続</b> .....	<b>149</b>
	設定の更新.....	<b>150</b>
	SNMP v3 の接続をテストする.....	<b>154</b>
<b>12</b>	<b>アップグレード</b> .....	<b>155</b>
	既存のファームウェアツールの関連付け.....	<b>156</b>

ファームウェアのアップグレード	160
<b>13 アラート</b>	<b>161</b>
アラートの構成	162
トラブルチケットアラートテンプレートの使用	165
トラブルチケットアラートテンプレートの作成とインストール	166
メール件名変数	167
メール本文変数	167
パラメータグループ変数	169
カスタムトラブルチケットアラートテンプレートのマッピングアラートタイプ	171
アラートマップ変数のあるテンプレート	171
アラートマップ変数のないテンプレート (OMPM のデフォルトアラートテンプレートに適合)	172
サンプルアラートテンプレート	172
サンプル 1: トナーレベルのアラートの作成	172
サンプル 2: ドラムレベルのアラートの作成	173
サンプル 3: 特定のトナーレベルのアラートの作成	174
サンプル 4: アラートマップ変数のあるカスタムトナーテンプレート	174
SMTP/ 電子メール設定の構成	175
アラートの削除	176
電子メールアラートの形式	177
プリンタの消耗品に関する電子メールアラート	177
オフラインのプリンタに関する電子メールアラート	178
電子メールトラップのアラート	178

<b>14</b>	<b>構成</b> .....	<b>181</b>
	プリンタ設定の適用.....	<b>182</b>
<b>15</b>	<b>スケジュール</b> .....	<b>185</b>
	スケジュール済みタスクの更新.....	<b>186</b>
	スケジュール済みタスクの削除.....	<b>188</b>
<b>16</b>	<b>ログ</b> .....	<b>189</b>
	ログの表示.....	<b>190</b>
	ログファイルの保存.....	<b>192</b>
<b>17</b>	<b>ユーザー管理</b> .....	<b>193</b>
	ユーザーロール.....	<b>194</b>
	OMPM からの Active Directory (AD) 認証の設定.....	<b>196</b>
	Single Sign-On の有効化 / 無効化 (SSO) 設定.....	<b>198</b>
	ユーザーの追加.....	<b>200</b>
	ユーザーの更新.....	<b>207</b>
	ユーザーの削除.....	<b>210</b>
<b>18</b>	<b>データベースのクリーンアップ</b> .....	<b>211</b>
	ロールアップの操作.....	<b>212</b>
	DB クリーンアップのスケジュール.....	<b>212</b>
	毎月 DB クリーンアップをスケジュールする.....	<b>213</b>

瞬時に DB クリーンアップをスケジュールする . . . . .	214
あとで 1 度きりの DB クリーンアップをスケジュールする . . . . .	215
<b>19 データベース バックアップ . . . . .</b>	<b>217</b>
データベースのバックアップ設定のスケジュール . . . . .	218
データベースの毎日バックアップ設定のスケジュール . . . . .	218
データベースの毎週バックアップ設定のスケジュール . . . . .	219
データベースの毎月バックアップ設定のスケジュール . . . . .	220
DB バックアップスケジュールを瞬時にスケジュールする . . . . .	221
あとで 1 度きりの DB クリーンアップ設定をスケジュールする . . . . .	223
データベースのバックアップの復元 . . . . .	224
<b>20 プラグインの管理 . . . . .</b>	<b>225</b>
プラグインの追加 . . . . .	226
プラグインの削除 . . . . .	227
<b>21 トラブルシューティング . . . . .</b>	<b>227</b>
エラーコードの一覧 . . . . .	229
<b>22 よくある質問 . . . . .</b>	<b>265</b>
アラートテンプレート . . . . .	266
プラグインの管理 . . . . .	269
Single Sign-on (SSO) . . . . .	271

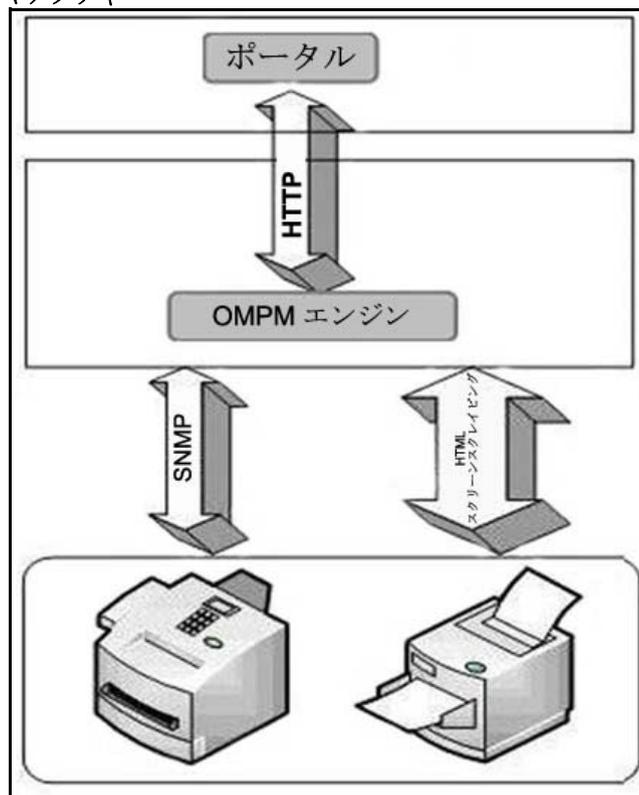


## はじめに

Dell™ OpenManage™ Printer Manager (OPPM) は、企業ネットワーク上のデル製および非デル製プリンタの管理と監視を行います。OPPM は、プリンタのモデルまたは場所に基づいてプリンタをグループ化し、プリンタの正常性を監視します。

### OPPM のアーキテクチャ

図 1-1. OPPM のアーキテクチャ



OMPM のアーキテクチャ ダイアグラムは、さまざまなコンポーネント（ポータルおよび OMPM エンジン） およびネットワーク上のプリンタ間の通信を図示しています。

ポータルはプリンタの情報を表示するインターフェースです。ポータルおよび OMPM エンジンは、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）を使用してプリンタと通信します。

OMPM は、簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）を使用してネットワーク上のプリンタを検出します。SNMP および HTTP はプリンタと通信し、プリンタデータを収集し、デバイスパラメータを取得または設定します。

OMPM エンジンは、プリンタのユーザー、構成、グルーピング、検出、正常性の状態および他の関連パラメータに関する情報を管理するデータベースに接続され、構成、テンプレート、トラップ、検出されたデバイス、正常性の状態、プリンタの状態値に関する情報を保存します。

## OMPM の起動

OMPM を起動するには：

- 1 URL にアクセスします。URL の形式：`http://ipaddress:<Port>/OMPM/OMPM.html`

-  **注意：** *ipaddress* は OMPM サーバーの IP アドレスです。
-  **注意：** OMPM ポータルにアクセスするには、Adobe Flash Player が必要です。
-  **注意：** インストール中にポートが選択されます。選択された HTTP ポートが 80 の場合、ポート番号を URL に入力する必要はありません。

図 1-2. ログインウィンドウ



DELL OPENMANAGE™ Printer Manager

---

ログイン

XI-VISTABUS-32 | OpenManage Printer Manager

ユーザー名とパスワードを入力してから [送信] をクリックしてください。

ユーザー名:

パスワード:

キャンセル 送信

2 表示されるウィンドウで、ユーザー名とパスワードを入力します。

3 **Submit** (送信) をクリックします。

 **注意**： OPM ポータルのデフォルトのユーザー名とパスワードは、それぞれ **admin** と **welcome** です。

OPM の評価版をお使いの場合、**License** (ライセンス) ウィンドウが 表示されます。

図 1-3. ライセンスウィンドウ



 **注意**： パーマネント・ライセンス・キーを入力すると、その後のログインで **License** (ライセンス) ウィンドウは表示されません。

## Single Sign-on (SSO)

Windows ログインの資格情報を使用して Active Directory ユーザーとして、OMPM にログインすることができます。その場合、OMPM のログインページで、ユーザー名とパスワードを入力する必要はありません。ボタンをクリックして認証することで、OMPM とその機能にアクセス権が付与されます。

使用を開始する前に、OMPM の Single Sign-On は、ウェブブラウザでこの機能を使用するための構成が必要です。構成の詳細については、この文書の最後にある Single Sign-On の FAQ を参照してください。

OMPM 開始するには：

- 1 URL にアクセスします。URL の形式は次のとおりです。

**http:// ホスト名 :<ポート>/OMPM/OMPM.html**



**注意：** ホスト名は OMPM がインストールされているホスト名である必要があります。



**注意：** ホスト名と IP アドレスとのマッピングエントリを Windows マシンのホストのファイルに追加する必要があります。

図 1-4. ログイン ウィンドウ



DELL OPENMANAGE™ Printer Manager

ログイン

TEST SERVER | OpenManage Printer Manager

ユーザー名とパスワードを入力してから [送信] をクリックしてください。

ユーザー名:                      パスワード:

Windowsログイン認証情報を使用します

キャンセル                      送信

- 表示されたウィンドウで、**Windows ログイン資格情報を使用する** チェックボックスを選択します。

 **注意：** この機能は、IE、Chrome、および Mozilla Firefox ウェブブラウザでサポートされています。Windows のログイン資格情報を使用するためのこのチェックボックスは、他のウェブブラウザで表示されません。

 **注意：** インストール時に Single Sign-On を構成していない場合は、チェックボックスが表示されません。設定手順については、Single Sign-On の設定手順 のセクションを参照してください。

- 送信** をクリックします。  
認証に成功すると OMPM にログインできます。

図 1-5. エラーメッセージ



 **注意：** OMPM に Single Sign-On を使用してサインインするには、管理者が ADS ユーザーを OMPM に追加する必要があります。OMPM に ADS ユーザーを追加する方法については、[ユーザー管理](#) の章を参照してください。

図 1-6. エラーメッセージ



 **注意：** Single Sign-on を動作させる構成情報については この文書の最後にある、よくあるお問い合わせ を参照してください。

## ヘルプを表示するには

ヘルプセットには、ユーザーガイドとオンラインヘルプが含まれます。

ユーザーガイドは本製品と共にインストールされます。オンラインヘルプは状況依存のヘルプです。



## インストール

本セクションには、Dell™ OpenManage™ Printer Manager (OPPM) のインストールとアンインストールについての情報が記載されています。OPPM は、次世代の Dell プリンタ管理ソフトウェアです。

## 前提事項

以下は、インストール前の前提事項です。

- ・ あなたが管理者権限のあるユーザーである場合にのみ、OMPM のインストールとアンインストールが可能です。
- ・ OMPM は次の前提条件をインストールします：
  - ・ JBoss 7
  - ・ Microsoft Visual C++ 2008 Runtime
- ・ OMPM は、最低必要となる JRE のバージョン 6 および Postgres バージョン 8.4 がインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は、次の必須コンポーネントをインストールします。
  - ・ Java Runtime 1.7
  - ・ PostgreSQL 8.4
- ・ OMPM がインストールされるコンピュータで、次のポートを開いておく必要があります：
  - ・ ポート 80 または 8080:OMPM の Web インターフェースは、このポートを使用します
  - ・ ポート 162:SNMP トラップを受信するためのポート
  - ・ ポート 389, 636:LDAP および LDAP -SSL 経由の AD 通信用のポート

## 前提条件

OMPM のインストールに必要なシステム :

- ・ ブラウザの要件 :
  - ・ Internet Explorer 6+
  - ・ Firefox 2+
  - ・ Chrome 1+
  - ・ Safari 4
- ・ ハードウェア要件 :
  - ・ デバイス数 100 台以下 :2 GHz のプロセッサ。2 GB の RAM。
  - ・ デバイス数 1500 台以下 :2 GHz のデュアルコアプロセッサ。3 GB の RAM。
  - ・ デバイス数 5000 台以下 :2 GHz のデュアルコアプロセッサ。4 GB の RAM。
- ・ サポートされているオペレーティング システム : (32 ビットおよび 64 ビット) :
  - ・ Windows 8.1, Enterprise
  - ・ Windows 8, Enterprise
  - ・ Windows XP Pro
  - ・ Windows Server 2008 SE および R2
  - ・ Windows Server 2012
  - ・ Win Server 2003 SE
  - ・ Win 7 Business、Ultimate
  - ・ Win Vista Business、Ultimate
  - ・ 上記のゲスト OS を搭載した仮想 PC
- ・ サポートされているオペレーティング システム : (64 ビット) :
  - ・ Windows Server 2012 R2

## OMPM のインストール

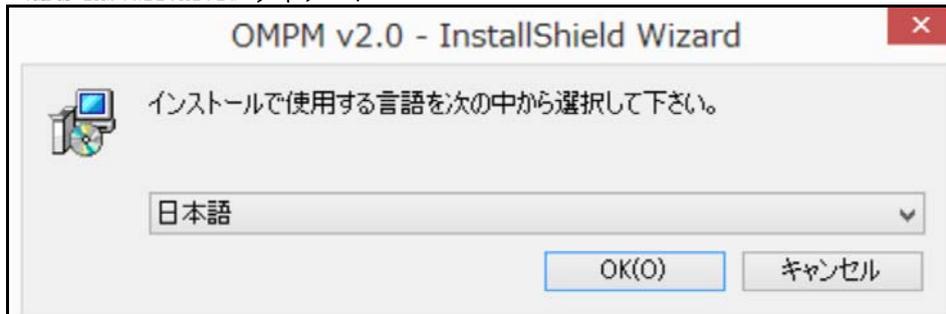
OMPM は、インターネットを通して配布される OMPM インストーラ パッケージを使用してインストールされます。OMPM インストーラ パッケージは、Dell の VeriSign 証明書を使って認証が行われます。このインストーラ パッケージには、すべての前提条件およびプリンタの型式に対応するテンプレートが含まれています。

-  **注意：** あなたが OMPM をインストールする管理者権限を持たない場合、設定はキャンセルされます。
-  **注意：** OMPM のインストール中に古いバージョンの Java Runtime が検出された場合、セットアップは内部でチェックを行い、OMPM でサポートされているバージョンにアップグレードされます。

OMPM をインストールするには、次の手順を実行します：

- 1 Dell の Web ウェブサイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) から、OMPM インストーラ パッケージをダウンロードします。
- 2 インストーラ ファイルをダブルクリックします。  
OMPM InstallShield ウィザードウィンドウが表示されます。

図 2-1. OMPM InstallShield ウィザード



- 3 インストール時の言語を選択します。
    -  **注意：** OMPM でサポートされていない言語でオペレーティングシステムに OMPM をインストールする場合、デフォルトでは、英語版がインストールされます。
- OMPM v2.0 の準備画面が開きます。

図 2-2. OPM v2.0 の準備画面

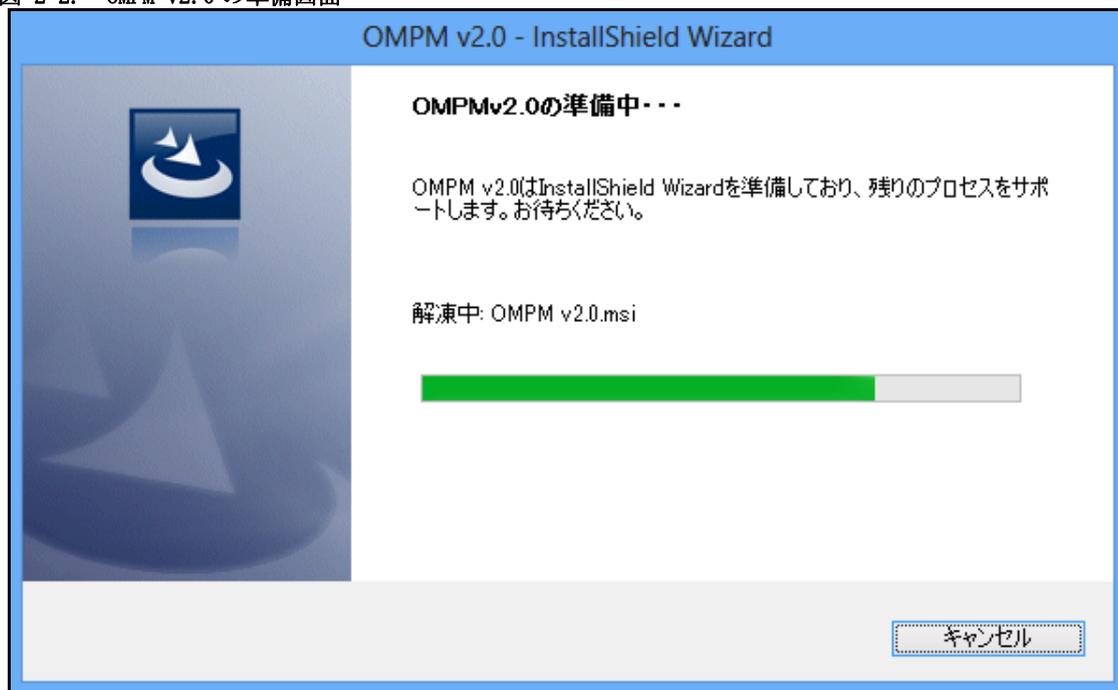
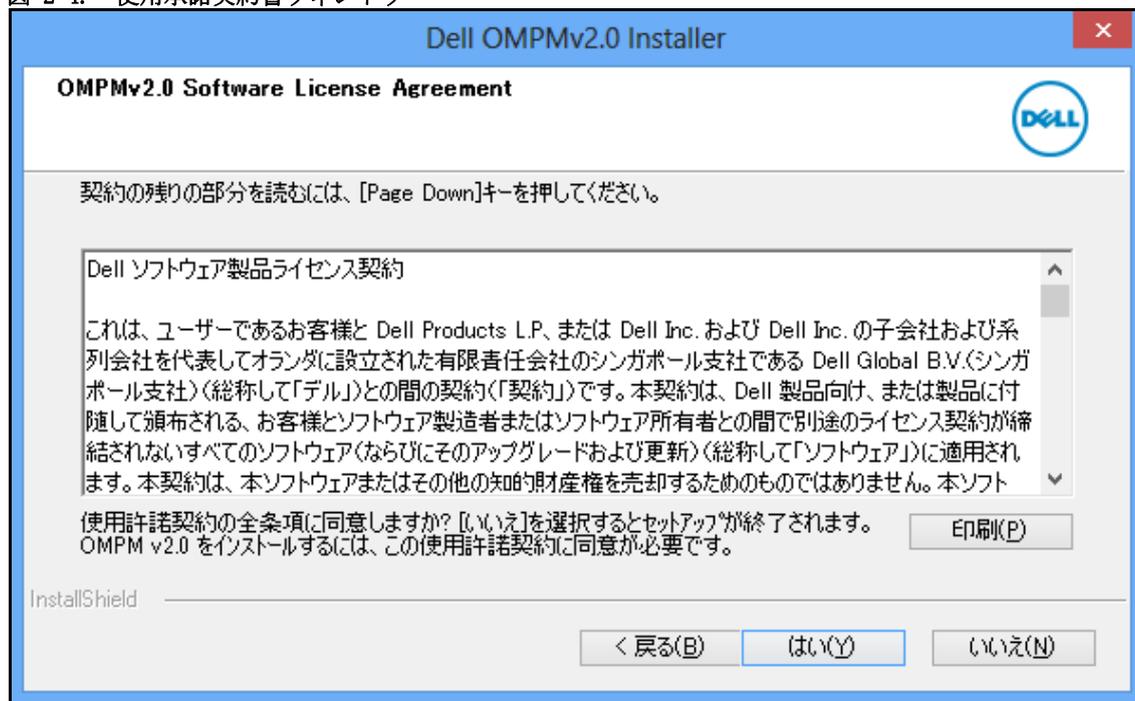


図 2-3. ようこそウィンドウ



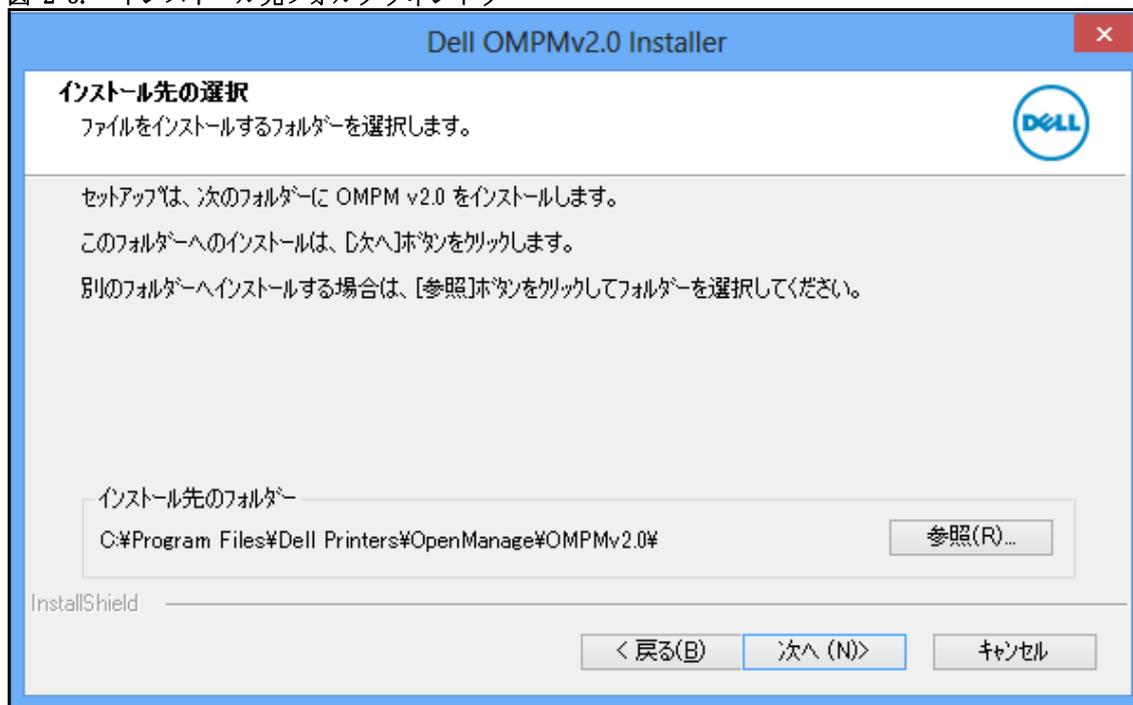
4 表示されるウィンドウで、**Next>** (次へ) をクリックします。

図 2-4. 使用承諾契約書ウィンドウ



- 5 表示されるウィンドウで、**Yes** (はい) をクリックします。

図 2-5. インストール先フォルダウィンドウ



6 表示されるウィンドウで、**Next>** (次へ) をクリックします。

-  **注意：** インストール ディレクトリを変更する場合は、Browse.. (参照...) をクリックし、インストール ディレクトリ <OMPM Install directory>Dell Printers/OpenManage/OMPMv2.0 を選択します。

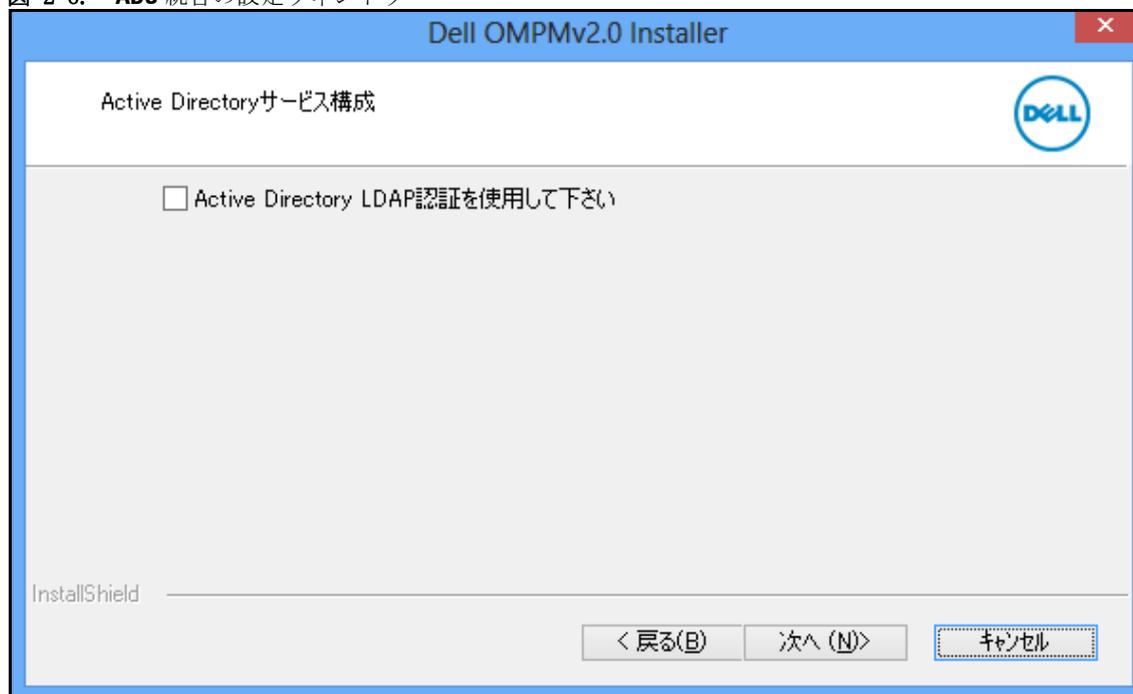
## Active Directory (AD) 認証の設定

Active Directory (AD) ドメインコントローラはドメイン内の AD ユーザーの認証と承認を行います。Active Directory は認証にエルダップ (LDAP) を使用しています。

例えばあなたがドメイン内にログインした場合、Active Directory が送信されたパスワードとシステムへのログをチェックします。同様にあなたは、OMPM へのログインにあなたのシステムクレデンシアルを使用できます。

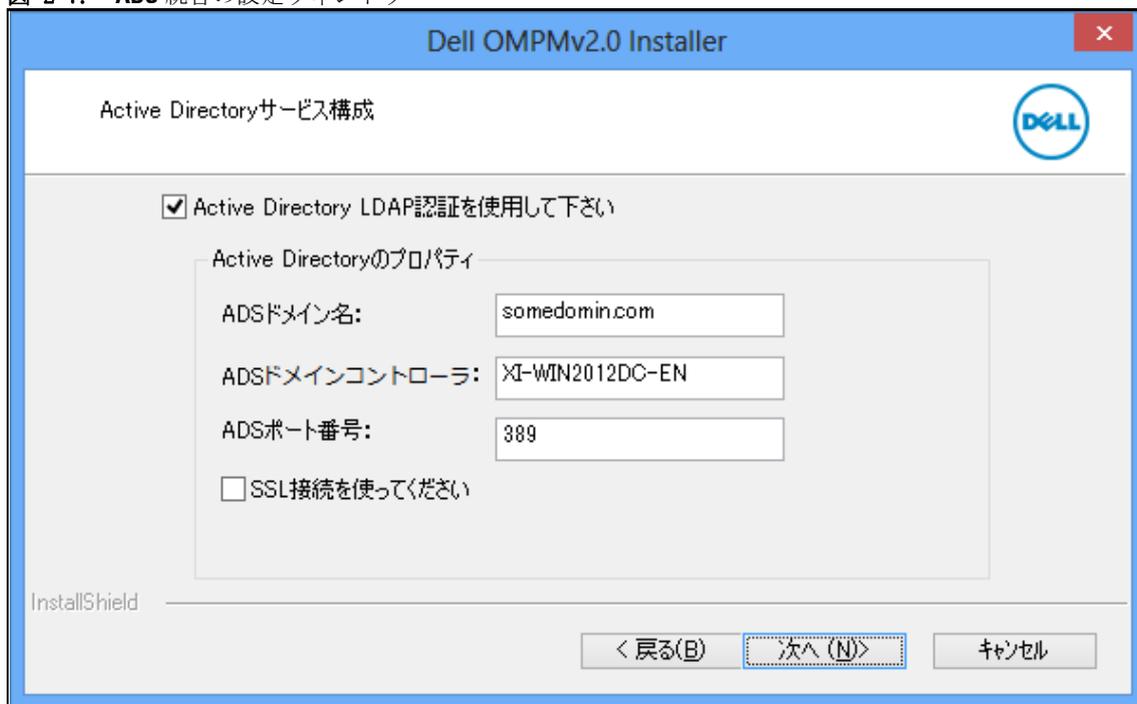
AD 認証の統合は次の手順で行います。

図 2-6. ADS 統合の設定ウィンドウ



- 1 [Active Directory LDAP 認証を使用する] チェックボックスを選択する。

図 2-7. ADS 統合の設定ウィンドウ



ADS 設定ウィンドウで、以下を入力する：

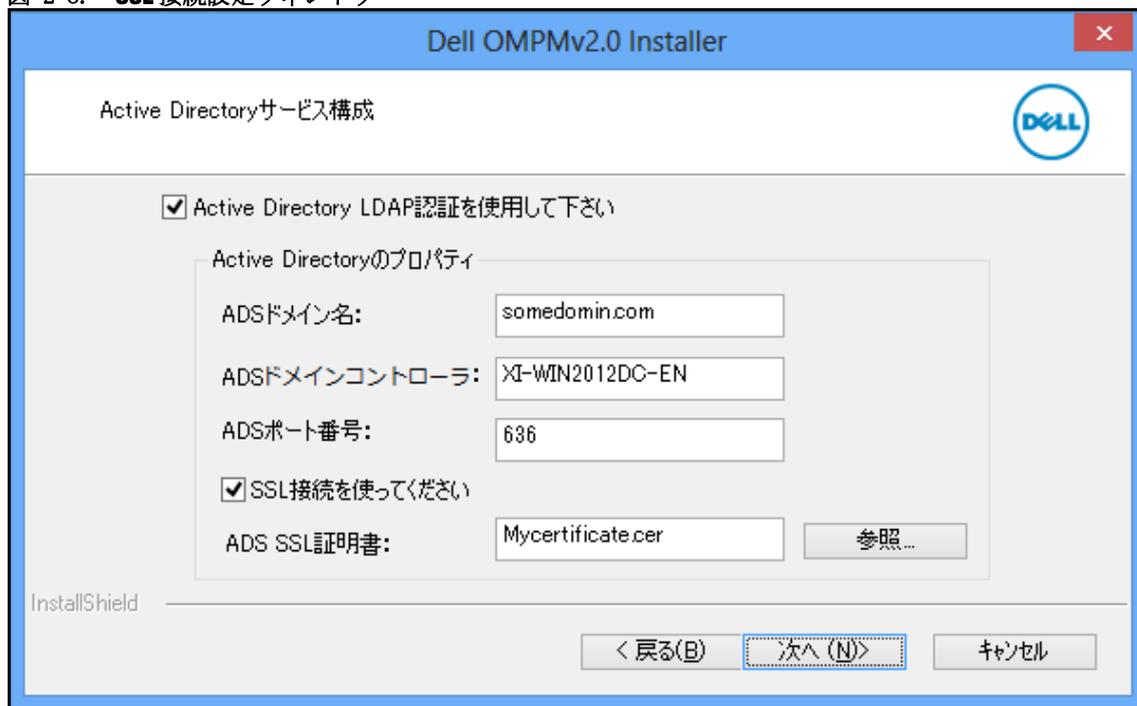
- ・ **ADS** ドメイン名の入力。
- ・ **ADS** ドメインコントローラの入力。
- ・ **ADS** ポート番号の入力。

 **注意：**ドメイン名、ドメインコントローラ名、サーバーポートのフィールドは必須です。

- 2 安全な接続をお望みの場合には、**[SSL 接続を使用する]** を選択し、SSL 証明書をブラウズして下さい。

 **注意：**SSL 証明書を入手するには、ドメイン管理者にコンタクトする必要があります。

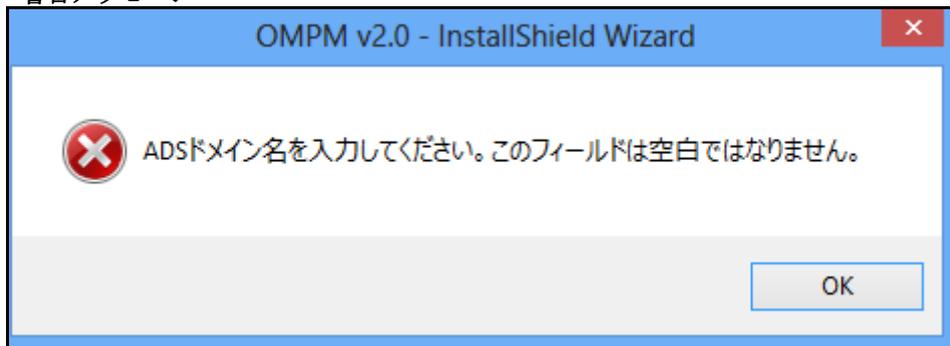
図 2-8. SSL 接続設定ウィンドウ



3 [次へ>] をクリックする。

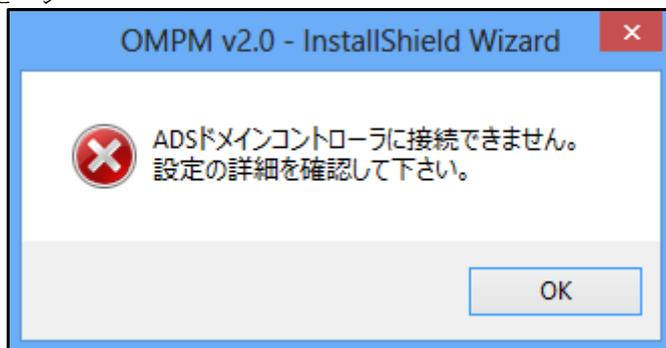
 **注意**： 必須のフィールドにデータ未入力の場合には、下記のウィンドウが表示されます。

図 2-9. 警告メッセージ



 **注意：** データ入力済みで ADS ドメインコントローラに接続不能の場合、下記のウインドウが表示されます。

図 2-10. 警告メッセージ



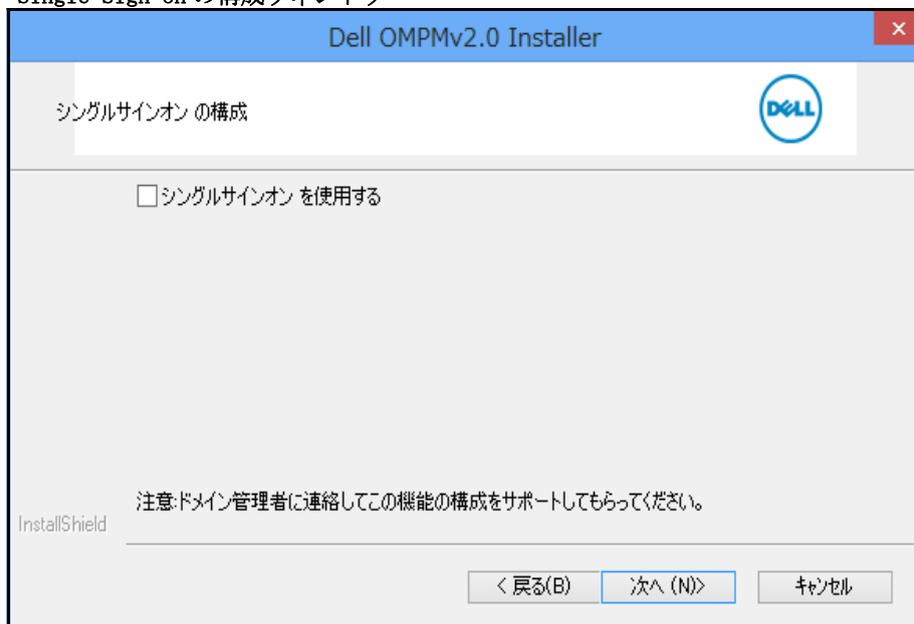
AD 構成のが正常に完了すると、Single Sign-on の構成 ウィンドウが表示されます。

## Single Sign-On の設定

この手順では、Active Directory のユーザーが OPM により Windows ログイン認証情報を使用してログインする方法について説明します。OPM では、次の手順を使用して、Single Sign-On 機能を統合することができます。

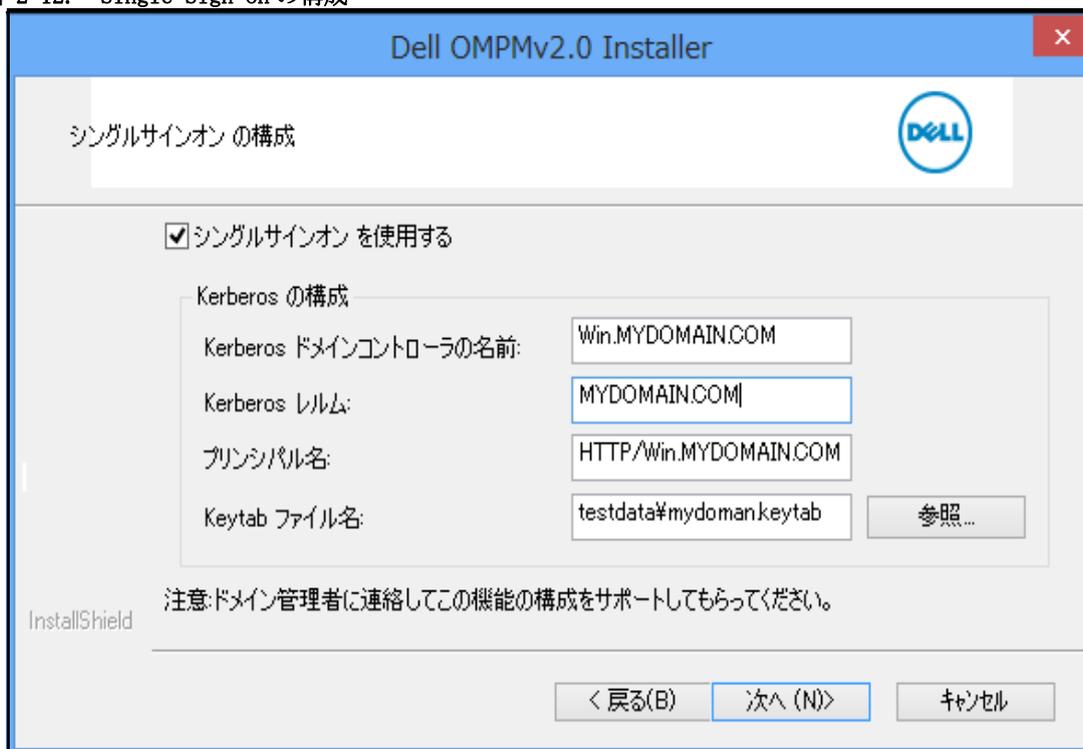
- 1 Active Directory Service 構成を完了させてから、**次へ** をクリックします。
  -  **注意：** この構成を開始する前に、Active Directory の構成を完了しておく必要があります。
  -  **注意：** Single Sign-on は、インストールの段階でのみ設定することができます。この手順を行わなかった場合は、構成方法の詳細な手順について、この文書の最後にある、Single Sign-on (SSO) FAQ を確認してください。
- 2 **Single Sign-on を使用する** のチェックボックスを選択して構成するプロパティを表示します。

図 2-11. Single Sign-on の構成ウィンドウ



-  **注意：** この画面は、Active Directory Service の構成が完了すると表示されます。
- 3 テキストボックス内のすべての内容を入力します。

図 2-12. Single Sign-on の構成



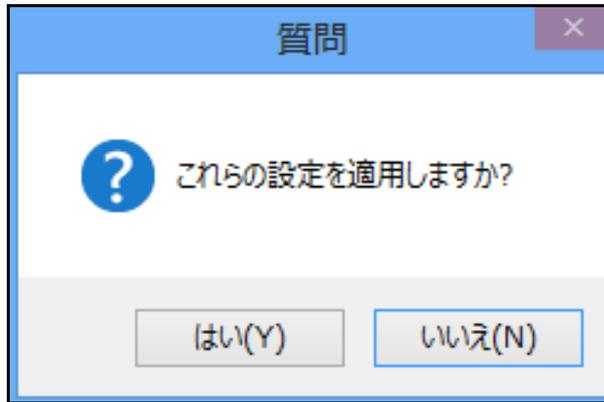
 **注意：** すべてのフィールドが必須フィールドです。

 **注意：** システム管理者に連絡してこのフィールドの入力内容についてサポートしてもらってください。

 **注意：** Single Sign-on のフィールドの内容について調べるには、この文書の最後にある FAQ を参照してください。

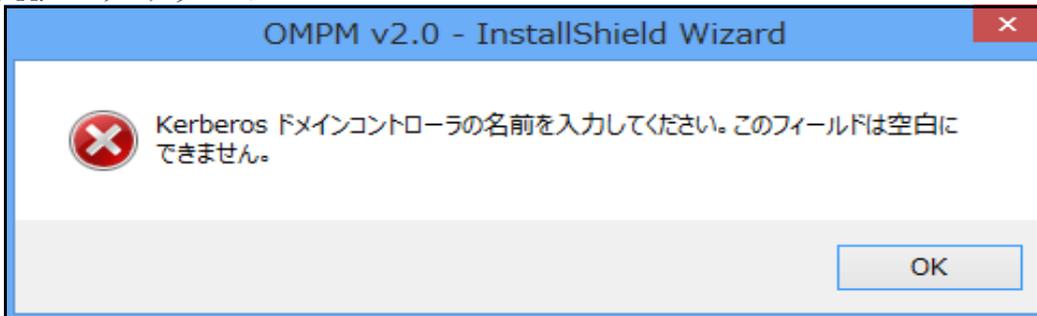
- 4 **次へ>** をクリックします。  
設定の確認を求めるメッセージが表示されます。

図 2-13. 確認メッセージ



- 5 **はい** をクリックして確認を行ってストールを継続するか、**いいえ** をクリックして後で設定を行います。

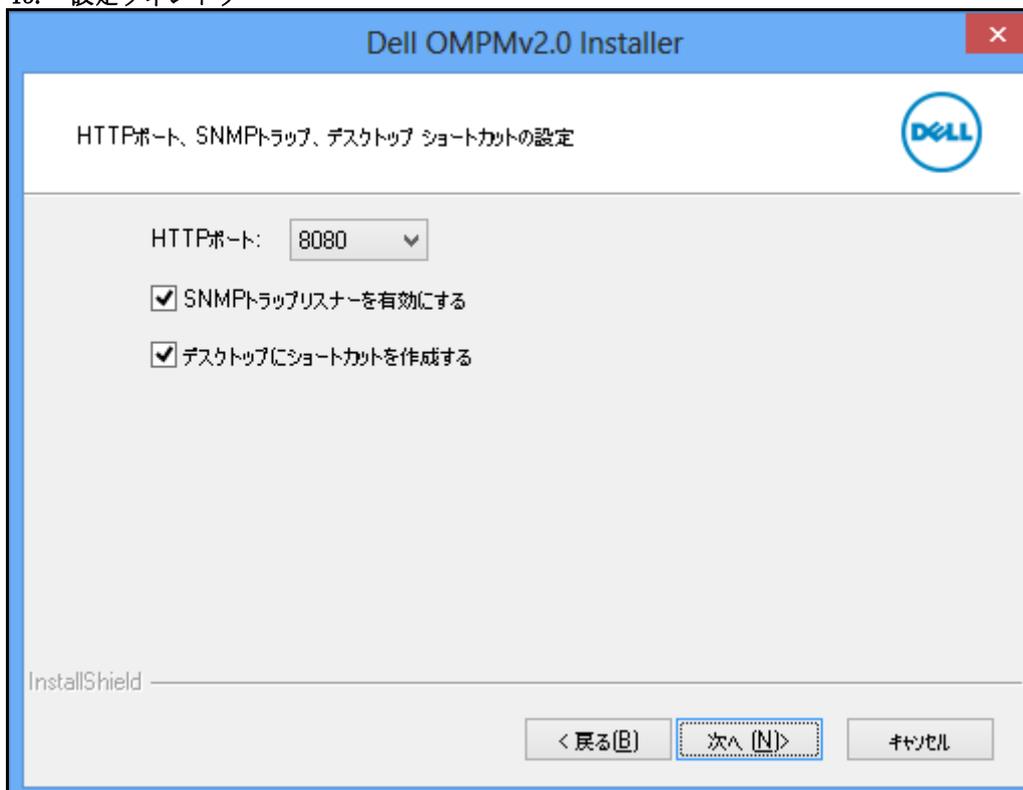
図 2-14. エラーメッセージ



 **注意：** 必須フィールドに入力していない内容があるとエラーメッセージが表示されます

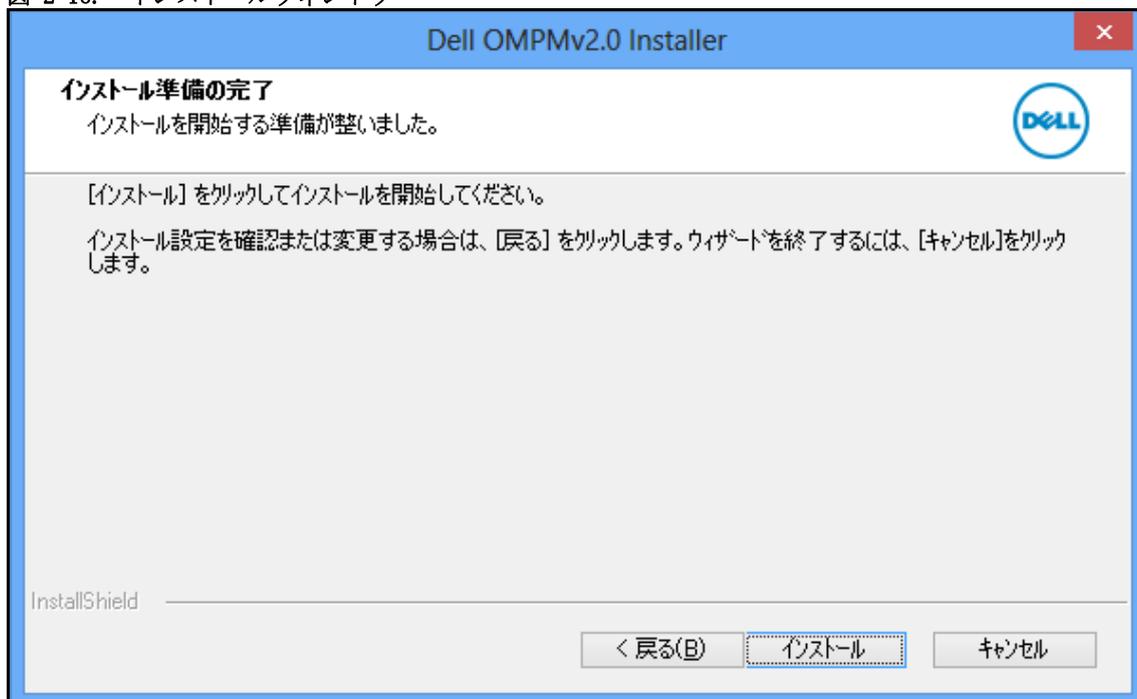
Single Sign-on の構成が正常に完了すると、次のウィンドウが表示されます。

図 2-15. 設定ウィンドウ



- 6 表示されるウィンドウで、以下を選択します：
  - ・ HTTP ポート：ポート 80 または 8080 を選択できます。
  - ・ SNMP トラップリスナーを有効にする。
  - ・ デスクトップにショートカットを作成する。
- 7 Next (次へ) をクリックします。

図 2-16. インストールウィンドウ



- 表示されるウィンドウで、**Install**（インストール）をクリックします。  
**Setup Status**（進行状況）ウィンドウが表示されます。

図 2-17. 進行状況ウィンドウ

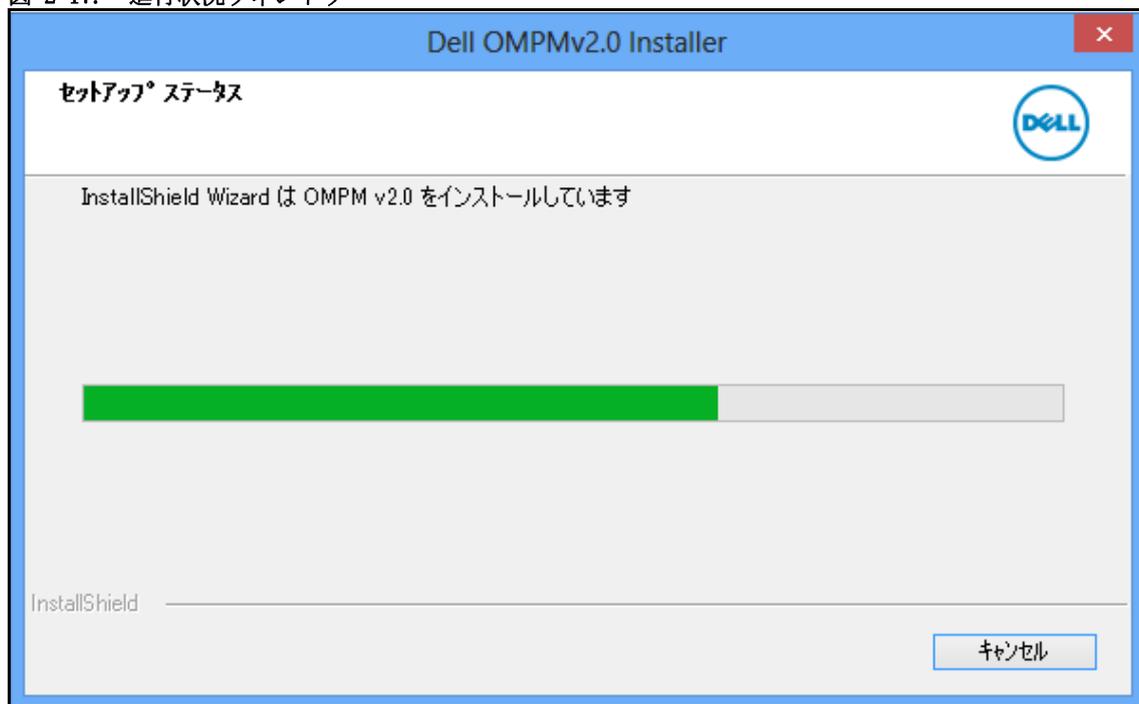
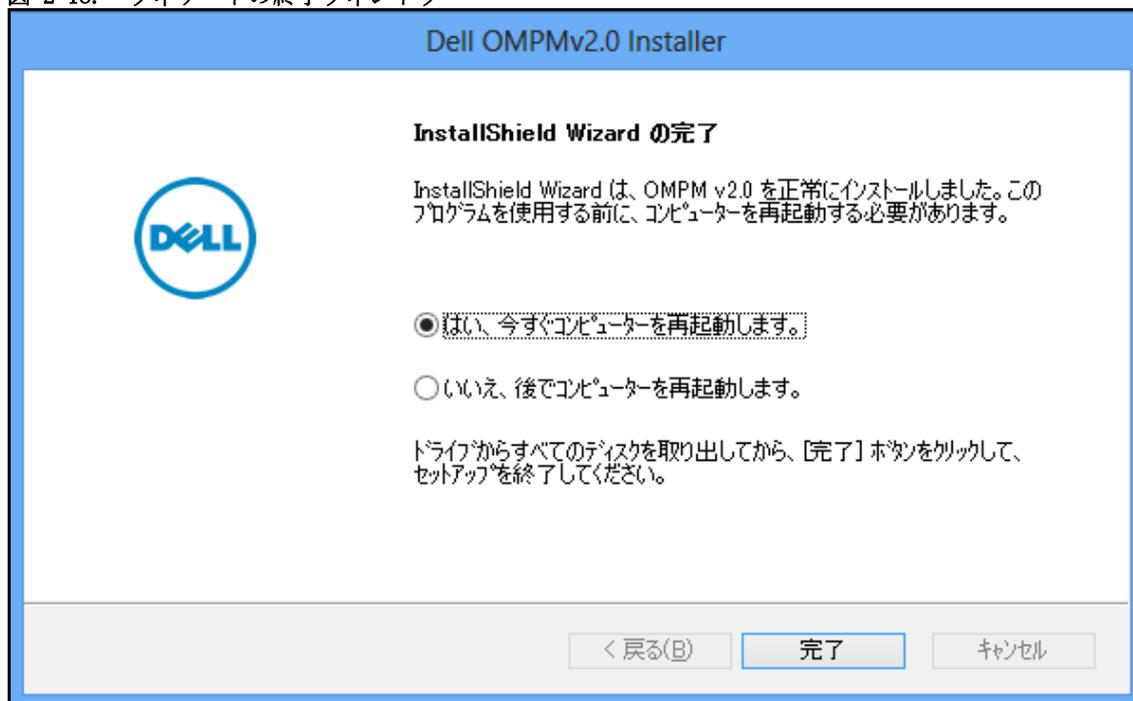


図 2-18. ウィザードの終了ウィンドウ



9 表示されるウィンドウで、**Finish** (完了) をクリックします。

OMPM は正常にインストールされました。

 **注意：** OPM の既定のディレクトリ： **C:\Program Files\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0.**

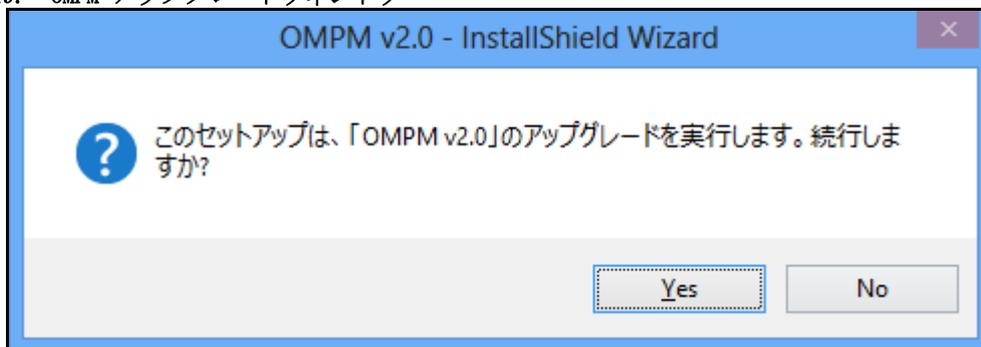
 **注意：** OPM をインストールした後で、システムを再起動する必要があります。

## OMPM のアップグレード

OMPM をアップグレードするには、次の手順を実行します：

- 1 Dell の Web ウェブサイト (www.dell.com) から、最新の OMPM インストーラ パッケージをダウンロードします。
- 2 以前のバージョンの OMPM が既にインストールされ、実行されているコンピュータにダウンロードしたインストーラ ファイルをダブルクリックします。

図 2-19. OMPM アップグレードウィンドウ



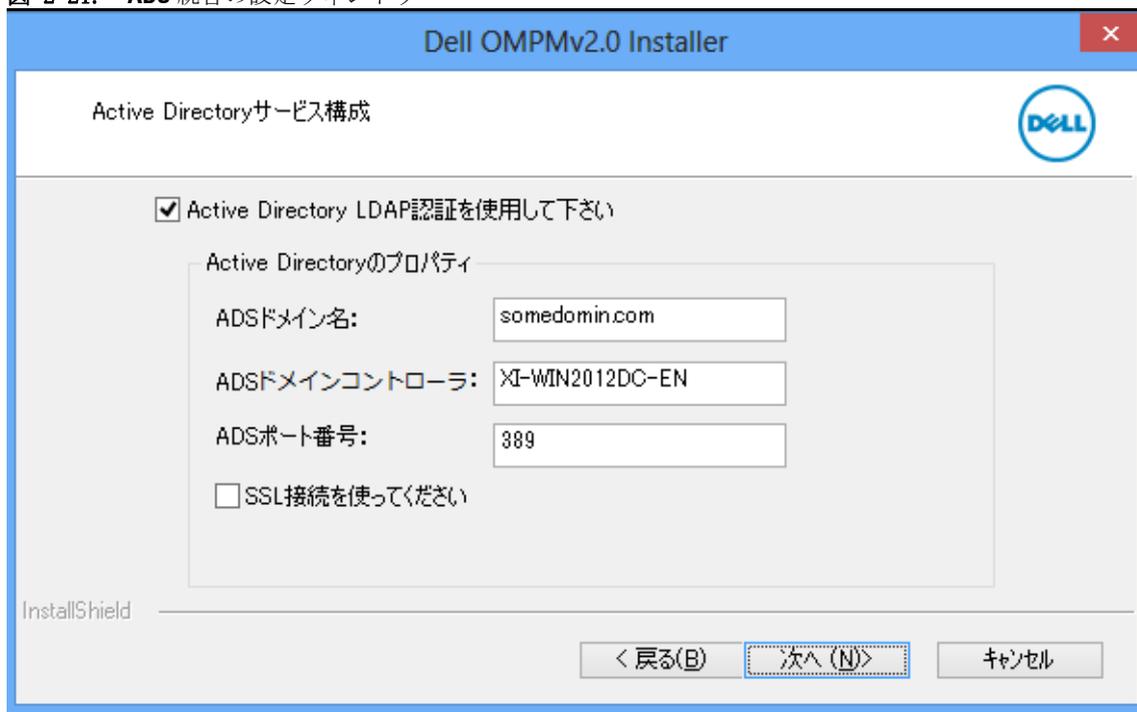
- 3 表示されるウィンドウで、**Yes** (はい) をクリックします。

図 2-20. OPM InstallShield ウィザード



- 4 表示されるウィンドウで、**Next>** (次へ) をクリックします。  
OPM サービスが、更新が必要なファイルを使用している場合、**Files in Use** (使用中のファイル) ウィンドウが表示されます。

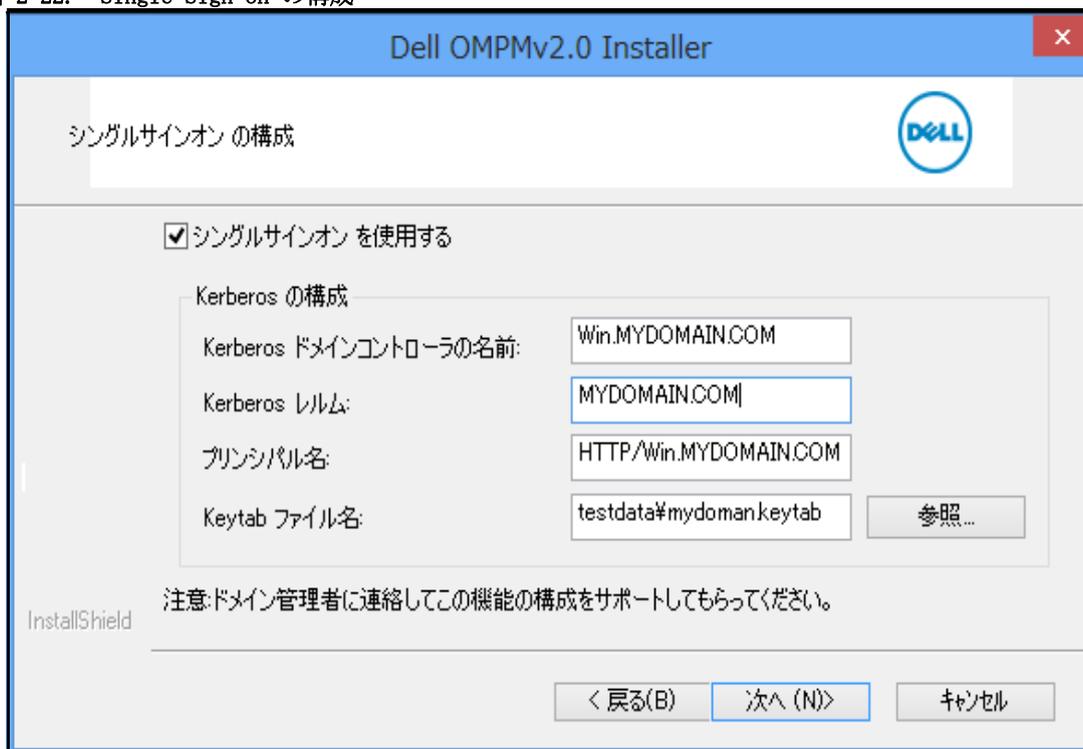
図 2-21. ADS 統合の設定ウィンドウ



 **注意：** Active Directory (AD) 認証の設定の詳細については、Active Directory (AD) 認証の設定の項を参照して下さい。

- 5 表示されるウィンドウで、**OK** をクリックします。

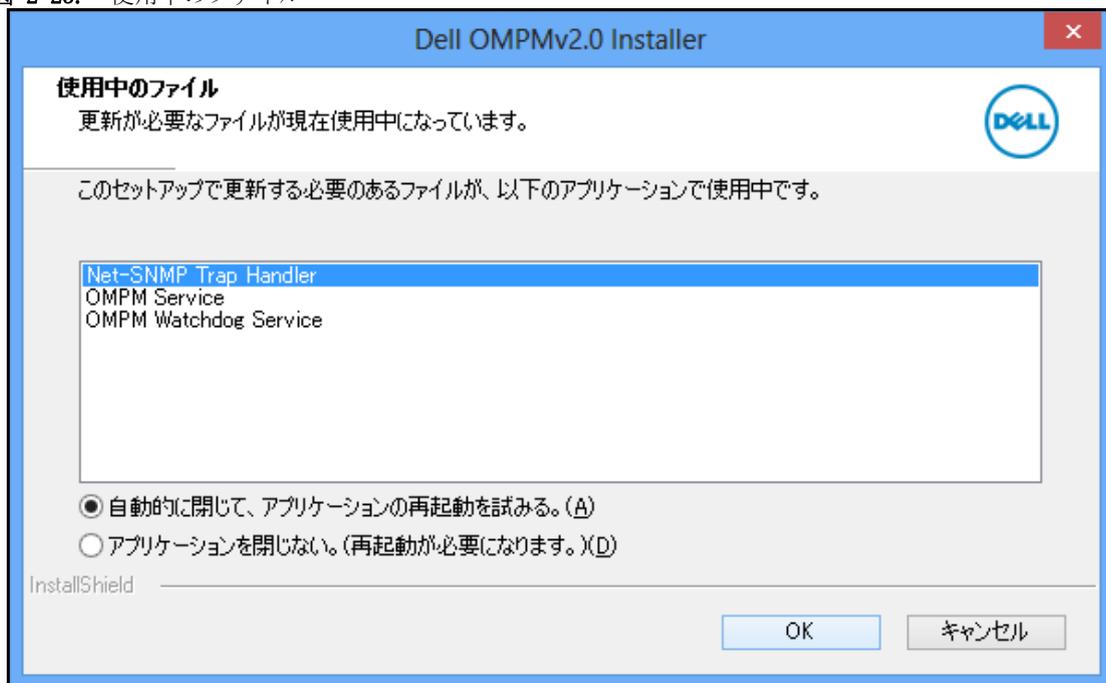
図 2-22. Single Sign-on の構成



 **注意：** Single Sign-On の設定の詳細については、Single Sign-On の設定 のセクションを参照してください。

6 表示されるウィンドウで、**OK** をクリックします。

図 2-23. 使用中のファイル



7 表示されたウィンドウで、[OK] をクリックします。

図 2-24. アップデート完了ウィンドウ



- 表示されるウィンドウで、**Finish** (完了) をクリックします。  
OPM は正常に更新されました。

## OMPM のアンインストール

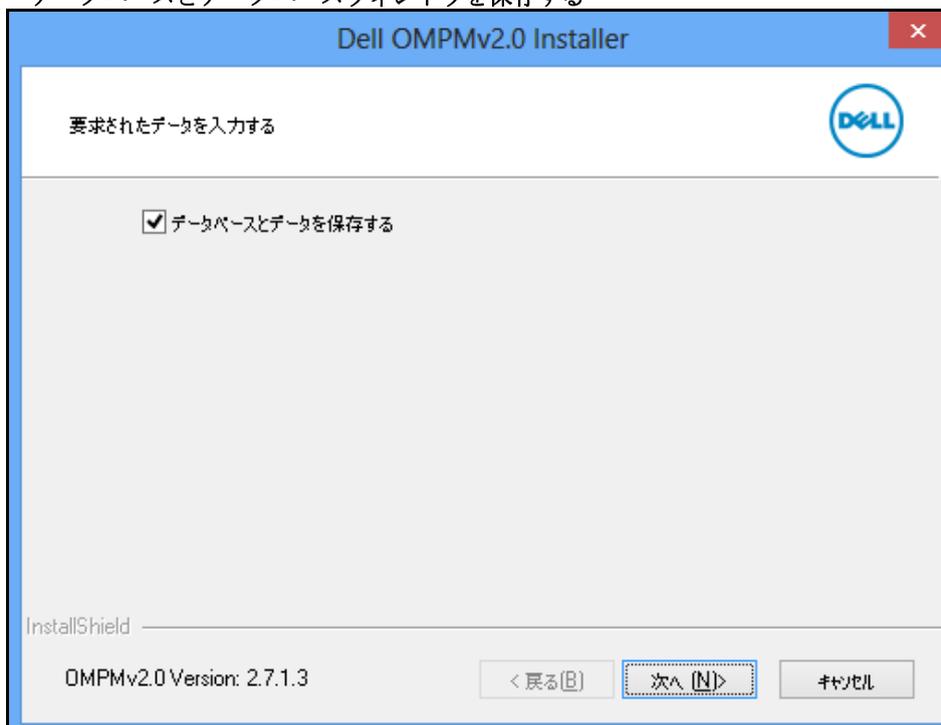
スタートオプションから OMPM をアンインストールするには、**Start (スタート) \* All Programs (すべてのプログラム) \* Dell Printers (Dell 製プリンタ) \* OpenManage Printer Manager \* Uninstall (アンインストール)** をクリックします。

 **注意：** OMPM をアンインストールすると、ライセンスが取り消されますが、同じライセンスキーを再び入力して再利用できます。

OMPM をアンインストールするには、次の手順を実行します：

- 1 アンインストールショートカットまたは、**Add/Remove** (アプリケーションの追加と削除) プログラムを使用してアンインストールします。
- 2 画面に表示される指示に従います。

図 2-25. データベースとデータベースウィンドウを保存する



 **注意：** アンインストール中に、OMPM はデータベースの保存を要求します。データベースを保存する場合、データベースを除くすべての OMPM のコンポーネントが削除されます。データベースを保存しない場合、他のすべての OMPM のコンポーネントとともにデータベースが削除されます。

- 3 データベースとデータを保存する場合、表示されるウィンドウで、**Retain database and data** (データベースとデータを保存する) を選択し、**Next>** (次へ) をクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従います。

OMPM は正常にアンインストールされました。



## ナビゲーション

OpenManage Printer Manager (OPM) インターフェースは、以下のセクションで構成されています：

- ・ ナビゲーションパネル
- ・ コンテンツ領域
- ・ ヘルプパネル

図 3-1. OPM ウィンドウ

<input type="checkbox"/>	名前	モデル	IPアドレス	場所	サービスタグ	状態
<input type="checkbox"/>	DELL9C841A	DELL3115CN	10.255.109.84	Testlab	3ZQTH1	給紙トレイの用紙があり...
<input type="checkbox"/>	5500DN printer	5500DN,PS	10.255.109.41	machine location not set	FN4L7S1	オフライン
<input checked="" type="checkbox"/>	DEL0015996D55F7	DELL2335DN	10.255.110.233	Level Fouredited	1PM7FG1	標準
<input type="checkbox"/>	5500DN printer	5500DN,PS	10.255.109.40	machine location not set	FN4L7S1	給紙トレイの用紙があり...
<input type="checkbox"/>	Name	DELL5330DN	10.255.111.255	Level Fouredited	1PM7FG1	オフライン
<input type="checkbox"/>	5500DN printer	5500DN,PS	10.255.110.246	machine location not set	FN4L7S1	オフライン
<input type="checkbox"/>	CEP3-AHV	Print 2100 R4.1	10.255.110.160	Testlab	3ZQTH1	オフライン
<input type="checkbox"/>	DEL001599A58296	DELL1265DNF	10.255.109.215	machine location not set	FN4L7S1	警告
<input type="checkbox"/>	DELL900FAE	DELL2135CN	10.255.110.232	Testlab	2J12G1	下方向
<input type="checkbox"/>	7800DX	7800DX; Sy	10.255.109.245	machine location not set	FN4L7S1	オフライン
<input type="checkbox"/>	PH3250	3250 OS 1.7	10.255.11.45	IS Area	1PM7FG1	給紙トレイの用紙があり...

## タイトルバー

タイトルバーは、OPPM ウィンドウの上部にあります。タイトルバーには、アプリケーションの名前、**About** (バージョン情報)、**Save preferences** (ユーザー設定の保存)、**Logout** (ログアウト) オプションが表示されています。

図 3-2. タイトルバー



- ・ **About (バージョン情報)** :OPPM の一般的な説明とバージョン番号が表示されます。

図 3-3. バージョン情報



- ・ **Save preferences (ユーザー設定の保存)** : OPMP の現在のレイアウトが保存されます。プリンタの詳細以外のメインウィンドウと開いているウィジェットリストのサイズとポジションを保存します。また、カラムウィジェット幅調整とポジションを保存します。これらの保存された設定は、以降のログイン時に 再度呼び出しされます。
- ・ **Logout (ログアウト)** :OPPM からログアウトします。

## ナビゲーションパネル

ナビゲーションパネルでは、OMPM の各機能を参照できます。

ナビゲーションパネルには、ログイン日と OMPM にアクセスしたユーザーの名前が表示されます。

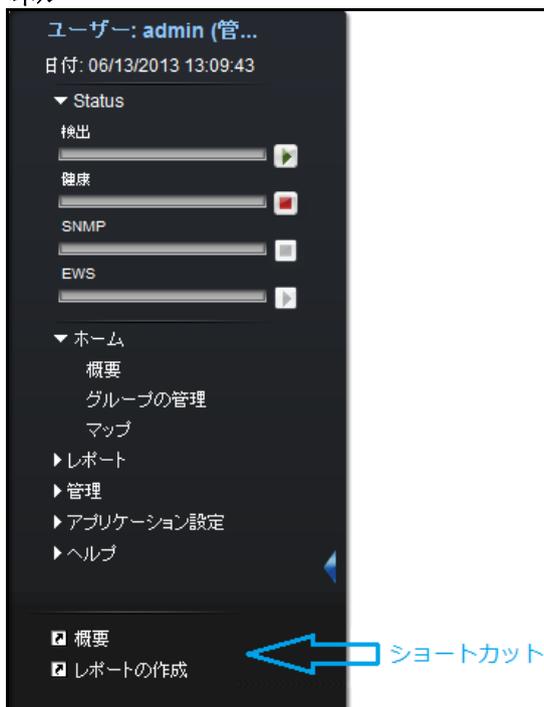
ステータスインジケータは、ディスカバリ、ヘルス、SNMP 及び EWS 操作のリアルタイムの状態を表示します。

次のオプションにアクセスできます：

	機能	説明
ステータス		
	ディスカバリ	ディスカバリステータスインジケータは、ディスカバリ操作の状況を表示します。
	ヘルス	ヘルスステータスインジケータは、ヘルス操作の状況を表示します。
	SNMP	SNMP ステータスインジケータは、SNMP 操作の状況を表示します。
	EWS	EWS ステータスインジケータは、EWS 操作の状況を表示します。
ホーム		
	概要	プリンタの詳細情報の概要を表示します。
	グループの管理	プリンタグループを作成し、プリンタをこれらのグループに割り当てることができます。
	マップ	マップをアップロードし、プリンタをアップロードされたマップに指定できます。
レポート		
	レポートの作成	プリンタの詳細情報を含むレポートを作成できます。
管理		
	検出	ネットワーク上のプリンタを検出 できます。
	テンプレート	テンプレートをアップロードまたは更新できます。
	接続	SNMP および組み込み Web サーバー（EWS）の設定を構成して、更新できます。

機能	説明
アップグレード	ファームウェアツールをアップロードまたは更新できます。
アラート	プリンタ関連のイベントに関して、管理者またはユーザーに電子メールを送信できます。
構成	プリンタの設定をコピーして、構成できます。
スケジュール	スケジュールしたプロセスの状態を一覧表示します。
ログ	ユーザーおよびユーザー操作を 追跡できます。
アプリケーション設定	
ユーザー	OMPМ を使用するための権限が認証されているユーザーを一覧表示します。
データベースのクリーンアップ	不要なデータをデータベースから削除できます。
データベースのバックアップ	データベースのバックアップを保存できます。
プラグインの管理	追加機能のプラグインの追加と削除を行うことができます。
ヘルプ	
ユーザーガイド	状況依存のヘルプを表示します。
ライセンス	ライセンスの詳細を表示し、ライセンスキーの入力を行います。

図 3-4. ナビゲーションパネル



## ナビゲーションパネルの表示 / 非表示

ナビゲーションパネルで、右側の矢印ボタンをクリックし、ナビゲーションオプションを表示または非表示にします。ナビゲーションパネルを非表示にすると、コンテンツパネルの作業領域が広がります。

## ショートカット

頻繁に使用する可能性がある機能のショートカットを作成または削除できます。ショートカットを作成するには、任意の機能をメインメニューから選択し、ナビゲーションパネルの下部にあるショートカットパネルにドラッグ アンド ドロップします。

ショートカットを削除するには、ショートカットパネルから機能を選択して右クリックし、**Delete Shortcut** (ショートカットの削除) をメニューから選択します。これで、選択した機能をショートカットパネルから削除できます。

 **注意:** ナビゲーションパネルでは、最大 個 ショートカットを作成できます。

## コンテンツ領域

コンテンツ領域は、ナビゲーションパネルで選択した機能の内容を表示する作業スペースです。

図 3-5. コンテンツウィンドウ

概要

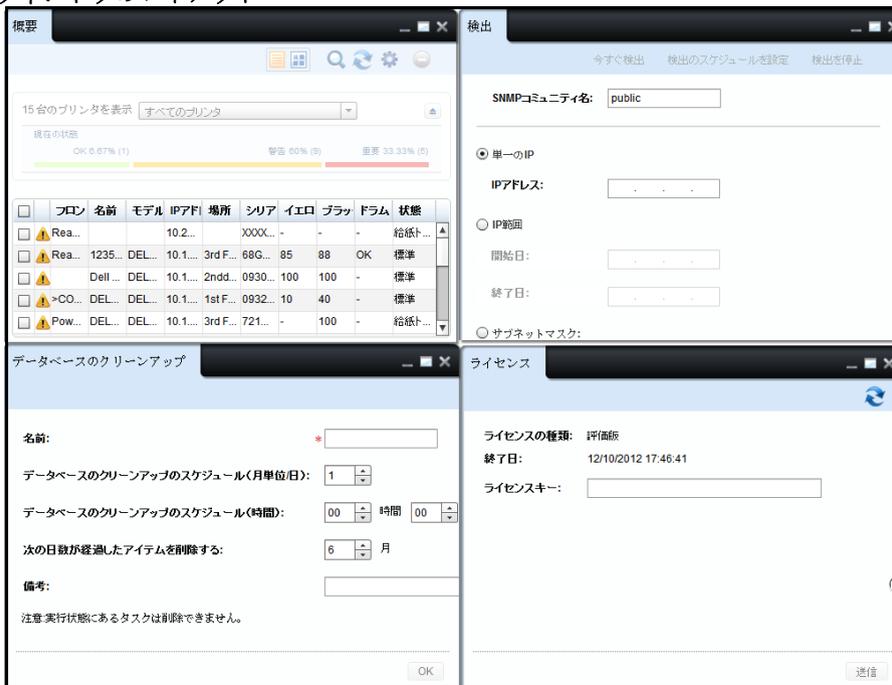
15 台のプリンタを表示

現在の状態

OK 6.67% (1)      警告 60% (9)      重要 33.33% (5)

<input type="checkbox"/>	フロントパネル	名前	モデル	IPアドレス	場所	シリアル番号	イエロー	ブラック	ドラム	状態	
<input type="checkbox"/>	!	Ready To ...		10.255.10...		XXXXXXXX	-	-	-	給紙トレイの...	
<input type="checkbox"/>	!	Ready to C...	1235DELL...	DELL1235...	10.1.5.18	3rd Floor	68GVJH1	85	88	OK	標準
<input type="checkbox"/>	!		Dell Color ...	DELL1320C	10.1.5.16	2ndd Floor	09302333...	100	100	-	標準
<input type="checkbox"/>	!	>COPY	DELL2135...	DELL2135...	10.1.5.14	1st Floor	09321518...	10	40	-	標準
<input type="checkbox"/>	!	Power Saver	DELL2350	DELL2350...	10.1.5.20	3rd Floor	721MP3V...	-	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	✖	Ready/Sta...	DellColorL...	DELL5110...	10.1.5.13	2nd Floor	09268761...	100	100	OK	下方向
<input type="checkbox"/>	!		DELL2155...	DELL2155...	10.1.5.8	1st Floor	VZL000659	100	80	OK	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	!	Ready to P...	Dell1350 ...	DELL1350...	10.1.5.4	3rd Floor	VYK001568	100	100	-	標準
<input type="checkbox"/>	✖	Ready To ...	DELL2355...	DELL2355...	10.1.5.19	2nd Floor	7VGCJM1	-	99	-	下方向
<input type="checkbox"/>	✖	Power Saver	LaserMFP...	DELL3333...	10.1.5.15	1st Floor	35D03F0...	-	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	!		DELL2150...	DELL2150...	10.1.5.5	2nd Floor	VZE000771	80	100	OK	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	✖	Load Man...	DELL3330...	DELL3330...	10.255.11...	3rd Floor	721FXY2-8...	-	100	-	下方向
<input type="checkbox"/>	✖	117-313 ...	DELL Las...	DELL3115...	10.255.11...	1st Floor	09330043...	100	100	-	下方向
<input type="checkbox"/>	!	>COPIA	DELL2135...	DELL2135...	10.255.11...	2nd Floor	09321880...	100	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	✓	E-Sparmo...	DELL2335...	DELL2335...	10.255.11...	1st Floor	1PM7FG1	-	100	-	標準

図 3-6. ウィンドウのレイアウト



Overview (概要) ウィンドウは、OPPM にログインしたときに表示されるデフォルトのコンテンツ パネルです。

以下は、コンテンツウィンドウの上部に表示される、ウィンドウを管理するためのオプションです：

- ・ Minimize (最小化)：現在開いているコンテンツパネルを OPM のタスクバーに最小化します。  
パネルを元のサイズに戻すには、OPPM のタスクバーをクリックします。
- ・ Maximize (最大化)：現在開いているコンテンツパネルをコンテンツ領域全体に最大化します。  
パネルを元のサイズに戻すには **Restore** (元に戻す) ボタンをクリックします。
- ・ Close (閉じる)：現在開いているコンテンツパネルを閉じます。

- ・ Tile (並べて表示) / Cascade (重ねて表示) : 現在開いているウィンドウを並べて表示または重ねて表示します。並べて表示または重ねて表示するには、ウィンドウのヘッダーを右クリックし、メニューから Tile (並べて表示) または Cascade (重ねて表示) を選択します。

図 3-7. ウィンドウの構造

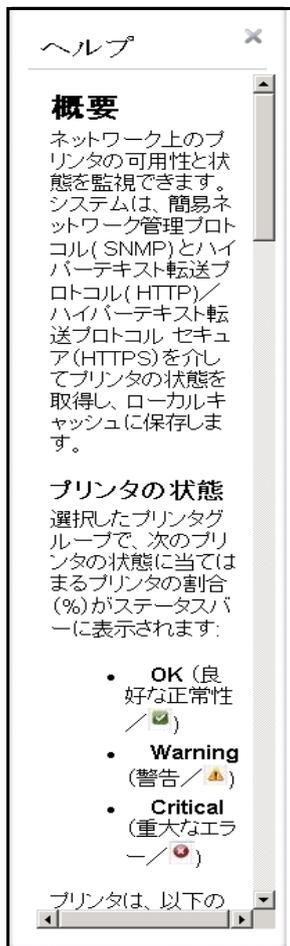


パーツ	説明
A: ウィンドウのヘッダー	現在開いているコンテンツパネルのヘッダーです。
B: ブルータブ	ウィンドウ表示オプションのあるタブです。
C: ウィンドウ表示オプション	特定のタスクを実行するためのオプションです。
D: コマンドボタン	操作を開始するため四角いボタン です。

## ヘルプパネル

Help（ヘルプ）パネルには、ヘルプトピックの一覧が表示されます。ヘルプコンテンツを表示するには、希望するトピックをクリックします。

図 3-8. ヘルプパネル



このパネルには、コンテンツ領域に表示されている機能に対応する状況依存のヘルプが表示されます。

## ステータスインジケータ

ステータスインジケータ機能でディスカバリ、ヘルス、SNMP 及び EWS 操作の状況を見ることができます。

ナビゲーション枠で、操作の進捗を見られます。管理者権限のあるユーザーは、操作の開始と停止を行えます。

ステータスインジケータを見るには、ナビゲーションパネルのステータスをクリックして下さい。

図 4-1. ステータスインジケータ

The screenshot shows a web-based interface for printer status monitoring. On the left is a navigation sidebar with options like '概要' (Summary), 'レポート' (Reports), and 'ヘルプ' (Help). The main area displays a summary for 11 printers, with a progress bar showing 9.09% OK, 36.36% warnings, and 54.55% critical. Below this is a table listing printer details.

名前	モデル	IPアドレス	場所	サービスタグ	状態
DELL9C841A	DELL3115CN	10.255.109.84	Testlab	3ZQTH1	給紙トレイの用紙があり...
5500DN printer	5500DN;PS	10.255.109.41	machine location not set	FN4L7S1	オフライン
DEL0015996D55F7	DELL2335DN	10.255.110.233	Level Foureedited	1PM7FG1	標準
5500DN printer	5500DN;PS	10.255.109.40	machine location not set	FN4L7S1	給紙トレイの用紙があり...
Name	DELL5330DN	10.255.111.255	Level Foureedited	1PM7FG1	オフライン
5500DN printer	5500DN;PS	10.255.110.246	machine location not set	FN4L7S1	オフライン
CEP3-AHV	Print 2100 R4.1	10.255.110.160	Testlab	3ZQTH1	オフライン
DEL001599A58296	DELL1265DNF	10.255.109.215	machine location not set	FN4L7S1	警告
DELL900FAE	DELL2135CN	10.255.110.232	Level Foureedited	2J212G1	下方向
7800DX	7800DX; Sy	10.255.109.245	machine location not set	FN4L7S1	オフライン
PH3250	3250 OS 1.7	10.255.11.45	IS Area	2J212G1	給紙トレイの用紙があり...

操作の進捗具合のパーセンテージを見るには、操作名又はプログレスバーの上でマウスホバーして下さい。

操作のステータス詳細を知るには、ナビゲーション枠の操作名をクリックすると、ステータスウィジェットが開きます。

 **注意：** ディスカバリ開始ボタンをクリックすると、ディスカバリウィジェットの画面が表示されます。

ステータスアイコンが緑色に変わった場合は、操作中断状態です。開始するには、操作プログレスバー横のスタートアイコン  をクリックして下さい。操作が開始されると、スタートアイコンが灰色に変わって  実行が処理されて操作が「開始中」であることを示します。この状態では何かを実行することはできません。ステータスアイコンが赤色に変わると  操作は実行中又は作動中です。

ステータスアイコンが赤色になると操作は実行状態です。停止するには、操作プログレスバー横のストップアイコン  をクリックして下さい。操作が停止すると、ストップアイコンは灰色に変わり  実行が処理されて操作が「停止中」であることを示します。この状態では何かを実行することはできません。ステータスアイコンが緑色に変わると  操作は中断中又は停止中です。

 **注意：** 管理者権限のあるユーザーが、操作開始及び停止を行えます。管理者権限のないユーザーは、操作の状態を見ることのみ可能です。

 **注意：** 操作の停止には、多少時間がかかる可能性があります。

図 4-2. ステータスインジケータの作動、停止、アイドル状態

The screenshot displays the Dell OpenManage Printer Manager interface. The left sidebar shows the user 'admin' and navigation options like 'Status', 'Discovery', 'Health', 'SNMP', and 'EWS'. The main content area is divided into four sections, each with a status indicator and a log table.

**Discovery (検出)**  
 状態: 90% 10/11 デバイス 残り時間: 1 min 1 sec

IPアドレス	説明	日付
✓	ディスクリリー操作が完了しました。	Wed Jun 12 15:25:04 20...
✓	完成したクエリノード1/1。	Wed Jun 12 15:25:04 20...
✓	ディスクリリー操作が開始されました。	Wed Jun 12 15:23:59 20...

**Health (健康)**  
 状態: ██████████

IPアドレス	説明	日付
✓	完成した照会デバイス10/11。	Thu Jun 13 13:50:26 2013
✓	10.255.110.246 デバイスの状態を問い合わせます。	Thu Jun 13 13:50:03 2013
✓	10.255.109.41 デバイスの状態を問い合わせます。	Thu Jun 13 13:50:03 2013
✓	健康操作が開始されました。	Thu Jun 13 13:49:30 2013
✓	完成した照会デバイス 9/11。	Thu Jun 13 13:50:26 2013

**SNMP**  
 状態: ██████████

IPアドレス	説明	日付
✓	完了照会デバイス10/11。	Thu Jun 13 13:50:26 2013
✓	SNMPステータスの操作が開始。	Thu Jun 13 13:50:03 2013

**EWS**  
 状態: ██████████

IPアドレス	説明	日付
✓	EWS状態動作が開始さ。	Thu Jun 13 13:50:26 2013

## ステータスモニターウィジェット

ステータスウィジェットによって、ユーザーは操作のステータス詳細を調べることが可能です。ステータスウィジェットで、ディスカバリ、ヘルス、SNMP 及び EWS の状況に関して、パーセンテージ、完了したデバイス数、残り時間などの進捗具合を見ることができます。残り時間は HH:MM:SS 形式で表示されます。

ステータス情報は 30 秒ごとに自動更新されます。またリフレッシュアイコンのクリックで、いつでも強制的に更新することもできます。

操作のラベル上でクリックすると、ステータスウィジェットが開き、相当するグループが拡大され、デフォルトの行数が表示されます。

データグリッドの閲覧範囲を広げたい場合は、 矢印アイコンの上をクリックし、アコーディオンを拡大して下さい。アコーディオン上でクリックすると、 アコーディオンは既定の高さに戻ります。

図 4-3. ステータスウィジェット

The screenshot displays the Dell OpenManage Printer Manager interface. The top header shows the Dell logo, 'OPENMANAGE™ PRINTER MANAGER', and navigation links for 'バージョン情報', 'ユーザー設定の保存', and 'ログアウト'. The left sidebar contains a user menu for 'admin (管...)' with a date of '06/13/2013 13:09:43'. The main area is divided into sections: '検出' (Detection) showing a 90% status bar and a table of events, and '健康' (Health) showing a status bar and a table of events. The '検出' table has columns for IP address, description, and date. The '健康' table also has columns for IP address, description, and date. At the bottom, there are sections for 'SNMP' and 'EWS' with dropdown menus.

データグリッドには下記のフィールドが表示されます：

フィールド	説明
メッセージカテゴリ	メッセージの説明に基づいて、アイコンが表示されます。
IP アドレス	スキャンされた IP アドレスのリストを表示します。

フィールド	説明
説明	情報、エラーまたは警告が表示されます。
日付	日付と活動が行われた時刻を表示します。

 **注意：** 動作が重複した場合には、例えばディスカバリとヘルス操作が共に進行中の場合、残り時間とノード数は動作中に再計算されます。

 **注意：** プリファレンスの保存は、このウィジェットには適用されません。

## 概要

ネットワーク上のプリンタの可用性と状態を監視できます。システムは、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) とハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) / ハイパーテキスト転送プロトコル セキュア (HTTPS) を介してプリンタの状態を取得し、ローカルキャッシュに保存します。

# プリンタの状態の表示

プリンタの状態を表示するには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Home**（ホーム） → **Overview**（概要） をクリックします。

図 5-1. 概要ウィンドウ

The screenshot shows a software window titled "概要" (Overview). At the top, it indicates "15台のプリンタを表示" (Display 15 printers) with a dropdown menu set to "すべてのプリンタ" (All printers). Below this, a "現在の状態" (Current Status) section features three progress bars: "OK 6.67% (1)", "警告 60% (9)", and "重要 33.33% (5)".

The main part of the window is a table with the following columns: , フロントパネル (Front Panel), 名前 (Name), モデル (Model), IPアドレス (IP Address), 場所 (Location), シリアル番号 (Serial Number), イエロー (Yellow), ブラック (Black), ドラム (Drum), and 状態 (Status). The table lists 15 printers with various status icons (warning, error, OK) and details.

<input type="checkbox"/>	フロントパネル	名前	モデル	IPアドレス	場所	シリアル番号	イエロー	ブラック	ドラム	状態	
<input type="checkbox"/>	⚠	Ready To ...		10.255.10...		XXXXXXXX	-	-	-	給紙トレイの...	
<input type="checkbox"/>	⚠	Ready to C...	1235DELL...	DELL1235...	10.1.5.18	3rd Floor	68GVJH1	85	88	OK	標準
<input type="checkbox"/>	⚠		Dell Color ...	DELL1320C	10.1.5.16	2nd Floor	09302333...	100	100	-	標準
<input type="checkbox"/>	⚠	>COPY	DELL2135...	DELL2135...	10.1.5.14	1st Floor	09321518...	10	40	-	標準
<input type="checkbox"/>	⚠	Power Saver	DELL2350	DELL2350...	10.1.5.20	3rd Floor	721MP3V...	-	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	✖	Ready/Sta...	DellColorL...	DELL5110...	10.1.5.13	2nd Floor	09268761...	100	100	OK	下方向
<input type="checkbox"/>	⚠		DELL2155...	DELL2155...	10.1.5.8	1st Floor	VZL000659	100	80	OK	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	⚠	Ready to P...	Dell1350 ...	DELL1350...	10.1.5.4	3rd Floor	VYK001568	100	100	-	標準
<input type="checkbox"/>	✖	Ready To ...	DELL2355...	DELL2355...	10.1.5.19	2nd Floor	7VGCJM1	-	99	-	下方向
<input type="checkbox"/>	✖	Power Saver	LaserMFP...	DELL3333...	10.1.5.15	1st Floor	35D03F0-...	-	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	⚠		DELL2150...	DELL2150...	10.1.5.5	2nd Floor	VZE000771	80	100	OK	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	✖	Load Man...	DELL3330...	DELL3330...	10.255.11...	3rd Floor	721FXY2-8...	-	100	-	下方向
<input type="checkbox"/>	✖	117-313 ...	DELL Las...	DELL3115...	10.255.11...	1st Floor	09330043...	100	100	-	下方向
<input type="checkbox"/>	⚠	>COPIA	DELL2135...	DELL2135...	10.255.11...	2nd Floor	09321880...	100	100	-	給紙トレイの...
<input checked="" type="checkbox"/>	✓	E-Sparmo...	DELL2335...	DELL2335...	10.255.11...	1st Floor	1PM7FG1	-	100	-	標準

フィールド	説明
名前	グループ内にあるプリンタ名を示します。
モデル	プリンタの型番を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
場所	ネットワーク内にあるプリンタの場所を示します。
サービスタグ	プリンタのサービスタグを示します。
状態	ネットワーク上のプリンタの状態と消耗品残量を示します。



**注意：** 詳細については、設定（設定）を参照してください。

- 表示されるウィンドウで、プリンタグループを選択します。  
選択したグループに属しているプリンタが表示されます。

図 5-2. 概要ウィンドウ

The screenshot shows a window titled '概要' (Summary) with a table of printer information. The table has columns for selection, front panel name, model, IP address, location, serial number, error, toner, drum, and status. Above the table, there are status indicators for '現在の状態' (Current Status) at 6.67%, '警告' (Warning) at 60%, and '重負' (Heavy Load) at 33.33%. Blue arrows labeled A, B, C, and D point to specific elements: A points to the status bar, B points to the table header, C points to a printer row, and D points to the status column.

	フロントパネル名	モデル	IPアドレス	場所	シリアル番号	イエロー	ブラック	ドラム	状態	
<input type="checkbox"/>	Ready To ...		10.255.10...		XXXXXXXXXX	-	-	-	給紙トレイの...	
<input type="checkbox"/>	Ready to C...	1235DELL...	DELL1235...	10.1.5.18	3rd Floor	68GVJH1	85	88	OK	標準
<input type="checkbox"/>	Dell Color ...	DELL1320C	DELL1320C	10.1.5.16	2nd Floor	09302333...	100	100	-	標準
<input type="checkbox"/>	>COPY	DELL2135...	DELL2135...	10.1.5.14	1st Floor	09321518...	10	40	-	標準
<input type="checkbox"/>	Power Saver	DELL2350	DELL2350...	10.1.5.20	3rd Floor	721MP3V...	-	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	Ready/Sta...	DellColor...	DELL5110...	10.1.5.13	2nd Floor	09268761...	100	100	OK	下方向
<input type="checkbox"/>	DELL2155...	DELL2155...	DELL2155...	10.1.5.8	1st Floor	VZL000659	100	80	OK	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	Ready to P...	Dell1350 ...	DELL1350...	10.1.5.4	3rd Floor	VYK001568	100	100	-	標準
<input type="checkbox"/>	Ready To ...	DELL2355...	DELL2355...	10.1.5.19	2nd Floor	7VGCJM1	-	99	-	下方向
<input type="checkbox"/>	Power Saver	LaserMFP...	DELL3333...	10.1.5.15	1st Floor	35D03F0...	-	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	DELL2150...	DELL2150...	DELL2150...	10.1.5.5	2nd Floor	VZE000771	80	100	OK	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	Load Man...	DELL3330...	DELL3330...	10.255.11...	3rd Floor	721FXY2-8...	-	100	-	下方向
<input type="checkbox"/>	117-313 ...	DELL Las...	DELL3115...	10.255.11...	1st Floor	09330043...	100	100	-	下方向
<input type="checkbox"/>	>COPIA	DELL2135...	DELL2135...	10.255.11...	2nd Floor	09321880...	100	100	-	給紙トレイの...
<input type="checkbox"/>	E-Sparmo...	DELL2335...	DELL2335...	10.255.11...	1st Floor	1PM7FG1	-	100	-	標準

パーツ	説明
A: ステータスバー	プリンタの状態の重要度を示します。
B: 名前列	プリンタの名前を示します。
C: 状態列	プリンタの状態の理由を示します。
D: ステータスアイコン	プリンタの状態を示します。

 **注意：** List View（リストビュー）で、並べ替えを行うヘッダーをクリックできます。

## プリンタの状態

選択したプリンタグループで、次のプリンタの状態に当てはまるプリンタの割合（%）がステータスバーに表示されます：

- ・ OK（良好な正常性 / )
- ・ Warning（警告 / )
- ・ Critical（重大なエラー / )

プリンタは、以下の基準に基づいて、赤、黄、緑色の状態に分類されます：

- ・ 赤：
  - ・ 印刷できません（プリンタがオフライン、印刷の準備ができていないことを示します）
  - ・ 接続不能（前回のポーリングセッション中にプリンタのネットワーク接続を確認できませんでした）
  - ・ プリンタが停止しています（プリンタの電源がオフになっている、ハードウェアのエラー、ソフトウェアのエラーなど）
- ・ 黄：印刷できます。少なくとも 1 つ以上の消耗品（C、M、Y、K、イメージングドラム、フューザー、ローラー、給紙トレイ）の残量がしきい値を下回っています
- ・ 緑：印刷できます（プリンタエラーなし）

 **注意：** 必要に応じてプリンタの状態を非表示にできます。

 **注意：** 複数のイメージングドラムのプリンタの場合、プリンタの状態は、すべてのイメージングドラムによって決まります。つまり、すべてのイメージングドラムの残量がしきい値を上回っている場合に限り、プリンタの状態が緑になります。

# 操作

Overview (概要) ウィンドウの右上隅に次のボタンが表示されます：

- ・ リストビュー
- ・ タイルビュー
- ・ 検索
- ・ リフレッシュ
- ・ 設定
- ・ 削除

## リストビュー

これは、プリンタパラメータをリスト形式で表示するデフォルトのビューです。**List View** (リストビュー) に表示するパラメータを選択できます。

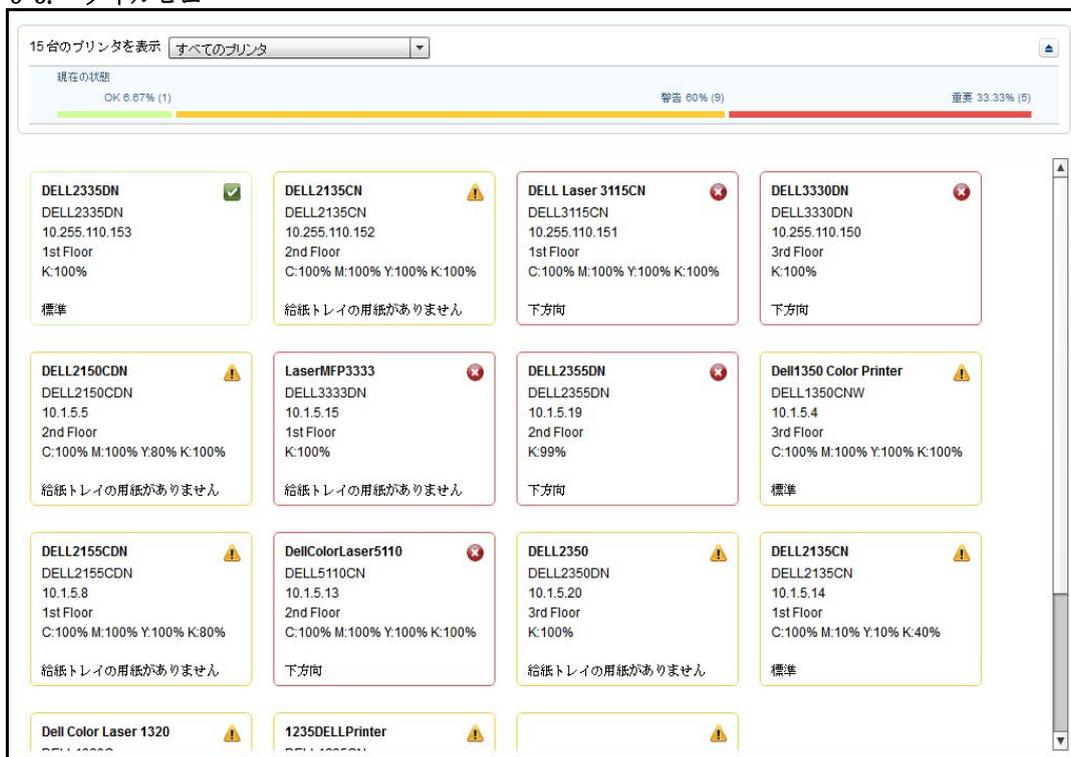


**注意：** 詳細については、Settings (設定) を参照してください。

## タイルビュー

プリンタパラメータはタイル形式で表示されます。このビューには、**List View** (リストビュー) と同じ内容が表示されます。

図 5-3. タイルビュー



 **注意:** 図 5-3 の 'x' は、値が無効である、またはプリンタが未定義の負の値を返していることを示します。プリンタがモノクロまたは、それぞれのトナーが入っていない場合、値は無効になります。

## 検索

キーボードの、**ENTER** キーを押してから、適切なキーワードを **Search** (検索) フィールドに入力し、ネットワーク上のプリンタに関連した情報を検索できます。**Overview Settings** (概要の設定) ウィンドウで利用可能なすべての列に対して検索を実行できます。

## リフレッシュ

**Refresh** (更新) をクリックし、最新の変更でページを更新できます。

デフォルトの更新時間は 1 分です。**Printer Settings** (プリンタの設定) ウィンドウの **Refresh UI interval** (UI の更新間隔) フィールドで、デフォルトの更新時間を変更できます。

 **注意:** 詳細については、Settings (設定) を参照してください。

## 設定

**Settings** (設定) では、**Overview** (概要) ウィンドウに表示されるプリンタパラメータを選択し、**List View** (リストビュー) をカスタマイズできます。

また、Settings (設定) では、OMPM の更新間隔も設定できます。設定した間隔で、OMPM はサーバーをポーリングし、プリンタの情報を取得し、**Overview** (概要) ウィンドウに表示します。

 **注意:** **Printer Settings** (プリンタの設定) の **Show columns** (列の表示) は、**List View** (リストビュー) に対してのみ適用可能です。

## (削除)

ボタンを使用して、OMPM をプリンタから削除できます。

**Remove** (削除) ボタンは、1 つ以上のプリンタが選択されている場合のみ使用可能です。プリンタを削除すると、プリンタおよび、プリンタに関連付けられているデータが削除されます。

 **注意:** 管理者特権を持つ OMPM ユーザーのみがマップを編集することが可能です。

## 概要列のカスタマイズ

概要列をカスタマイズするには、次の手順を実行します：

- 1 **Overview** (概要) ウィンドウで、**Settings** (設定) をクリックします。

図 5-4. 設定の概要



- 2 表示されるウィンドウで、**Show Columns** (列の表示) グループボックスから、**List View** (リストビュー) に表示する必須パラメータを選択し、**OK** をクリックします。

## ポーリングサイクルのカスタマイズ

プリンタの監視には、3 つのポーリングサイクル、つまり Health (正常性)、Status SNMP (状態 SNMP)、Status HTTP (状態 HTTP) が含まれます。プリンタの状態、ページ数、消耗品残量のパラメータなどのプリンタパラメータは、頻繁に異なります。これらは、Health (正常性) ポーリングサイクル中にクエリされ、監視する装置の印刷準備状態を理解するうえで、非常に重要です。

給紙トレイの状態、ネットワーク構成、プリンタの設定などのパラメータは、頻繁には異なりません。これらは状態ポーリングサイクル中にクエリされます。

図 5-4 に示すように、3 つのポーリングサイクルすべてに間隔を設定します。サイクルの期間は、管理するプリンタの数によって異なります。

ポーリングサイクルをカスタマイズするには、次の手順を実行します：

- 1 Overview (概要) ウィンドウで、Settings (設定) をクリックします。
- 2 表示されるウィンドウで、以下のフィールドに情報を入力します：
  - a Refresh UI interval (UI の更新間隔) フィールドで、UI の更新間隔を設定します。
  - b Refresh Maps Interval (マップの更新間隔) フィールドで、マップの更新間隔を設定します。
  - c Refresh Interval for Printer Health (プリンタの正常性の更新間隔) フィールドで、プリンタの正常性サイクルの更新間隔を設定します。
  - d Refresh Interval for Printer Status (プリンタの状態の更新間隔) (SNMP) フィールドで、SNMP プリンタ状態サイクルの更新間隔を設定します。
  - e Refresh Interval for Printer Status (プリンタの状態の更新間隔) (HTTP) フィールドで、HTTP プリンタ状態サイクルの更新間隔を設定します。
- 3 **OK** をクリックします。

## プリンタの詳細情報

**Overview** (概要) 機能は、ネットワーク上のプリンタの詳細情報を表示し、変更するのに役立ちます。

### プリンタの詳細情報の表示と変更

プリンタの詳細情報を表示し、変更するには、次の手順を実行します：

- 1 **Overview** (概要) ウィンドウで、変更または表示するプリンタの名前をクリックします。
- 2 表示されるウィンドウで、必須フィールドに情報を入力するか、情報を変更し、**Apply** (適用) をクリックします。



**注意：** OMPM のプリンタの詳細情報を変更中に、組み込み Web サーバー (EWS) のログイン名、パスワード、SNMP 書き込みコミュニティなどの資格情報を、プリンタ EWS に表示されているとおりに設定する必要があります。

### フィールドの説明

本セクションには、プリンタの詳細情報の各種タブに記述されるフィールドの詳細が表示されます。

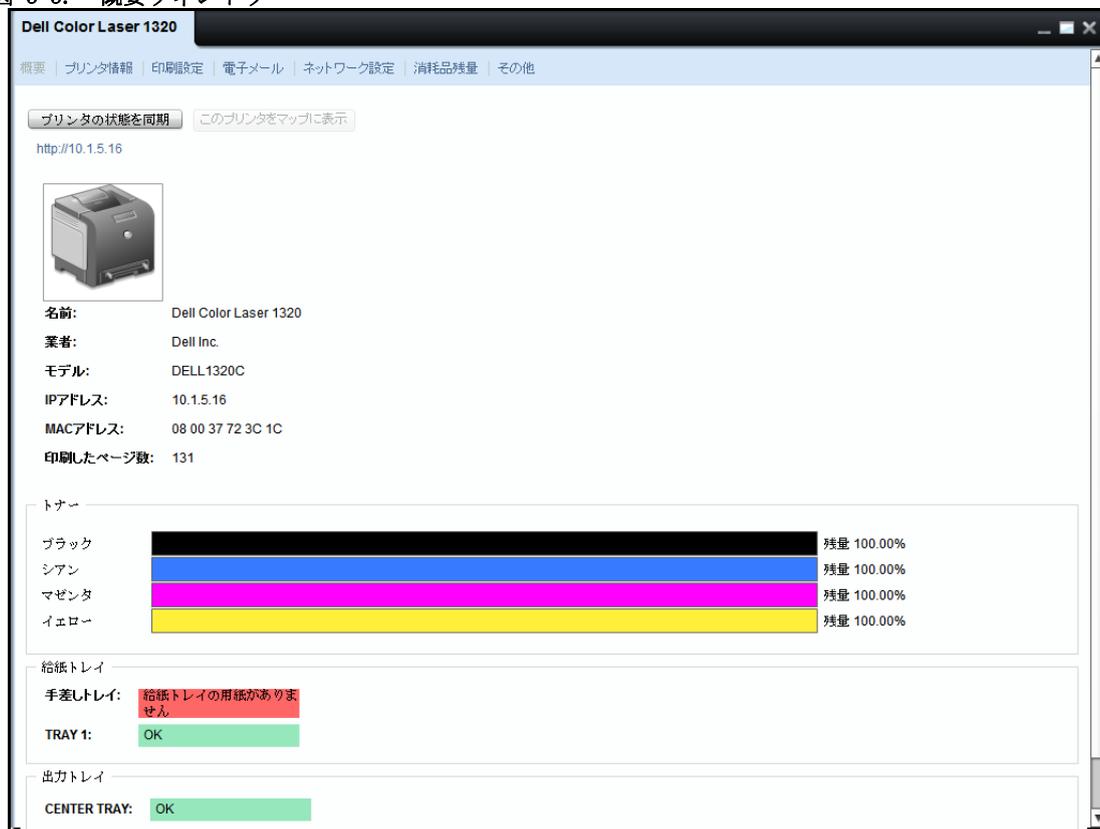
以下は、プリンタの詳細情報ウィンドウに表示されるタブです：

- ・ 概要
- ・ プリンタ情報
- ・ 印刷設定
- ・ 電子メール
- ・ ネットワーク設定
- ・ 消耗品残量
- ・ その他

## 概要

このウィンドウには、プリンタ用品と消耗品の概要とともに、プリンタの基本情報が表示されます。

図 5-5. 概要ウィンドウ



### フィールド

### 説明

フロントパネルのライトの状態/名前	プリンタの状態を示します。
名前	プリンタの名前を示します。
業者	プリンタのメーカーの名前を示します。

フィールド	説明
モデル	プリンタのモデル名を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
MAC アドレス	プリンタの MAC アドレスを示します。
消耗品	プリンタ用品（イメージングドラム、フューザー、ローラー）の残量* を % で示します。
消耗品残量	消耗品（C、M、Y、K）の残量* を % で示します。
イメージングドラム	イメージングドラム（C、M、Y、K）の残量* を % で示します。

\* % の値は概算です。



**注意：** 各プリンタのデータは、前回成功したポーリングに基づいて表示されます。

## このプリンタをマップに表示

Printer Details (プリンタの詳細) ウィンドウで、Show this printer on Map (このプリンタをマップ上に表示する) をクリックし、マップ上のプリンタを検索できます。

Show this printer on Map (このプリンタをマップ上に表示する) をクリックすると、Maps (マップ) ウィンドウが自動的に開き、プリンタがマップ上にマークされます。

OMPM は、検索したプリンタのツールヒントを表示します。

プリンタがマップにマークされていない場合、OMPM は Show this printer on Map (このプリンタをマップで表示) ボタンを無効にし、マップがこのプリンタに関連していないというメッセージのツールヒントを表示します。

## プリンタ情報

このウィンドウには、プリンタの詳細情報および、検出されたプリンタのプロパティが表示されます。

図 5-6. プリンタ情報ウィンドウ

Dell Color Laser 1320	
名前:	Dell Color Laser 1320
説明:	Dell Color Laser 1320c; Net 8.58, Controlle...
モデル:	DELL1320C
プリンタの色の種類:	カラー
備考:	
連絡先:	printeradmin
業者:	Dell Inc.
検出:	18/01/2012 11:28:08
ロケーションノート:	Portland - Building 1 - Floor 2
ロケーションマップ:	
モノクロ ページ最小:	16
カラー ページ最小:	12
プロセス速度 (MHz):	333
メモリ容量 (MB):	64.00
資産	
資産タグ:	5655
取得原価:	
時価:	
原価部門:	
所有者情報	
IPアドレス:	10.15.16

フィールド	説明
フロントパネルのライトの状態/名前	プリンタの状態を示します。
名前	プリンタの名前を示します。
説明	プリンタの説明文を示します。
最終更新日時	ユーザー操作またはポーリングにより、プリンタが最後に更新された時間を示します。
モデル	プリンタに関連付けられているテンプレートにより決定されるプリンタのモデル名を示します。
プリンタの色の種類	プリンタの種類（カラーまたはモノクロ）を示します。
備考	プリンタの特記事項を示します。
連絡先	プリンタの動作状態を維持する責任者を示します。
検出	プリンタが最初に検出された日付を示します。
モノクロ ページ/最小	メーカーによって報告された、モノクロ出力のページ数単位のプリンタの速度を示します。
カラー ページ/最小	メーカーによって報告された、カラー出力のページ数単位のプリンタの速度を示します。
メモリ容量 (MB)	プリンタのメモリ容量を示します。
パネルの言語	プリンタのパネルの言語を示します。
パネルロック	プリンタのフロントパネルがロックされているかどうかを示します。この設定により、フロントパネルから、プリンタの構成が変更されないように装置をロックします。ただし、プリンタと対話するために、フロントパネルを使用できます。各プリンタで、フロントパネルの機能を表示するかどうかを決定できます。

フィールド	説明
資産タグ	資産識別子の値を格納するために使用するプリンタのタグを示します。資産タグはユーザーの内部使用のためのものであり、値はユーザーが設定します。
取得原価	データベースに保存されている、プリンタの取得原価を示します。

フィールド	説明
時価	データベースに保存されている、プリンタの時価を示します。
原価部門	プリンタの原価部門を追跡するための、データベースに保存されている最新の価格を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
MAC アドレス	プリンタの MAC アドレスを示します。
製造番号	プリンタの製造番号を示します。構成と状態の詳細の読み取り時に、プリンタの詳細情報を追跡し、プリンタを識別するために使用されます。
サービスタグ	装置の Dell サービスタグを示します。
ファームウェアバージョン	プリンタのメインファームウェアのバージョンを示します。多くのプリンタは、複数の異なるファームウェアのサブセクションを追跡しますが、全体的なファームウェアのバージョンを表示します。テンプレートが関連付けられるプリンタで、全体的なファームウェアのバージョンがプリンタによって表示されない場合、Firmware Version (ファームウェアのバージョン) には、ファームウェアの主要なエンジンのバージョンまたは、有効な最上位の論理ユニットが表示されます。

## 印刷設定

このウィンドウには、選択したプリンタの設定が表示されます。

図 5-7. 印刷設定ウィンドウ

DELL2135CN

概要 | プリンタ情報 | 印刷設定 | 電子メール | ネットワーク設定 | 消耗品残量 | その他

省電力:

省電力: 55

ジョブのタイムアウト: 15

エラーアラーム - オン:

トナーアラーム - オン:

テキスト印刷 - オン:

ID印刷: 左上

代替トレイ: 一番近いサイズ

非デル製トナー:

多機能

コピーの暗さ: 細字1

ファックスの暗さ: 細字3

FAX機ID:

FAX機電話番号: 000000

ファックス送信数: 1

ファックス受信数: 0

PCL

用紙サイズ: レター

印刷の向き: 印刷方向: 横

フォントの種類: CG Omega Bd

フォントのサイズ: 15

フォント幅: 15

記号セット: ISO-69

数量: 999 部数

下書きモード - オン:

ラインターミネーション: Add-CR

カラーモード: カラー

適用

フィールド	説明
省電力	最後のアクティビティの後に省電力モードに入るまでのプリンタの所要時間（分単位）を示します。アクティビティは印刷ジョブを参照しますが、管理アクティビティ、SNMP、その他のネットワークアクティビティの影響を受けることはありません。
ジョブのタイムアウト	秒単位の時間を示します。プリンタは、ジョブが終了する前に、印刷を行わずにジョブの処理を許可します。このとき、1 つの印刷ジョブのためプリンタが永久的にビジー状態になることを防ぎます。
エラーアラーム - オン	エラーが発生した場合に警報を作動させる状態を示します。
トナーアラーム - オン	トナー残量が少なくなった場合の警報の状態を示します。
テキスト印刷 - オン	テキストのみを含むプリンタの印刷ジョブがオンかオフかを示します。これは、破損したプリンタコマンド言語（PCL）のジョブがテキストとして解釈されないように、ときどきオフになります。その場合には、プリンタは非常に多数の白紙のページを印刷します。
ID 印刷	印刷ジョブのユーザー名を印刷する機能がオンかどうかを示し、各ページの下部に小さいフォントで表示されます。
解像度	印刷ジョブのデフォルトの解像度を制御します。PCL および PostScript (PS) のジョブは、通常、ジョブの一部として印刷解像度を指定し、この設定を却下するため、多くのプリンタはこの設定を無視します。
暗さ	印刷ジョブのデフォルトの暗さを制御します。PCL および PS のジョブは、通常、ジョブの一部として印刷の暗さを指定し、この設定を却下するため、多くのプリンタはこの設定を無視します。
代替トレイ	給紙トレイが作動しない場合、印刷用の給紙トレイを選択します。
非デル製トナー	非デル製トナーの使用が有効または無効の状態かを示します。
部数	印刷部数を示します。ほとんどの PCL および PS のジョブは、ジョブの一部として部数を指定し、この設定を却下するため、これは無視されます。
白紙のページ	2 つのジョブの間に印刷する白紙のページの数を示します。
丁合い	出力の丁合いを有効にします。
バナーシートの位置	バナー印刷機能を有効にし、印刷を決定します。バナーページには、ユーザー、日付、時間などの印刷したテキストが含まれます。
バナーシートトレイ	バナーページで使用する用紙トレイを選択します。

フィールド	説明
セパレータシートの位置	印刷ジョブで白紙のページを識別します。
セパレータシートトレイ	セパレータシートのトレイを指定します。例えば、明るい色の用紙をトレイ 4 に入れ、そのトレイをセパレータシートで使用すると、ジョブ間で区切りを見つけやすくなります。
リソースを保存	印刷費用が削減されます。通常、社内メモや下書きなど、重要度が低い出力を行うプリンタで使用されます。この機能では、通常、ごくわずかな違いしか生じないため、印刷の質が大幅に低下する Draft Mode（下書きモード）と混同しないでください。
コピーの暗さ	多機能プリンタでコピー機能を使用する際のデフォルトの暗さを設定します。
ファックスの暗さ	原本に対してファックスを印刷する明るさと暗さの度合いを調整します。
ファックス送信数	多機能プリンタでファックスを送信する枚数を示します。
ファックス受信数	多機能プリンタでファックスを受信する枚数を示します。
給紙トレイ	印刷ジョブのデフォルトのトレイを選択します。
用紙サイズ	印刷ジョブで使用する用紙のサイズを示します。
印刷の向き	印刷する用紙の向きを示します。
フォントの種類	テキスト印刷のフォントの種類を示します。
フォントのサイズ	フォントのサイズを示します。
フォント幅	横方向に 1 インチあたりに印刷する文字数を示します。これは、フォントのサイズではなく、文字間の空白を制御します。
記号セット	印刷ジョブの記号のデフォルトのフォントを設定します。
数量	印刷ジョブの印刷部数を示します。
イメージエンハンス - オン	画質を向上させるための特別な処理のサポートがオンかオフの状態かを示します。
下書きモード - オン	印刷速度を上げ、場合によりトナーの使用量を減らしますが、印刷品質が非常に低下する可能性がある低品質モードをオンにするための状態を示します。
ラインターミネーション	ラインターミネーション・キャラクタを指定します。
カラーモード	PCL ジョブをカラーまたは、白黒（モノクロ）のどちらで印刷するかを決定します。
エラーレポート - オン	エラーのレポートがオンまたはオフの状態かを示します。

フィールド	説明
タイムアウト（秒）	PostScript タイムアウトのプリンタの EWS 設定を 示します。
用紙選択モード	PostScript 印刷時の給紙方法を選択します。PostScript ジョブ。
FAX 機 ID	FAX 機から送信されたファックスに表示されるテキスト識別子を 示します。
FAX 機電話番号	ファックス送受信のための多機能プリンタに接続されているサービス ラインの電話番号を示します。この番号は、送信ファックスでしばしば必要です。
プラテンスキャンのページ数	ローラーを持ち上げて、原稿を配置し、多機能プリンタのスキヤナで実行するスキャンの回数を示します。
ADF スキャンのページ数	自動ドキュメント フィーダーを使用して、多機能プリンタのスキヤナで実行するスキャンの回数を示します。これには、主にコピー、スキャン、ファックスが含まれます。

## 電子メール

このウィンドウには、プリンタから生成された電子メールによる通知に対する、主/副簡易メール転送プロトコル（SMTP）サーバーの詳細が表示されます。

図 5-8. 電子メールウィンドウ

DELL2135CN

概要 | プリンタ情報 | 印刷設定 | 電子メール | ネットワーク設定 | 消耗品残量 | その他

SMTPサーバー接続: Connection pending until printer sends an alert

SMTPゲートウェイ: 10 . 255 . 10 . 115

SMTP返信アドレス: me@example.com

SMTPプライマリポート: 50000

SMTPプライマリユーザー: admin123

SMTPプライマリパスワード: \*\*

電子メールリスト1: admin1@example.com

リスト1のアラートを選択

警告 - オン:

消耗品アラート - オン:

用紙アラート - オン:

保守サービス - オン:

電子メールリスト2: admin2@example.com

リスト2のアラートを選択

警告 - オン:

消耗品アラート - オン:

用紙アラート - オン:

保守サービス - オン:

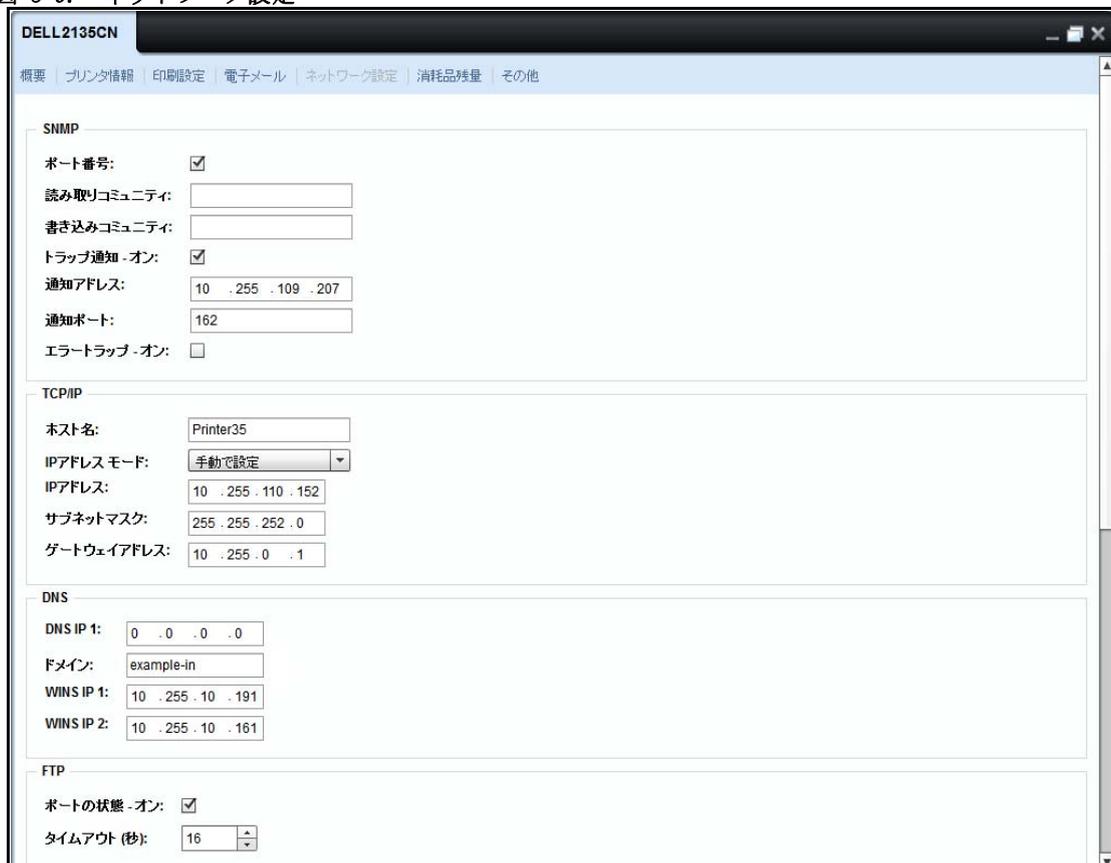
適用

フィールド	説明
SMTP サーバー接続	SMTP 接続の状態を示します。
SMTP ゲートウェイ	送信メッセージの電子メールサービスを提供する SMTP サーバーの送信先アドレスを示します。
SMTP 返信アドレス	プリンタからの送信メッセージに含まれる返信アドレスを示します。
SMTP プライマリポート	電子メールによる通知に使用される SMTP サーバーの TCP/IP のポートを示します。
SMTP プライマリユーザー名	SMTP (メール) サーバーで認証が必要な場合、電子メールを送信するときに使用されるユーザー名を示します。
SMTP プライマリパスワード	SMTP (メール) サーバーで認証が必要な場合、電子メールを送信するときに使用されるパスワードを示します。
SMTP タイムアウト (秒)	選択したプリンタが SMTP サーバーと通信する期間を示します。
電子メールリスト 1/2	プリンタによって生成された通知が送信される受信者の電子メールアドレスを一覧表示します。
リスト 1/2 のアラートを選択	
警告 - オン	プリンタの消耗品残量が特定の値を下回りそうな場合の電子メールによる装置の警告が、オンになっているかどうかを示します。
消耗品アラート - オン	プリンタの消耗品残量が特定の値を下回りそうな場合の装置の警告が、オンになっているかどうかを示します。
用紙アラート - オン	プリンタの用紙切れの場合の警告がオンになっているかどうかを示します。
保守サービス - オン	プリンタの修理・保守サービスが必要な場合の警告がオンになっているかどうかを示します。

## ネットワーク設定

この画面には、選択したプリンタの SNMP、TCP/IP、DNS の設定が表示されます。

図 5-9. ネットワーク設定



The screenshot shows a web interface for configuring a Dell printer (DELL2135CN). The interface has a navigation bar with tabs: 概要, プリンタ情報, 印刷設定, 電子メール, ネットワーク設定 (selected), 消耗品残量, and その他. The main content area is divided into several sections:

- SNMP:** Includes fields for Port number (checked), Read community (empty), Write community (empty), Trap enable (checked), Notification address (10.255.109.207), Notification port (162), and Error trap enable (unchecked).
- TCP/IP:** Includes fields for Host name (Printer35), IP address mode (Manual configuration), IP address (10.255.110.152), Subnet mask (255.255.252.0), and Gateway address (10.255.0.1).
- DNS:** Includes fields for DNS IP 1 (0.0.0.0), Domain (example-in), WINS IP 1 (10.255.10.191), and WINS IP 2 (10.255.10.161).
- FTP:** Includes fields for Port status (checked) and Timeout (16 seconds).



**注意：** 下図 4-10 に示されているように、プリンタの型式に応じて、ウィジェットの特定のパラメータがグレーで表示されます。そのモデルでは、これらは読み取り専用のパラメータです。

図 5-10. SNMP ネットワーク設定ウィンドウ



フィールド	説明
ポート番号	装置の SNMP ポートが有効または無効の状態を示します。OMPM がプリンタを管理するには、これをオンにする必要があります。
読み取りコミュニティ	SNMP 読み取りのためにプリンタで使用されるコミュニティ名を示します。
書き込みコミュニティ	SNMP 書き込みのためにプリンタで使用されるコミュニティ名を示します。
トラップコミュニティ	トラップ送信のためにプリンタで使用されるコミュニティ名を示します。
トラップ通知 - オン	プリンタによる送信トラップが有効または無効の状態を示します。
通知アドレス	プリンタにより SNMP トラップが送信されるアドレスを示します。通常、(プリンタにより決定される) IP またはホスト名です。
通知ポート	プリンタが SNMP トラップを送信する通知アドレスのポートを示します。
エラートラップ - オン	プリンタの SNMP トラップがオンまたはオフの状態を示します。
SNMP セット - オン	プリンタが SNMP を介した構成の変更を許可するかどうかを決定する状態を示します。

フィールド	説明
ホスト名	プリンタで使用されるネットワークホストの名前を示します。
IP アドレス モード	プリンタの IP アドレスを決定するためにプリンタで使用されるモードを示します。ドロップダウンリストの利用できる設定からモードを選択します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
サブネットマスク	プリンタのサブネットマスクを示します。
ゲートウェイアドレス	プリンタのゲートウェイの IP を示します。
MTU	プリンタのネットワークドライブで使用される最大転送ユニット (MTU) を示します。
TTL	プリンタのネットワークドライブで使用される Time-To-Live (TTL) を示します。選択したプリンタで、パケットが破棄または返される前に伝送する時間とホップ数を指定します。
DNS IP 1/2/3	プリンタのドメイン ネーム システム (DNS) サーバーの IP アドレスを示します。
ドメイン	プリンタが対象メンバーとなっているドメインを示します。
WINS IP 1/2	プリンタの WINS IP アドレスを示します。
ポートの状態 - オン	プリンタのファイル転送プロトコル (FTP) サーバーが有効または無効の状態かを示します。
タイムアウト (秒)	接続処理を行うために、FTP サーバーで使用されるタイムアウト値を示します。
ポート番号	プリンタの HTTP ポートが有効または無効の状態かを示します。実際には、この設定はプリンタの EWS を有効または無効にします。
ポート番号	EWS 着信接続を許可するために使用されるネットワークポートの番号を示します。
接続	プリンタの EWS で許可される同時接続数を示します。
タイムアウト (秒)	接続処理を行うために、EWS で使用される秒数を示します。
HTTP 設定 - オン	アプリケーションで構成の変更が可能かどうかを示します。
ポートの状態 - オン	プリンタがラインプリンタデーモンプロトコルを介して印刷する機能が有効または無効の状態かを示します。
タイムアウト (秒)	ネットワーク接続処理を行うために、LDP サーバーで使用されるタイムアウト値を示します。
ポートの状態 - オン	着信印刷ジョブで使用されるポート 9100 の状態を決定します。

フィールド	説明
ポート番号	ネットワーク印刷で使用されるポート番号を示します。
タイムアウト（秒）	実際に割り当てられているポート番号にかかわらず、ポート 9100 の接続時の秒数を示します。これは、印刷機能に関連付けられている各種タイムアウト値からは独立しています。
24 時間モード	プリンタの 24 時間制モードが有効または無効の状態かを示します。
タイムサーバーのポート	設定済みのサーバーのネットワーク時刻設定を行うポートを示します。
日付 / 時刻の形式	表示される日付と時刻の形式を設定示します。
DST モード	夏時間が有効または無効の状態かを示します。DST モードがオンの場合、一部のプリンタの DST は変更できません。
DST	プリンタの夏時間を示します。
タイムサーバー IP	ネットワークタイムサービスを提供するサーバーの IP アドレスを示します。DHCP などの自動 IP モードのプリンタの場合、プリンタが IP アドレスを受信したときに、この値が自動的に設定されます。
タイムサーバーのポート	設定済みのサーバーのネットワーク時刻設定を行うポートを示します。

## 消耗品残量

このウィンドウには、トナー（CMYK）、選択したプリンタの用品（イメージングドラム、フューザー、ローラー）の推定残量が表示されます。

図 5-11. 消耗品ウィンドウ



フィールド	説明
トナー/イメージングドラム/フューザー/ローラー	
推定耐用年数 (ページ)	トナー/イメージングドラム/フューザー/ローラーの推定耐用年数がページ数の形式で表示されます。
カートリッジ/イメージングドラム/フューザー/ローラーの現在のページ	カートリッジ/イメージングドラム/フューザー/ローラーで印刷される現時点での数を示します。
推定残りページ数	カートリッジ/イメージングドラム/フューザー/ローラーの推定残りページ数を示します。
推定残り日数	カートリッジ/イメージングドラム/フューザー/ローラーのアフターサービスの残り日数を示します。

## 免責事項

\* 消耗品の残量を計算する方法は、ヒューリスティックアルゴリズムに基づいています。この計算方法では、必ずしも正確な計算結果にならない可能性があります。



**注意：** トナーを交換すると、データ収集を行う必要があり、推定残り日数が表示されるまでに時間を要するため、残り日数の計算に影響を及ぼす可能性があります。

## 手動給紙トレイ：紙の警告のアウト

あなたのオプションを持っているターンオン/オフ「アウト・オブ・紙」警告生じ外にのマニュアル入力トレイのためにデルプリンタ。この機能ですのみサポートのためにデルプリンタ。

図 5-12. 手動給紙トレイ：紙の警告のアウト



オフにすることができますアウトオブ紙警告から現れる上にザステータスコラムのザ概観ページ確認することによってザオプション「すべての Dell プリンタに対して無効」。この設定意志である適用できるへすべてデルプリンター発見 OPM。オプションを選択「このプリンタの無効にし」意志ターンオフ警告のみのためにそのプリンタ。

警告を無効にするグローバル設定は、プリンタ固有の設定よりも優先されます。警告を有効にするには、グローバル設定が選択されている場合は、プリンタ固有の設定が適用されます。ユーザーインターフェースのオプションは、Dell のプリンタとしないへ非・デルプリンタに表示されます。

## その他

このウィンドウには、選択したプリンタのその他のプロパティが表示されます。

図 5-13. その他のウィンドウ



The screenshot shows a window titled "DELL2150CDN" with a tabbed interface. The "その他" (Other) tab is selected. The window contains the following settings:

プリンタの操作	
SNMPバージョン:	SNMP v1
SNMPタイムアウト:	10
SNMP再試行回数:	2
HTTPタイムアウト:	120
HTTP再試行回数:	2
プリンタのEWSログイン:	admin
プリンタのEWSパスワード:	*****

グループ

グループ名: Color,Second Floor

適用

フィールド	説明
SNMP バージョン	選択したプリンタとの通信に使用される SNMP プロトコルを示します。
SNMP タイムアウト	SNMP 接続エラー発生後、新しい接続が確立されるまでに装置が待機する時間を示します。
SNMP 再試行回数	SNMP 接続エラー発生後、新しい接続が確立されるまでの再試行回数を示します。
SNMP コミュニティ名	SNMP 上で実行される装置と管理ステーションが属するグループ名を示します。
HTTP プロトコル	プリンタの EWS アクセスを介して状態または変更設定を要求する場合、プリンタへの標準アクセスまたは、セキュアな EWS アクセスを選択します。
HTTP タイムアウト	HTTP 接続エラー発生後、新しい接続が確立されるまでに装置が待機する秒数を示します。
HTTP 再試行回数	HTTP 接続エラー発生後、新しい接続が確立されるまでの再試行回数を示します。
プリンタの EWS ログイン	プリンタで実行中の Web サーバーにアクセスするために必要なログイン ID を示します。
プリンタの EWS パスワード	プリンタで実行中の Web サーバーにアクセスするために必要なパスワードを示します。
グループ名	プリンタが属するグループ名を示します。



## プリンタグループの管理

**Manage Groups**（グループの管理）機能を使うと、グループ内にあるネットワークプリンタを管理できます。プリンタグループを定義し、プリンタをこれらのグループに割り当てることができます。プリンタグループでは、複数のプリンタで一度に操作を実行できます。

## グループの種類

プリンタグループには3つのタイプがあります。

- ・ **システム** - OMPM システムが定義するルールを含むシステムグループ。これらのグループのルールを作成したり修正することはできません。
- ・ **静的** - 静的グループは、プリンタの自動割り当てのルールが定義されていないグループです。静的プリンタグループを作成し、プリンタを手動で割り当てることができます。
- ・ **動的** - 動的グループは、定義されたルールを含みます。動的グループのルールを満たすすべてのプリンタは、このグループに含まれます。検出中に、プリンタは動的グループのルールに対して評価されます。プリンタがこのルールを満たす場合、対応する動的グループに配置されます。動的プリンタグループの作成時に、既に検出されているプリンタを含めることを選択できます。



**注意：** プリンタが複数のグループのルールを満たす場合は、複数のグループに8つのシステム提供 プリンタグループがあります。

- ・ カラー
- ・ モノクロ
- ・ 重要
- ・ 警告
- ・ 通常
- ・ すべてのプリンタ
- ・ ブロックされているすべてのプリンタ
- ・ グループ化されていないすべてのプリンタ



**注意：** プリンタを1つ以上のプリンタグループに含めることができます。

### カラー

カラーグループはカラー出力を行うプリンタのグループです。

### モノクロ

モノクログループはモノクロ出力を行うプリンタのグループです。

### 重要

重要グループは重要プリンタステータスのプリンタのグループです。このグループのプリンタは以下の重要な問題を含んでいます。

- ・ プリント不可
- ・ 接続がないかプリンタがオフラインである
- ・ プリンタの電源がついていない

## 警告

警告 グループは警告プリンタステータスのプリンタのグループです。このグループのプリンタは以下の問題を含んでいます。

- ・ 給紙トレイに用紙がない
- ・ 給紙トレイがいっぱいである
- ・ 1つ以上のインクが低レベル
- ・ プリンタに送信された警告ステータス

## 通常

通常グループは通常プリンタステータスのプリンタのグループです。このグループのプリンタは問題がなく、すべてのプリンタ機能は正常に作動しています。

## すべてのプリンタ

このグループはネットワーク内のすべてのプリンタのスーパーセットです。

## ブロックされているすべてのプリンタ

ブロックされているプリンタは検出されません。通常、メンテナンス中のプリンタはこのグループに割り当てられます。



**注意：** ブロックされているプリンタは、他のどのグループにも追加できません。

## グループ化されていないすべてのプリンタ

システム内に定義されているグループが存在しない場合、またはネットワーク内のプリンタがグループのルールを満たしていない場合、**All Ungrouped Printers** (グループ化されていないすべてのプリンタ) に表示されます。



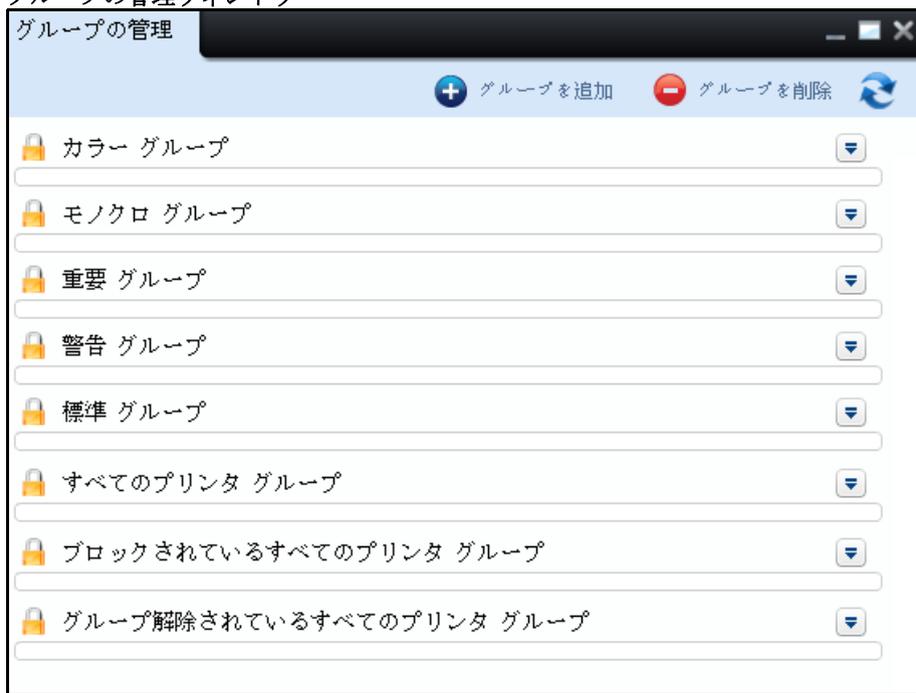
**注意：** プリンタは、一度静的または動的グループに割り当てられた後で、**All Ungrouped Printers** (グループ化されていないすべてのプリンタ) から削除されます。

## グループの追加

新しいプリンタグループを追加するには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Home**（ホーム）→ **Manage Groups**（グループの管理）をクリックします。

図 6-1. グループの管理ウィンドウ



 **注意：** グループ内にあるプリンタの一覧を表示するには、各プリンタグループに対応する矢印をクリックします。

- 2 表示されるウィンドウで、Add Group（グループの追加）をクリックします。

図 6-2. グループの追加

OpenManage Printer Manager      グループを追加

名前: \* 2nd Floor HR Printers

説明: Printers belonging to HR department on second floor

グループの種類     静的     動的

グループルールを既に検出されているプリンタに適用

ルール:

名前	-選択-	* 2ndFloor	&&
原価部門	-選択-	* HR	-選択-

OK    閉じる

- 3 グループの Name (名前) を入力します。このフィールドは必須です。
- 4 グループの Description (説明) を入力します。
- 5 既に検出されているプリンタにルールを適用するには、Apply group rule to already discovered printers (既に検出されているプリンタにグループのルールを適用) チェックボックスをオンにします。
- 6 ルールを定義するには、Rule (ルール) グループボックスから、ルールパラメータを選択します。
- 7 OK をクリックします。

## プリンタをグループに追加する

プリンタをグループを追加するには、次の手順を実行します：

- 1 プリンタを追加するグループに対応する矢印をクリック します。

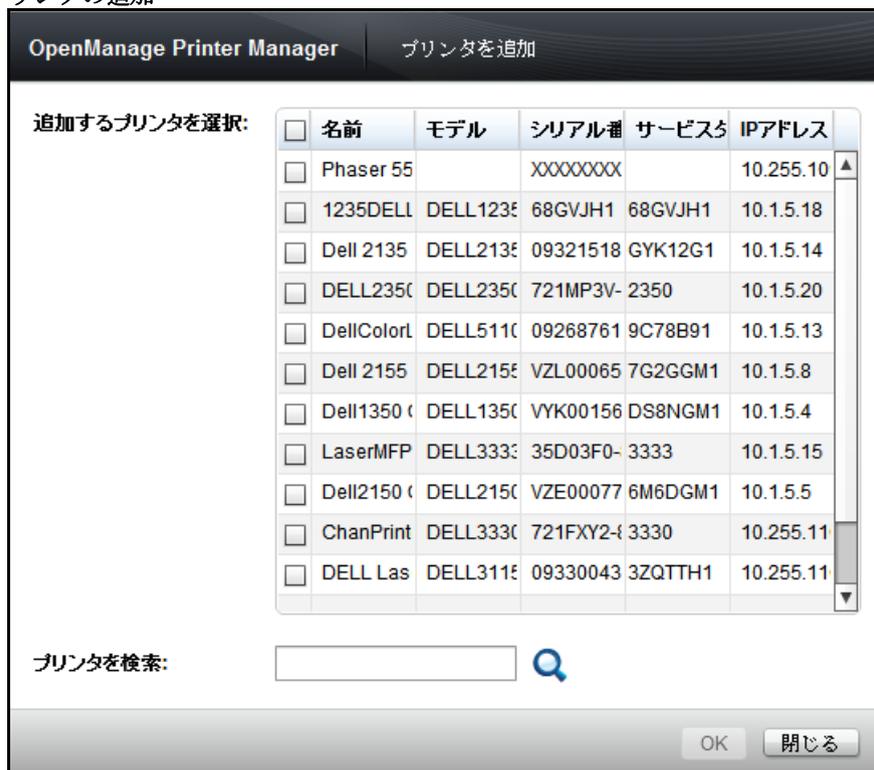
図 6-3. グループ詳細

<input checked="" type="checkbox"/>	名前	モデル	IPアドレス	シリアル番号	サービスタグ
<input checked="" type="checkbox"/>	Dell Color Laser 1320	DELL1320C	10.1.5.16	0930233372	7255CC1
<input checked="" type="checkbox"/>	DellLaser	DELL2355DN	10.1.5.19	7VGCJM1	7VGCJM1

フィールド	説明
名前	グループ内にあるプリンタ名を示します。
モデル	プリンタの型番を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
製造番号	プリンタの製造番号を示します。
サービスタグ	プリンタのサービスタグを示します。

- 2 Add Printer (プリンタの追加) をクリック します。

図 6-4. プリンタの追加



フィールド	説明
名前	グループ内にあるプリンタ名を示します。
モデル	プリンタの型番を示します。
製造番号	プリンタの製造番号を示します。
サービスタグ	プリンタのサービスタグを示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。

- 表示されるダイアログボックスで、一覧からプリンタを選択するか、対応するテキストボックスにあるプリンタの製造番号を入力します。

4 **OK** をクリックします。

 **注意：** プリンタは静的、動的、**All Blocked Printers**（ブロックされているすべてのプリンタ）に追加できます。

## プリンタのブロック

プリンタが検出されないようブロックするには、次の手順を実行します：

- 1 グループに対応する矢印をクリックし、プリンタをブロックするグループを展開します。
- 2 一覧からブロックするプリンタを選択します。
- 3 **Block Printer**（プリンタのブロック）をクリックします。

 **注意：** プリンタは静的、動的、**All Printers Groups**（すべてのプリンタグループ）からブロックできます。

## プリンタの削除

選択したグループからプリンタを削除するには、次の手順を実行します：

- 1 プリンタを削除するグループに対応する矢印をクリックし、グループを展開します。
- 2 一覧から削除するプリンタを選択します。
- 3 **Delete Printer**（プリンタの削除）をクリックします。

 **注意：** プリンタは静的、動的、**All Blocked Printers**（ブロックされているすべてのプリンタ）から削除できます。

## グループの編集

ルールを編集できるのは動的グループだけです。

既存のルールを編集または、新しいルールをグループに追加するには、次の手順を実行します：

- 1 プリンタを編集するグループに対応する矢印をクリックします。
- 2 **Edit**（編集）をクリックします。

図 6-5. グループの編集

OpenManage Printer Manager      グループを編集

名前: \* 2nd Floor HR Printers

説明: Printers belonging to HR department on second floor

グループの種類     静的     動的

グループルールを既に検出されているプリンタに適用

ルール:

ロケーションノード	次の値に等しい	* 2ndFloor	&&
原価部門	次の値に等しくない	* HR	-選択-

OK    閉じる

- 3 表示されるウィンドウで、グループの Name (名前) を入力します。このフィールドは 必須です。
- 4 グループの Description (説明) を入力します。
- 5 既に検出されているプリンタにルールを適用するには、Apply group rule to already discovered printers (既に検出されているプリンタにグループのルールを適用) チェックボックスをオンにします。
- 6 ルールを定義するには、Rule (ルール) グループボックスから、ルールパラメータを選択します。
- 7 **OK** をクリックします。

 **注意：** プリンタは、静的グループから動的グループ、動的グループから静的グループへの移動が可能です。静的から動的へグループを変更するには、グループの種類を **Dynamic** (動的) に変更し、**Rule** (ルール) グループボックスでグループのルールを定義します。動的から静的へグループを変更するには、グループの種類を **Static** (静的) に変更します。動的から静的へグループを変更するときに、**Rule** (ルール) グループボックスのすべてのルールが削除されます。

## グループの削除

静的および動的グループは削除できます。

グループを削除するには、次の手順を実行します：

- 1 Manage Groups (グループの管理) ウィンドウで、Delete Group (グループの削除) をクリックします。

図 6-6. グループの削除



- 2 表示されるウィンドウで、削除するグループを選択し、OK をクリックします。

## マップ

Maps（マップ）機能を使用すると、プリンタをマップに指定できます。指定されたプリンタはアイコンとしてマップ上に表示されます。アイコンの色はプリンタの状態を表します。

Maps（マップ）機能を使用し、OpenManage Printer Manager（OMPM）からマップのアップロードと削除を行うことができます。

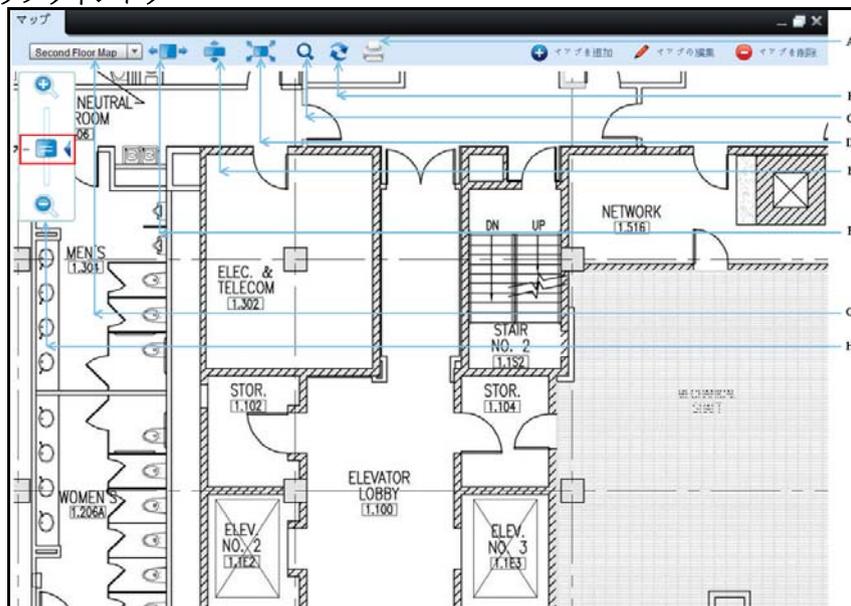


**注意：** 各プリンタがマップできるプリンタアイコンは 1 つしかありません。

## 操作

Maps (マップ) ウィンドウにはマップが表示され、マップ上でさまざまな操作を行うことができます。

図 7-1. マップウィンドウ



---

### 機能

- A - 印刷
  - B - 更新
  - C - 検索
  - D - 画面に合わせる
  - E - 高さに合わせて
  - F - 幅に合わせて
  - G - マップ選択コンボボックス
  - H - 拡大/縮小スライダー
-

## 印刷

Print (印刷) オプションを使用して、マップ上に指定されているプリンタとともにマップを印刷できます。

## リフレッシュ

Refresh (更新) をクリックして、更新されたデータをサーバーから取得できます。

**Overview Settings** (概要の設定) ウィンドウの **Refresh Maps interval** (マップの更新間隔) フィールドで、更新間隔を変更できます。

デフォルトの更新時間は 1 分です。

## 検索

キーボードの、**ENTER** キーを押してから、適切なキーワードを **Search** (検索) フィールドに入力し、選択したマップ上でプリンタを選択できます。検索は、プリンタの名前、IP アドレス、サービスタグ、プリンタの製造番号に基づいて行うことができます。



**注意:** 検索ウィンドウを閉じると、OMPM によって検索がリセットされて元の表示に戻り、すべてのプリンタが表示されます。

## 画面に合わせる

画面に合わせるモードでは、OMPM によってマップの画像の高さと幅がコンテンツ領域に調整されます。この場合、垂直および水平スクロールバーが削除されます。

## 高さに合わせる

高さに合わせるモードでは、OMPM によってマップの画像の高さがコンテンツ領域の高さに調整されます。この場合、垂直スクロールバーが削除されます。また、水平スクロールバーが保存されるため、画像の幅がコンテンツ領域に合わない場合にナビゲーションを行うことができます。

## 幅に合わせる

幅に合わせるモードでは、OMPM によってマップの画像の幅がコンテンツ領域の幅に調整されます。この場合、水平スクロールバーが削除されます。また、垂直スクロールバーが保存されるため、画像の高さがコンテンツ領域に合わない場合にナビゲーションを行うことができます。

## マップの選択

マップの選択コンボボックスには、OMPM にアップロードされるマップの名前が表示されます。



**注意:** OMPM にアップロードされるマップがない場合、**Add Map** (マップの追加) を除く **Maps** (マップ) ウィジェットのすべてのコントロールが無効になります。

## ツールヒント

マップのアイコン上にマウスポインタを移動すると、OMPM によってツールヒントが表示されます。

## 拡大／縮小

Maps (マップ) ウィンドウのスライダーを使用して、マップのズームレベルを設定できます。100% ズームレベルインジケーター (-) をクリックすると、ズームレベルが直接 100% となります。

## マップのパン操作

これを行うには、マウスの左ボタンをクリックし、マウスボタンを押したままで、任意の方向にポインタを移動します。OMPM はポインタの動きと連動し、マップの画像とマップ上のアイコンをポインタの方向に移動します。

## マップの追加

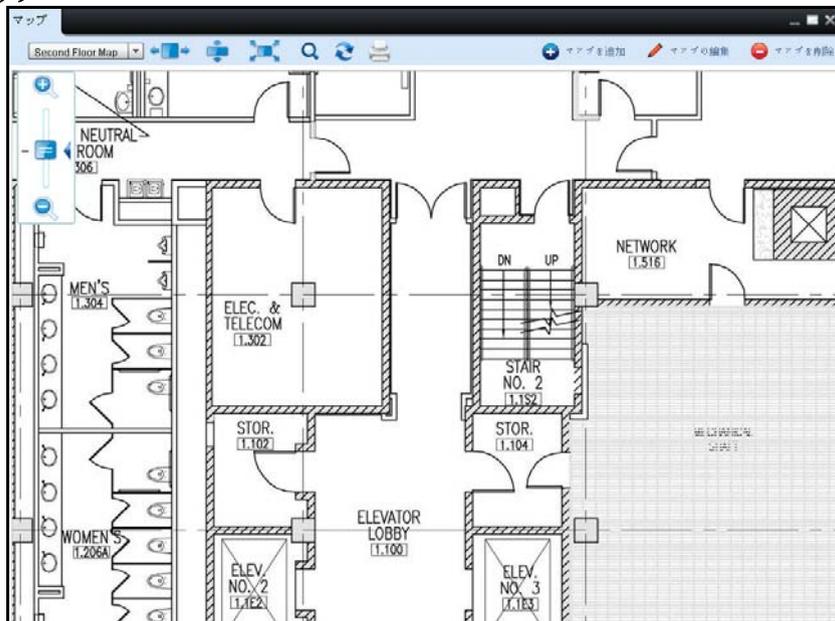
**Maps** (マップ) 機能を使用して、マップを OPM にアップロードし、プリンタをアップロードされたマップに追加できます。

 **注意：** 管理者特権を持つ OPM ユーザーのみがマップに追加することが可能です。

マップをアップロードするには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーション パネルで、**Home** (ホーム) → **Maps** (マップ) をクリックします。

図 7-2. マップ



- 2 表示されるウィンドウで、Add Map (マップの追加) をクリックします。

図 7-3. マップの追加ウィンドウ

マップ

マップを選択: \* Second\_Floor.jpg    アップロード...    jpeg/pdf/png 形式

名前: Second Floor Map

プリンタを追加:

<input type="checkbox"/>	名前	モデル	IPアドレス	場所
<input checked="" type="checkbox"/>	DELL-2335dn	DELL2335DN	10.255.110.153	3rd Floor
<input type="checkbox"/>	1300hrs_Dec_07_2010	DELL2135CN	10.255.110.152	2nd floor lab

\*プリンタをリストから選択するか、概要画面でプリンタをマップの上にごドラッグします

<戻る    マップを追加

- 3 表示されるウィンドウで、Upload...（アップロード...）を選択し、一覧からファイルを選択します。ファイル名が Name（名前）フィールドに表示されます。

 **注意：** OPMでは、.jpeg、.png、.pdf ファイルのみアップロードできます。

- 4 マップの名前を必要に応じて変更します。
- 5 割り当てられていないプリンタを選択し、Add Map（マップの追加）をクリックします。

## マップの編集

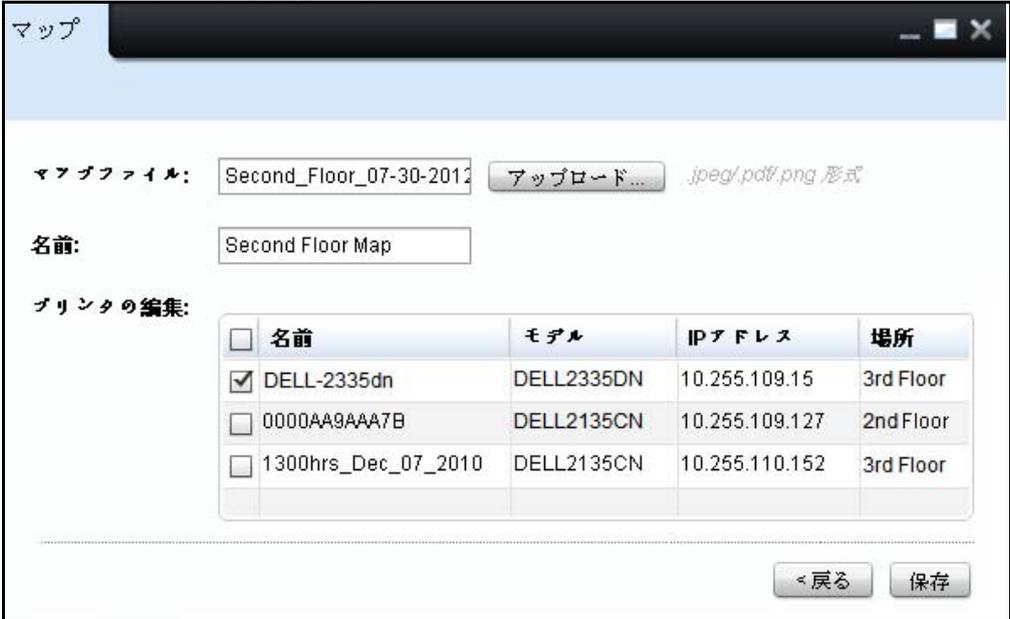
OMPM は以前追加したマップを編集することができます。

 **注意：** 管理者特権を持つ OMPM ユーザーのみがマップを編集することが可能です。

OMPM からマップを編集するには次の手順を行います。

- 1 **Map** (マップ) ウィンドウで **Edit Map** (マップの編集) をクリックします。

図 7-4. マップウィンドウを編集します



<input type="checkbox"/>	名前	モデル	IPアドレス	場所
<input checked="" type="checkbox"/>	DELL-2335dn	DELL2335DN	10.255.109.15	3rd Floor
<input type="checkbox"/>	0000AA9AAA7B	DELL2135CN	10.255.109.127	2nd Floor
<input type="checkbox"/>	1300hrs_Dec_07_2010	DELL2135CN	10.255.110.152	3rd Floor

- 2 表示される画面で **Upload..** (アップロード) をクリックし、そのロケーションから編集されるマップを選択します。ファイル名が **Map File** (マップファイル) フィールドに表示され、マップ名は **Name** (名前) フィールドに表示されます。

 **注意：** プリンタの編集フィールドは次のプリンタを一覧表記しています。

- ・ 選択されたマップに関連するすべてのプリンタでプリンタ名にチェックマークがついているもの。
- ・ マップに関連づいていないすべてのプリンタでチェックマークがついていないもの。

- 3 **Name** (名前) フィールドで必要な場合、マップ名を変更します。

 **注意：** この手順はオプションです。

- 4 **Edit Printers**(プリンタの編集)フィールドで、マップからプリンタを削除するにはチェックを外します。
- 5 **Edit Printers**(プリンタの編集)フィールドで、マップに追加するにはチェックのないプリンタにチェックを入れます。
- 6 (保存)をクリックします。

## マップの削除

OMPM では、以前に追加したマップを削除できます。

 **注意：** 管理者特権を持つ OMPM ユーザーのみがマップを編集することが可能です。

OMPM からマップを削除するには、次の手順を実行します：

- 1 **Maps** (マップ) ウィンドウで、**Delete Map** (マップを削除) をクリックします。

図 7-5. マップウィンドウの削除



- 2 削除するマップを選択し、**Delete Map** (マップを削除) をクリックします。

図 7-6. マップの削除



- 3 表示されるダイアログボックスで、Yes (はい) をクリックします。

## プリンターの追加と削除

ドラッグ アンド ドロップによってマップにプリンターを追加することができます。そのためには、概要 ウィンドウとマップウィンドウをカスケードして、追加するプリンターを選択したマップにドラッグ アンド ドロップします。

概要ウィンドウからマップウィンドウに複数のプリンターをドラッグ アンド ドロップするには、**Shift** キーを押しながら方向キーを使って複数行を選択します。同様に、**Ctrl** キーを押しながら行をクリックすることで、それぞれの行を選択 / 選択解除できます。

**Shift** キーを押しながらマウスを使ってマップ上の複数のプリンターのチェックマークをオンにすることで、マップ上でプリンターのグループを選択して移動や削除をすることができます。これで、選択したプリンターをマップ上にドラックして移動したり、右クリックをして削除したりできます。同様に、**Ctrl** キーを使ってそれぞれのプリンターを選択 / 選択解除できます。



## レポート

レポートは、管理者がプリンタの使用状況を理解し、プリンタを管理するのに役立ちます。レポートは、プリンタから収集されたデータを使用して作成されます。OpenManage Printer Manager (OPPM) には、生成して PDF またはコンマ区切り値 (CSV) 形式で保存可能な 4 つの定義済みのレポートが備わっています：

- ・ 消耗品の使用量
- ・ プリンタ資産／インベントリ
- ・ 消耗品残量：少
- ・ 現在のプリンタのファームウェア



**注意：** 4 つの定義済みのレポートの他に、任意の数のカスタムレポートを作成できます。

Consumable Usage (消耗品の使用量) は、定義された期間に印刷されたページ数に関するレポートを生成します。

図 8-1. 消耗品の使用量のレポート

 OPENMANAGE™ PRINTER MANAGER 印刷したページ数のレポート このレポートには、指定の期間内にすべてのプリンタで印刷したページ数が表示されます。							
生成日: 05-11-2012 生成元: admin admin グループ 所有 打撃機 日付範囲: 12-07-2011 発先 01-18-2012						ページ: 1 / 1 表示順: モデル名	
プリンタの詳細情報							
モデル	IPアドレス	場所情報	サービスタグ	監視開始日 時	終了日のページ数	開始日のページ数	印刷したページ数
DELL1235CN	10.1.5.18	3rd Floor	68GVJH1	01-18-2012	5410	3100	2310
DELL1320C	10.1.5.16	2nd Floor	7255CC1	01-18-2012	9490	3100	6390
DELL1350CNW	10.1.5.4	3rd Floor	DS8NGM1	01-18-2012	5410	3100	2310
DELL2135CN	10.1.5.14	1st Floor	GYK12G1	01-18-2012	6430	3100	3330
DELL2135CN	10.255.110.152	Test Location	2J212G1	01-18-2012	3110	3100	10
DELL2150CDN	10.1.5.5	2nd Floor	6M6DGM1	01-18-2012	6430	3100	3330
DELL2155CDN	10.1.5.8	2nd Floor	7G2GGM1	01-18-2012	5410	3100	2310
DELL2335DN	10.255.110.153	1st Floor	1PM7FG1	01-18-2012	3110	3100	10
DELL2350DN	10.1.5.20	3rd Floor	2350	01-18-2012	9490	3100	6390
DELL2355DN	10.1.5.19	2nd Floor	7VGCJM1	01-18-2012	4390	3100	1290
DELL3115CN	10.255.110.151	1st Floor	3ZQTH1	01-18-2012	3110	3100	10
DELL3330DN	10.255.110.150	3rd Floor	3330	01-18-2012	3110	3100	10
DELL3333DN	10.1.5.15	1st Floor	3333	01-18-2012	4390	3100	1290
DELL5110CN	10.1.5.13	1st Floor	9C78B91	01-18-2012	6430	3100	3330

印刷した総ページ数: 32320

消耗品の使用量のレポートには、次の詳細情報が含まれています：

フィールド	説明
日付範囲	レポートが生成された期間を示します。
モデル	プリンタの型番を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
場所	プリンタの場所情報を示します。
サービスタグ	プリンタのサービスタグを示します。
開始日のページ数	開始日のページ数を示します。
終了日のページ数	終了日のページ数を示します。
印刷したページ数	指定した日付範囲の間に印刷されたページ数を示します。
概要	プリンタの型式の概要を示します。

Printer asset/Inventory (プリンタ資産/インベントリ) は、選択したグループ内のすべてのプリンタの状態に関するレポートを生成します。

図 8-2. プリンタ資産/インベントリレポート

モデル	プリンタ名	IPアドレス	場所情報	サービスタグ	発見日	状態
-	-	10.255.109.15	-	-	04-27-2012	輸入紙盤中の紙張已用完
DELL1235CN	1235DELLPrinter	10.1.5.18	3rd Floor	68GVJH1	01-18-2012	正常
DELL1320C	Dell Color Laser 1320	10.1.5.16	2nd Floor	7255CC1	01-18-2012	正常
DELL1350CNW	Dell1350 Color Printer	10.1.5.4	3rd Floor	DS8NGM1	01-18-2012	正常
DELL2135CN	DELL2135CN	10.255.110.152	2nd Floor	2J212G1	01-18-2012	輸入紙盤中の紙張已用完
DELL2135CN	DELL2135CN	10.1.5.14	1st Floor	GYK12G1	01-18-2012	正常
DELL2150CDN	DELL2150CDN	10.1.5.5	2nd Floor	6M6DGM1	01-18-2012	輸入紙盤中の紙張已用完
DELL2155CDN	DELL2155CDN	10.1.5.8	1st Floor	7G2GGM1	01-18-2012	輸入紙盤中の紙張已用完
DELL2335DN	DELL2335DN	10.255.110.153	1st Floor	1PM7FG1	01-18-2012	正常
DELL2350DN	DELL2350	10.1.5.20	3rd Floor	2350	01-18-2012	輸入紙盤中の紙張已用完
DELL2355DN	DELL2355DN	10.1.5.19	2nd Floor	7VGCJM1	01-18-2012	向下
DELL3115CN	DELL Laser 3115CN	10.255.110.151	1st Floor	3ZQ1TH1	01-18-2012	向下
DELL3330DN	DELL3330DN	10.255.110.150	3rd Floor	3330	01-18-2012	向下
DELL3333DN	LaserMFP3333	10.1.5.15	1st Floor	3333	01-18-2012	輸入紙盤中の紙張已用完

図 8-3. プリンタ資産／インベントリレポートの概要

概要	
モデル	数量
-	1
DELL1235CN	1
DELL1320C	1
DELL1350CNW	1
DELL2135CN	2
DELL2150CDN	1
DELL2155CDN	1
DELL2335DN	1
DELL2350DN	1
DELL2355DN	1
DELL3115CN	1
DELL3330DN	1
DELL3333DN	1
DELL5110CN	1

プリンタ資産／インベントリレポートには、次の詳細情報が含まれています：

フィールド	説明
モデル	プリンタの型番を示します。
プリンタ名	プリンタの名前を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
場所	プリンタの場所情報を示します。
サービスタグ	プリンタのサービスタグを示します。
検出日	プリンタが検出された日付を示します。
状態	プリンタの状態を示します。
概要	プリンタの型式の概要を示します。

Consumable low (消耗品残量不足) では、プリンタの消耗品の残量 (トナー、フューザー、イメージングドラムを含む消耗品) に関するレポートが生成されます。

図 8-4. 消耗品残量不足レポート

 OPENMANAGE™ PRINTER MANAGER 用紙・インク残量不足のレポート このレポートには、消耗品残量が不足しているプリンタが表示されます 90%. 生成日: 05-11-2012 生成元: admin admin グループ: 所有打印机 プリンタの詳細情報														
モデル	プリンタ名	IPアドレス	場所情報	サービススタグ	トナー				ローラー	フューザー	ドラム			
					C	M	Y	K			C	M	Y	K
DELL1235CN	1235DELLPrinter	10.1.5.18	3rd Floor	68GVJH1	86	86	85	88	98	98	-	-	-	93
DELL2135CN	DELL2135CN	10.1.5.14	1st Floor	GYK12G1	100	10	10	40	-	-	-	-	-	-
DELL2150CDN	DELL2150CDN	10.1.5.5	2nd Floor	6M6DGM1	100	100	80	100	-	-	-	-	-	100
DELL2155CDN	DELL2155CDN	10.1.5.8	1st Floor	7G2GGM1	100	100	100	80	-	-	-	-	-	100

図 8-5. 消耗品残量不足レポートの概要

概要													
モデル	トナー				ローラー	フューザー	ドラム						
	C	M	Y	K			C	M	Y	K			
DELL1235CN	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DELL2135CN	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DELL2150CDN	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DELL2155CDN	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

消耗品残量不足の状態レポートには、次の詳細情報が含まれています：

フィールド	説明
モデル	プリンタの型番を示します。
プリンタ名	プリンタの名前を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
場所	プリンタの場所情報を示します。
サービススタグ	プリンタのサービススタグを示します。
C%	シアントナーの残量*が % であることを示します。
M%	マゼンタトナーの残量*が % であることを示します。
Y%	黄色のトナーの残量*が % であることを示します。

フィールド	説明
K%	黒色のトナーの残量*が % であることを示します。
フューザー %	フューザーの残量*が % であることを示します。
イメージングドラム %	イメージングドラムの残量*が % であることを示します。
概要	プリンタの型式の概要を示します。

\* % の値は概算です。

**Current printer firmware** (現在のプリンタのファームウェア) では、選択したグループ内のすべてのプリンタの現在のエンジンのファームウェアおよび、コントローラファームウェアに関するレポートが生成されます。

図 8.6. 現在のプリンタのファームウェアレポート

 <b>OPENMANAGE™ PRINTER MANAGER</b> <b>プリンタ ファームウェアのレポート</b>						
このレポートには、OpenManage Printer Managerによって管理されるすべてのプリンタのファームウェアが表示されます。						ページ: 1 / 2
生成日: 04-30-2012 生成元: admin admin グループ: 所有打印機						表示順: モデル名
プリンタの詳細情報						
モデル	プリンタ名	IPアドレス	場所情報	サービスタグ	Date Discovered	ファームウェア
-	-	10.255.109.15	-	-	04-27-2012	-
DELL1235CN	1235DELLPrinter	10.1.5.18	3rd Floor	68GVJH1	01-18-2012	V1.70.01.14 Apr-26-2010
DELL1320C	Dell Color Laser 1320	10.1.5.16	2ndd Floor	7255CC1	01-18-2012	200702091527
DELL1350CNW	Dell1350 Color Printer	10.1.5.4	3rd Floor	DS8NGM1	01-18-2012	201008241506
DELL2135CN	DELL2135CN	10.255.110.152	2nd Floor	2J212G1	01-18-2012	200908241013
DELL2135CN	DELL2135CN	10.1.5.14	1st Floor	GYK12G1	01-18-2012	200807021731
DELL2150CDN	DELL2150CDN	10.1.5.5	2nd Floor	6M6DGM1	01-18-2012	201008061453
DELL2155CDN	DELL2155CDN	10.1.5.8	1st Floor	7G2GGM1	01-18-2012	201008241550
DELL2335DN	DELL2335DN	10.255.110.153	1st Floor	1PM7FG1	01-18-2012	2.70.01.24
DELL2350DN	DELL2350	10.1.5.20	3rd Floor	2350	01-18-2012	LL.LBM.P429e-0
DELL2355DN	DELL2355DN	10.1.5.19	2nd Floor	7VGCJM1	01-18-2012	V2.70.01.03 08-18-2010
DELL3115CN	DELL Laser 3115CN	10.255.110.151	1st Floor	3ZQTTH1	01-18-2012	200809190845
DELL3330DN	DELL3330DN	10.255.110.150	3rd Floor	3330	01-18-2012	NR.APS.N447b2-0
DELL3333DN	LaserMFP3333	10.1.5.15	1st Floor	3333	01-18-2012	NR.APS.N447b-0
DELL5110CN	DellColorLaser5110	10.1.5.13	2nd Floor	9C78B91	01-18-2012	200604071351

図 8-7. 現在のプリンタのファームウェアレポートの概要

グループ: 所有 印刷機		
モデル	ファームウェア	数量
-	-	1
DELL1235CN	V1.70.01.14 Apr-26-2010	1
DELL1320C	200702091527	1
DELL1350CNW	201008241506	1
DELL2135CN	200908241013	1
DELL2135CN	200807021731	1
DELL2150CDN	201008061453	1
DELL2155CDN	201008241550	1
DELL2335DN	2.70.01.24	1
DELL2350DN	LL.LBM.P429e-0	1
DELL2355DN	V2.70.01.03 08-18-2010	1
DELL3115CN	200809190845	1
DELL3330DN	NR.APS.N447b2-0	1
DELL3333DN	NR.APS.N447b-0	1
DELL5110CN	200604071351	1

現在のプリンタのファームウェアレポートには、次の詳細情報が含まれ

フィールド	説明
モデル	プリンタの型番を示します。
プリンタ名	プリンタの名前を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
場所	プリンタの場所情報を示します。
検出日	プリンタが検出された日付を示します。
ファームウェア	プリンタのファームウェアを示します。
サービスタグ	プリンタのサービスタグを示します。
概要	プリンタの型式の概要を示します。

## レポートの生成

レポートを生成するには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Reports**（レポート） → **Create Report**（レポートの作成）をクリックします。

図 8-8. レポートの作成ウィンドウ

レポートの作成

カスタムレポート + SMTPの構成

レポートの選択: 消耗品の使用量

レポート生成対象:  グループ  プリンタ

グループの選択: すべてのプリンタ

プリンタの選択: 0932188078

タスクのスケジュール: 1回

今すぐ  後で

スケジュール指定のオプション

レポートのスケジュール【日】: 07/30/2012

時刻: 00 時間 00 分

スナップショットの期間

開始日: 07/30/2012

終了日: 07/30/2012

スケジュールについての注意:

保存  電子メール

ファイルの種類: PDF

電子メールのオプション

ユーザーの選択:  admin <admin@admin.com>

電子メールアドレス: 電子メールアドレスを入力してください。電子メールアドレスはセミコロン(;)で区切って入力します。

件名: レポートのスケジュールを設定-消耗品の使用量

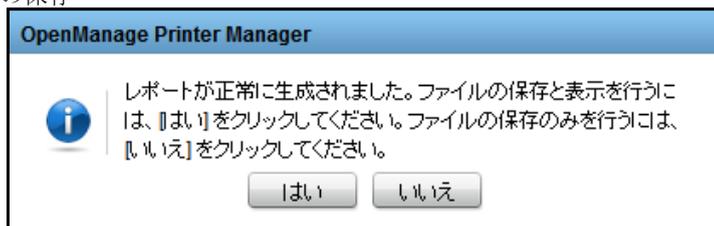
メール本文: OpenManage Printer Managerから送信されたメッセージ。

送信

- 2 表示されるウィンドウで、**Select Report**（レポートの選択）ドロップダウンリストをクリックし、生成するレポートの種類を選択します。
- 3 グループのレポートを生成するには、**Group**（グループ）を選択し、**Select Group**（グループの選択）ドロップダウンリストから、レポートを生成する必要があるグループを選択します。
- 4 プリンタのレポートを生成するには、**Printer**（プリンタ）を選択し、**Select Printer**（プリンタの選択）ドロップダウンリストから、レポートを生成する必要があるプリンタを選択します。

- 5 レポートをただちに生成するには、**Schedule Task**（タスクのスケジュール）ドロップダウンボックスで、**Once**（1回）を選択し、**Now**（今すぐ）を選択します。  
 **注意：** レポートを後で生成するには、**Schedule Task**（タスクのスケジュール）ドロップダウンボックスで、**Once**（1回）を選択し、**Later**（後で）を選択します。また、**Daily**（毎日）、**Weekly**（毎週）、**Monthly**（毎月）を選択し、後でレポートを生成するようにスケジュールすることもできます。
- 6 **From**（開始）および **To**（終了）フィールドで、レポートが生成された期間を 選択します。  
 **注意：** 期間は、選択したレポートの種類が **Consumable Usage**（消耗品の使用量）、選択した **Schedule Task**（タスクのスケジュール）が **Once**（1回）の場合のみ指定されます。  
 **注意：** 1回にスケジュールし、**Now**（今すぐ）を選択した場合、デフォルトでは、**Email**（電子メール）と **Save**（保存）オプションが選択されます。電子メールとレポートのスケジュール（電子メールとレポートのスケジュール）を参照してください。
- 7 レポートを生成する形式を選択します。  
 **注意：** レポートは CSV または PDF 形式で保存できます。
- 8 **Submit**（送信）をクリックします。

図 8-9. レポートの保存



- 9 表示されるダイアログボックスで、**Yes**（はい）をクリックし、ファイルを保存して表示するか、**No**（いいえ）をクリックし、ファイルを保存します。

## カスタムレポートの作成

4 つの定型文のレポートの他に、カスタムレポートを作成できます。

カスタムレポートを作成するには、次の手順を実行します：

- 1 **Create Report**（レポートの作成）ウィンドウで、**Custom Reports**（カスタムレポート）をクリックします。

図 8-10. カスタムレポートウィンドウ



- 2 表示される画面で **Create Report Template**（レポートテンプレートの作成）をクリックします。

図 8-11. 新規レポート作成画面

- 表示される画面で、レポート名を入力し、**Column**（カラム）フィールドから作成したいレポートのパラメータを選択します。

注意：レポートは 7 つまで選択できます。

- Rule**（ルー？）フィールドで、必要な場合、各パラメータを選択し、パラメータのフィルタ値を適用します。フィルタ値に基づいて関連するパラメータデータは作成されたレポートに表示されます。フィルタプレビューは最後のフィルタ値フィールドのあとに表示されます。

注意：パラメータフィルタを選択しないと、レポートは OMPM データベースのすべてのプリンタを含みます。選択されたカラムのみがレポートに表示されます。

注意：フィルタを削除するには、削除したいフィルタの アイコンをクリックします。

- Save**（保存）をクリックします。

## カスタム レポートを削除する

以前に作成したカスタム レポートを削除することができます。

カスタム レポートを削除するには、以下のステップを実行します。

- 1 **レポートを作成する** ウィンドウで、レポート名の横にあるチェックボックスをクリックして削除するレポートを選択します。

**Delete** ボタンが有効になります。

図 8-12. カスタムレポートウィンドウ



2 **削除** をクリックします。

図 8-13. レポート削除



3 ダイアログボックスが表示されたら **はい** をクリックします。

## 電子メールとレポートのスケジュール

定義済みのレポートとカスタムレポートは、後で生成するようスケジュールできます。生成されたレポートは、選択した登録済みユーザーと未登録ユーザーに電子メールの添付ファイルとして送信できます。

また、ただちにレポートを生成することもできます。

レポートは、時間を選択して、1回、毎日、毎週、毎月スケジュールします。OMPMは、レポートをメールで送信する際に、カスタムメッセージを入力するオプションを提供します。

レポートをスケジュールし、メールで送信するには、次の手順を実行します：

- 1 **Create Report** (レポートの作成) ウィンドウで、**Select Report** (レポートの選択) ドロップダウンリストからレポートの種類を選択し、レポートを生成する必要がある **Group** (グループ) または **Printer** (プリンタ) を選択します。

図 8-14. レポートのスケジュールウィンドウ

レポートの作成

カスタムレポート + SMTPの構成

レポートの選択: 消耗品の使用量

レポート生成対象:  グループ  プリンタ

グループの選択: すべてのプリンタ

プリンタの選択: 0932188078

タスクのスケジュール: 1回

今すぐ  後で

スケジュール指定のオプション

レポートのスケジュール(日): 07/30/2012

時刻: 00 時間 00 分

スナップショットの期間

開始日: 07/30/2012

終了日: 07/30/2012

スケジュールについての注意:

保存  電子メール

ファイルの種類: PDF

電子メールのオプション

ユーザーの選択:  admin <admin@admin.com>

電子メールアドレス: 電子メールアドレスを入力してください。電子メールアドレスはセミコロン(;)で区切って入力します。

件名: レポートのスケジュールを設定-消耗品の使用量

メール本文: OpenManage Printer Managerから送信されたメッセージ。

送信

2 **Schedule Options**（スケジュールオプション）で、次のことを行います：

- ・ **Schedule Task**（タスクのスケジュール）ドロップダウンボックスで、要件に応じて、**Once**（1回）、**Daily**（毎日）、**Weekly**（毎週）、**Monthly**（毎月）を選択します。

 **注意：** **Once**（1回きり）を選択した場合、**Now**（今すぐ）を選択してレポートをただちに生成するか、**Later**（あとで）を選択して特定の時間にレポートを生成します。

 **注意：** レポートは、ただちに生成する場合のみ保存されます。

- ・ **Schedule Report at**（レポートのスケジュール（時間））フィールドで、レポートをスケジュールする時間を選択します。
- ・ **Schedule Report on**（レポートのスケジュール（日））フィールドで、レポートをスケジュールする日付を選択します。

 **注意：** レポートがただちに生成される場合、**Schedule Report on**（レポートのスケジュール（日））フィールドは無効になります。

3 **From**（開始）および **To**（終了）フィールドで、レポートを生成する必要がある期間を選択します。

 **注意：** 期間は、選択したレポートの種類が **Consumable Usage**（消耗品の使用量）、選択した **Schedule Task**（タスクのスケジュール）が **Once**（1回）の場合のみ指定されます。

4 **Schedule Notes**（スケジュールメモ）フィールドで、スケジュール済みタスクのメールを入力します。

5 レポートをメール送信する形式を選択します。

 **注意：** レポートは CSV または PDF 形式でメール送信できます。

 **注意：** デフォルトでは、**Email**（電子メール）チェックボックスがオンになっています。

6 **Email Options**（電子メールのオプション）で、次のことを行います：

- ・ **Select Users**（ユーザーの選択）グループボックスで、レポートを電子メールで送信する登録済みユーザーを選択します。

 **注意：** デフォルトでは、**Select Users**（ユーザーの選択）グループボックスで、ログオンしているユーザーがチェックされています。

- ・ **Email Addresses**（電子メールアドレス）フィールドで、レポートを電子メールで送信する未登録ユーザーの有効な電子メールアドレスを入力します。
- ・ **Subject Line**（件名）および **Mail Body**（メール本文）フィールドで、電子メールの件名とメール本文をそれぞれ入力します。

7 **Submit**（送信）をクリックします。

 **注意：** スケジュール済みレポートは、スケジュール済みタスクとして **Schedules**（スケジュール）ウィンドウに表示されます。**Schedules**（スケジュール）ウィンドウで **Update**（更新）をクリックすると、**Create Reports**（レポートの作成）ウィンドウが表示されます。

図 8-15. スケジュール済みレポート



<input type="checkbox"/> 名前	定期タスク	備考	状態	
<input type="checkbox"/>	検出		完了	更新
<input type="checkbox"/> DB Back up	データベースのバックアップ	DB Back up	スケジュール	更新
<input type="checkbox"/> Consumable Usage	レポートのスケジュールを設定		スケジュール	更新
<input type="checkbox"/> DB Cleanup on 1st of every month	データベースのクリーンアップ	DB Cleanup on 1st of every month	スケジュール	更新
<input type="checkbox"/> Weekly DB backup	データベースのバックアップ	DB Backup on Thu,Fri and Sat da	スケジュール	更新
<input type="checkbox"/> Printer asset / Inventory	レポートのスケジュールを設定		スケジュール	更新

 **注意：** スケジュール済みおよびメール送信済みのレポートは、監査ログに記録されます。

図 8-16. 生成されたレポート



ユーザー名	操作の種類	実行した操作	日付
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登録。	Mon Apr 30 15:13:4...
SYSTEM	スケジュールされた...	スケジュールされたレポート:用紙・インク_使い方_04-30-2012_14_55_00_522.pdfが正...	Mon Apr 30 15:13:4...
SYSTEM	計画報告	已成功启动计划报告生成。	Mon Apr 30 14:55:0...
SYSTEM	搜索	已完成搜索。	Mon Apr 30 14:50:0...
SYSTEM	搜索	搜索已启动。	Mon Apr 30 14:49:3...
SYSTEM	搜索	已完成搜索。	Mon Apr 30 14:22:0...
admin	レポート	レポートCurrent Printer Firmware Reportが正常に生成されました。	Mon Apr 30 14:21:2...
SYSTEM	計画報告	已成功完成计划报告生成。	Mon Apr 30 10:33:2...

## 検出

OpenManage Printer Manager (OPPM) は、RFC3805、1213、2790 および 3410 規格に適合するすべてのネットワークプリンタを検出します。

検出は、ネットワーク上のプリンタを識別するためのプロセスです。**Discovery** (検出) 機能を使用すると、プリンタをただちに、または定義されたスケジュールに従ってプリンタを検出できます。

OPPM は、IP アドレスに基づいて、IPv4 ローカルエリアネットワーク (LAN) 上にあるプリンタを識別し、プリンタを管理されるプリンタの一覧に追加します。

禁止リストにあるプリンタはすべて検出対象から除外されます。

## プリンタの検出

プリンタを管理するには、プリンタを検出し、プリンタの情報を OPM データベースに保存する必要があります。プリンタをただちに検出するか、後で検出するようにスケジュールできます。

プリンタ探索には SNMP v1/v2c 又は SNMP v3 のオプションから選択できます。選択したオプションは探索を開始するとセーブされます。その SNMP は、ウィジェットが再度開かれ、セーブ・プリファレンス機能で管理されていない場合に再使用されます。

### SNMP v1/v2c

ナビゲーション表示から探索ウィジェットを開始すると、SNMP v1/v2c がデフォルトで選択され、既定値が表示されます。

図 9-1. SNMP v1/v2c 探索



The screenshot shows a window titled "検出" (Discovery) with a dark header bar containing standard window controls. Below the header is a light blue bar with three buttons: "今すぐ検出" (Discover Now), "検出のスケジュールを設定" (Set Discovery Schedule), and "検出を停止" (Stop Discovery). The main content area is divided into two sections:

- SNMPオプション** (SNMP Options):
  - Radio buttons for "SNMP v1/v2" (selected) and "SNMP v3".
  - A text input field for "SNMPコミュニティ名:" (SNMP Community Name) containing the value "public".
- ディスカバリーオプション** (Discovery Options):
  - Radio buttons for "単一のIP" (Single IP, selected), "IP範囲" (IP Range), "サブネットマスク" (Subnet Mask), and "CSVのインポート" (Import CSV).
  - A text input field for "IPアドレス:" (IP Address) with a dotted placeholder.

## コミュニティ名

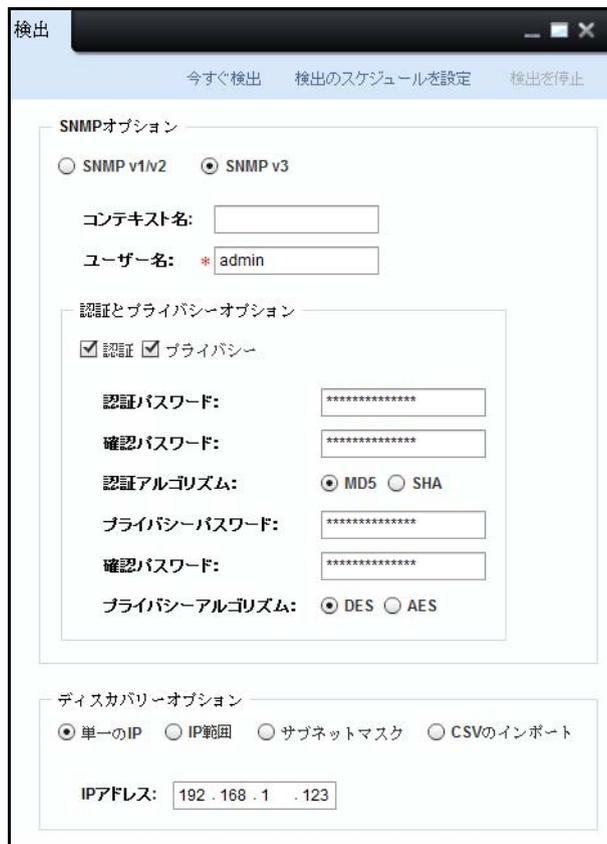
コミュニティ名は 'private' または 'public' などのように、プリンタのグループに割り当てられる名前です。コミュニティ名が一致しないプリンタは検出されません。

 **注意：** 検出ウィンドウの **SNMP Community Name** (SNMP コミュニティ名) フィールドは必須です。必ず入力してください。

## SNMP v3

SNMP v3 でプリンタ探索を行う場合には、探索ウィジェットの SNMP v3 のラジオボタンを選択して下さい。

図 9-2. SNMP v3 探索



検出

今すぐ検出 検出のスケジュールを設定 検出を停止

SNMPオプション

SNMP v1/v2  SNMP v3

コンテキスト名:

ユーザー名: \* admin

認証とプライバシーオプション

認証  プライバシー

認証パスワード:

確認パスワード:

認証アルゴリズム:  MD5  SHA

プライバシーパスワード:

確認パスワード:

プライバシーアルゴリズム:  DES  AES

ディスカバリーオプション

単一のIP  IP範囲  サブネットマスク  CSVのインポート

IPアドレス:

フィールド	説明
コンテキスト名	エージェントの管理情報ベース（MIB）の名前付きサブセットを示します。
ユーザー名	ユーザーの名前を示します。
認証アルゴリズム	ユーザーが送受信するメッセージの認証に使用するプロトコルを示します。
認証パスワード	認証プロトコルがメッセージの認証に使用するパスワードを示します。
プライバシーアルゴリズム	ユーザーが送受信するメッセージの暗号化に使用するプロトコルを示します。
プライバシーパスワード	プライバシープロトコルがメッセージの暗号化および復号化に使用するパスワードを示します。

- 1 [コンテキストネーム] フィールドに、有効なコンテキストネームを入力して下さい。
- 2 [ユーザー名] フィールドに有効なユーザー名を入力して下さい。
  -  **注意：** 探索ウィンドウではユーザー名フィールドは必須で、空白にしないで下さい。
  -  **注意：** 認証とプライバシーはデフォルトで選択されます。認証とプライバシーの両方か、認証のみ又はどちらも無しの選択ができます。その選択に従って、関連のフィールドが表示されます。
- 3 [認証パスワード] フィールドに、有効なパスワードを入力して下さい。入力された文字は、パスワードフィールドでは ' \* ' で表示されます。
- 4 [パスワード確認] フィールドに、認証パスワード確認のために再度パスワードを入力して下さい。
- 5 [認証アルゴリズム] フィールドでは、メッセージダイジェストアルゴリズムの MD5、又はセキュアハッシュアルゴリズムの SHA を選択して下さい。
- 6 [プライバシーパスワード] フィールドでは、有効なパスワードを入力して下さい。入力された文字は、パスワードフィールドでは ' \* ' で表示されます。
- 7 [パスワード確認] フィールドに、プライバシーパスワード確認のために再度プライバシーパスワードを入力して下さい。
- 8 [プライバシーアルゴリズム] フィールドでは、データ暗号化標準の DES、又は高度暗号化標準の AES を選択して下さい。

 **注意：**パスワードは最低 8 文字で、255 文字を超えないで下さい。入力パスワードと確認パスワードが一致しないと「パスワード確認」テキストボックスが赤でハイライト表示されます。その場合、パスワード入力と確認を再度行う必要があります。

## 単一の IP を使用したプリンタの検出

**Single IP** (単一 IP) を使用したプリンタの検出は、既定のオプションです。プリンタの IP アドレスを入力し、プリンタを検出することができます。

単一 IP による検出は、1 台のプリンタを検出するのに一番早い方法で、新しいプリンタを作動させた直後には便利です。

単一 IP アドレスを使用してプリンタを検出するには、次の手順を実行します：

- 1 **Discovery** (検出) ウィンドウの **SNMP Community Name** (SNMP コミュニティ名) フィールドで、検出するプリンタの有効なコミュニティ名を入力します。
- 2 **Single IP** (単一 IP) を選択します。

図 9-3. 単一 IP の検出



The screenshot shows a window titled "検出" (Discovery) with a dark header bar containing window control icons. Below the header is a light blue bar with three buttons: "今すぐ検出" (Detect Now), "検出のスケジュールを設定" (Set Detection Schedule), and "検出を停止" (Stop Detection). The main content area is divided into two sections:

- SNMPオプション** (SNMP Options):
  - Radio buttons for "SNMP v1/v2" (selected) and "SNMP v3".
  - A text field labeled "SNMPコミュニティ名:" (SNMP Community Name) containing the value "public".
- ディスカバリーオプション** (Discovery Options):
  - Radio buttons for "単一のIP" (Single IP, selected), "IP範囲" (IP Range), "サブネットマスク" (Subnet Mask), and "CSVのインポート" (CSV Import).
  - A text field labeled "IPアドレス:" (IP Address) containing the value "192.168.1.123".

- 3 プリンタの有効な IP アドレスを入力します。

- 4 **Discover Now** (今すぐ検出) をクリックし、プリンタをただちに検出するか、**Schedule Discovery** (検出のスケジュール) をクリックし、後でプリンタを検出します。

 **注意：** また、“\*” や “?” などのワイルドカード文字を入力し、プリンタを検出できます。ワイルドカード文字は IP アドレスの最後の 2 つのセグメントで一度しか使用できません。

 **注意：** 探索中でウィジェットが開かれている場合は、探索のステータスは自動更新されます。ステータス確認のために、ウィジェットを閉めたり開けたりする必要はありません。

例 1: IP アドレス 192.168.\*.123 を入力すると、OMPM は次の IP アドレスを持つプリンタを検出します：

192.168.1.123

192.168.2.123

192.168.3.123

.

.

192.168.255.123

例 2: IP アドレス 192.168.1.2?1 を入力すると、OMPM は次の IP アドレスを持つプリンタを検出します：

192.168.1.201

192.168.1.211

.

.

.

192.168.1.251.

 **注意：** 検出操作の推定所要時間が 30 分を超える場合、遅延の可能性があることを警告し、システムはユーザーの確認が行われるまで待機します。

図 9-4. 検出操作の確認



### IP 範囲を使用したプリンタの検出

**IP Range** (IP 範囲) オプションを使用してプリンタを検出することを選択し、2 つの IP アドレスの範囲内にあるプリンタを検出します。

IP 範囲による検出は、ネットワークプリンタを初めて検出する場合に便利です。これは時間のかかる操作のため、混雑していない時間帯に実行することをお勧めします。

**From** (開始) と **To** (終了) フィールドまたはその間の範囲の IP アドレスを持つプリンタが検出されます。

 **注意：** この検出中に使用できないプリンタは、管理されるプリンタの一覧に追加されません。

各種プリンタを検出するには、次の手順を実行します：

- 1 **Discovery** (検出) ウィンドウの **SNMP Community Name** (SNMP コミュニティ名) フィールドで、検出するプリンタの有効なコミュニティ名を入力します。
- 2 **IP range** (IP 範囲) を選択します。

図 9-5. IP 範囲の検索

The screenshot shows a window titled '検出' (Discovery) with a light blue header bar containing three buttons: '今すぐ検出' (Discover Now), '検出のスケジュールを設定' (Set Discovery Schedule), and '検出を停止' (Stop Discovery). The main content area is divided into two sections:

- SNMPオプション** (SNMP Options):
  - Radio buttons for 'SNMP v1/v2' (selected) and 'SNMP v3'.
  - A text field for 'SNMPコミュニティ名:' (SNMP Community Name) containing the value 'public'.
- ディスカバリーオプション** (Discovery Options):
  - Radio buttons for '単一のIP' (Single IP), 'IP範囲' (IP Range) (selected), 'サブネットマスク' (Subnet Mask), and 'CSVのインポート' (CSV Import).
  - Two text fields for IP ranges:
    - '開始日:' (Start) with the value '10 . 255 . 109 . 10'.
    - '終了日:' (End) with the value '10 . 255 . 109 . 235'.

- 3 **From** (開始) IP アドレスを入力します。
- 4 **To** (終了) IP アドレスを入力します。
- 5 **Discover Now** (今すぐ検出) をクリックし、プリンタをただちに検出するか、Schedule Discovery (検出のスケジュール) をクリックし、後でプリンタを検出します。

例：IP アドレス 10.255.109.10 を **From** (開始) フィールドに、IP アドレス 10.255.109.50 を **To** (終了) フィールドに入力した場合、システムは、その範囲内の各 IP アドレスを検索し、プリンタが使用可能かどうかを確認し、プリンタを検索結果に追加します。これらのフィールドまたはその間の範囲の IP アドレスを持つプリンタが検出されます。

## サブネットマスクを使用してプリンタを検出

**Subnet Mask** (サブネットマスク) を使用してプリンタを検出オプションを選択すると、サブネットマスクを使用してプリンタを検出できます。

サブネットマスクによる検出は、プリンタがサブネット上にまばらに分布している場合に使用されます。

サブネットマスクを使用してプリンタを検出するには、次の手順を実行します：

- 1 **Discovery** (検出) ウィンドウの **SNMP Community Name** (SNMP コミュニティ名) フィールドで、検出するプリンタの有効なコミュニティ名を入力します。
- 2 **Subnet Mask** (サブネットマスク) を選択します。

図 9-6. サブネットマスクの検出



The screenshot shows a window titled "検出" (Discovery) with a light blue header bar containing three buttons: "今すぐ検出" (Discover Now), "検出のスケジュールを設定" (Set Discovery Schedule), and "検出を停止" (Stop Discovery). The main content area is divided into two sections:

- SNMPオプション** (SNMP Options):
  - Radio buttons for "SNMP v1/v2" (selected) and "SNMP v3".
  - A text input field for "SNMPコミュニティ名:" (SNMP Community Name) containing the value "public".
- ディスカバリーオプション** (Discovery Options):
  - Radio buttons for "単一のIP" (Single IP), "IP範囲" (IP Range), "サブネットマスク" (Subnet Mask) (selected), and "CSVのインポート" (Import CSV).
  - Text input fields for "IPアドレス:" (IP Address) containing "192 . 168 . 0 . 1" and "サブネットマスク" (Subnet Mask) containing "255 . 255 . 255 . 0".

- 3 **IP Address** (IP アドレス) を入力します。
- 4 **Subnet Mask** (サブネットマスク) を入力します。

- 5 **Discover Now** (今すぐ検出) をクリックし、プリンタをただちに検出するか、Schedule Discovery (検出のスケジュール) をクリックし、後でプリンタを検出します。

例: IP アドレス 192.168.0.1、サブネットマスク 255.255.255.0 を入力すると、次の範囲のプリンタが検出されます:

192.168.0.1

192.168.0.2

.

192.168.0.254

## CSV ファイルから IP アドレスをインポートしてプリンタを検出

Discovering printers by importing IP address from a CSV file (CSV ファイルから IP アドレスをインポートしてプリンタを検出) オプションを選択すると、コンマ区切り値 (CSV) ファイルに一覧表示されるプリンタを検出できます。CSV ファイル内のカンマで区切られている IP アドレスの一覧を指定できます。CSV ファイルを作成するには、IP アドレスの一覧を Microsoft Excel の異なる列に指定し、.csv ファイル形式で保存します。システムは CSV ファイルを読み取って、プリンタを検出します。

CSV ファイルによる検出を行い、IP アドレスをインポートすることは、複数のサブネット上に分布している複数のプリンタおよび、IP アドレスが管理者に既に公開されているプリンタを検出するのに一番早い方法です。これは、一連のプリンタを作動させた直後には便利です。

**CSV import** (CSV インポート) を使用してプリンタを検出するには、次の手順を実行します:

- 1 **Discovery** (検出) ウィンドウの **SNMP Community Name** (SNMP コミュニティ名) フィールドで、検出するプリンタの有効なコミュニティ名を入力します。
- 2 **CSV import** (CSV インポート) オプションを選択します。

図 9-7. CSV インポートによる検出

The screenshot shows a window titled '検出' (Discovery) with a dark header bar containing window control icons. Below the header, there are three buttons: '今すぐ検出' (Discover Now), '検出のスケジュールを設定' (Schedule Discovery), and '検出を停止' (Stop Discovery). The main content area is divided into two sections:

- SNMPオプション** (SNMP Options):
  - Radio buttons for 'SNMP v1/v2' (selected) and 'SNMP v3'.
  - A text field for 'SNMPコミュニティ名:' (SNMP Community Name) containing the value 'public'.
- ディスカバリーオプション** (Discovery Options):
  - Radio buttons for '単一のIP' (Single IP), 'IP範囲' (IP Range), 'サブネットマスク' (Subnet Mask), and 'CSVのインポート' (CSV Import) (selected).
  - A text field for 'CSVファイル:' (CSV File) and an 'アップロード...' (Upload...) button.

- 3 CSV ファイルをアップロードするには、**Upload...** (アップロード...) をクリックします。
- 4 **Discover Now** (今すぐ検出) をクリックし、プリンタをただちに検出するか、Schedule Discovery (検出のスケジュール) をクリックし、後でプリンタを検出します。

## 検出のスケジュール

指定した検出プロファイルに対して、検出セッションをスケジュールし、開始できます。  
検出のスケジュールにより、検出されたプリンタを OMPM に自動的に追加できます。  
複数の検出をスケジュールできます。

### 毎日検出のスケジュール

プリンタを毎日検出するよう OMPM をスケジュールするには、次の手順を実行します：

- 1 **Discovery** (検出) ウィンドウで、実行する検出を選択し、**Schedule Discovery** (検出のスケジュール) をクリックします。

図 9-8. 毎日検出のスケジュール



The screenshot shows a window titled "検出" (Discovery) with the following fields and controls:

- 名前:** \* Daily Discovery
- タスクのスケジュール:** 毎日 (dropdown menu)
- スケジュール指定のオプション:**
  - 時刻:** 12 (hour) 00 (minute) 分
- スケジュールについての注意:** (empty text box)
- 注意: 実行状態にあるタスクは削除できません。
- Buttons: < 戻る, OK

- 2 **Name** (名前) フィールドに検出名を入力します。

- 3 **Schedule Task** (タスクのスケジュール) ドロップダウンボックスで、**Daily** (毎日) を選択します。
- 4 **Schedule Options** (スケジュールオプション) セクションで、**At** (から) フィールドで時刻を時間と (hrs) 分数 (mins) で選択します。
- 5 **Schedule Notes** (注記スケジュール) フィールドで、スケジュールまたは検出の注記を入力します。
- 6 **OK** をクリックします。

 **注意:** 実行状態のタスクは削除できません。

## 毎週検出のスケジュール

週単位で検出のスケジュールを行うには、次の手順を実行します：

図 9-9. 毎週検出のスケジュール



The screenshot shows a dialog box titled "検出" (Discovery). It contains the following fields and options:

- 名前:** \* Weekly Discovery
- タスクのスケジュール:** 毎週 (dropdown menu)
- スケジュール指定のオプション** (Schedule specification options):
  - 次の日にマンスリーディスクカバレッジをスケジュールする: (checkboxes for) 日曜日, 月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 土曜日. All are checked.
- 時刻:** 12 時間 00 分 (spinners for hours and minutes)
- スケジュールについての注意:** (empty text field)
- Bottom note: 注意: 実行状態にあるタスクは削除できません。
- Buttons: < 戻る (Back), OK

- 1 **Name** (名前) フィールドに検出名を入力します。
- 2 **Schedule Task** (タスクのスケジュール) ドロップダウンボックスで、**Weekly** (毎週) を選択します。
- 3 **Schedule Options** (スケジュールオプション) セクションで **Schedule Discovery weekly on day(s)** (次の日にウィークリー検出をスケジュール) グループチェックボックスから一週間の必要な曜日のチェックボックスを選択します。
- 4 **Schedule Options** (スケジュールオプション) セクションで、**At** (から) フィールドで時刻を時間と (hrs) 分数 (**mins**) で選択します。
- 5 **Schedule Notes** (注記スケジュール) フィールドで、スケジュールまたは検出の注記を入力します。
- 6 **OK** をクリックします。

 **注意：** 実行状態のタスクは削除できません。

## 1 回検出のスケジュール

検出のスケジュールを一度だけ行うには、次の手順を実行します：

図 9-10. 1 回検出のスケジュール

検出

名前: \* Discover on 104 netwo

タスクのスケジュール: 1回

検出のスケジュール(時間): 01 時間 00 分

タスクのスケジュール (1回)

検出のスケジュール(日): 04/30/2012

備考: Any newly added printers on 104 network?

注意:実行状態にあるタスクは削除できません。

<戻る OK

- 1 Name (名前) フィールドに検出名を入力します。
- 2 Schedule Task (タスクのスケジュール) ドロップダウンボックスで、Once (1 回) を選択します。
- 3 Schedule Options (スケジュールオプション) セクションで、Schedule Discovery on ( 次の日に検出スケジュール) フィールドから検出をスケジュールしたい日を選択します。
- 4 Schedule Options (スケジュールオプション) セクションで、At (から) フィールドで時刻を時間と (hrs) 分数 (mins) で選択します。
- 5 Schedule Notes (注記スケジュール) フィールドで、スケジュールまたは検出の注記を入力します。
- 6 OK をクリックします。

 注意： 実行状態のタスクは削除できません。

## 検出の中止

Stop discovery（検出の中止）は、現在実行中の検出を中止します。**Stop Discovery**（検出の中止）機能の利点は、長時間実行中の検出を中止できることです。

検出を中止するには、**Discovery**（検索）ウィジェットを開き、青色のタブで **Stop Discovery**（検出の中止）をクリックし、**OK** をクリックします。

図 9-11. 検出の中止



## テンプレート

OpenManage Printer Manager (OPPM) には、すべてのプリンタの型式に対応するテンプレートが備わっています。テンプレートは、メソッドおよび特定のプリンタの型式へのアクセスの種類に対して OPPM をマップする事前設定形式の拡張マークアップ言語 (XML) です。テンプレートには、プリンタの検出、ファームウェアのアップグレード、接続設定に関する情報も保存されます。

ネットワーク内でプリンタが検出されると、プリンタの型式の対応するテンプレートがプリンタに関連付けられます。OPPM は RFC1213 の SysObjectID SNMP 値 (.1.3.6.1.2.1.1.2) を使用し、テンプレートをプリンタに関連付けます。OPPM はプリンタの SysObjectID とテンプレートの SysObjectID を比較し、プリンタをテンプレートに関連付けます。

**Templates** (テンプレート) 機能を使用して、新しいテンプレートを登録するか、プリンタの型式の既存のテンプレートを更新できます。

## テンプレートの種類

- ・ 共有テンプレート：共有テンプレートは、複数のプリンタの型式で共有されます。
- ・ 既定のテンプレート：既定のテンプレートは、検出後に他のテンプレートに関連付けられていないプリンタの型式に割り当てられます。
- ・ 特定のテンプレート：特定のテンプレートは、特定のプリンタの型式に 関連付けられます。

## コンポーネントのテンプレート

コンポーネントのテンプレート	説明
テンプレートのプロパティ	すべてのテンプレート別のプロパティを定義します。
共通識別子	テンプレート間のプロパティのマッピングを 定義します。
型式情報	プリンタの型式に関連するプロパティを定義します。
消耗品残量	プリンタの消耗品残量を定義します。
プロパティオーバーライド	プリンタの型式から設定または取得するプロパティを定義します。
変換	一方のプロパティ値から別のプロパティ値へ変換するための変換を定義します。
派生	派生したプロパティ名と関連付けられている式を 定義します。これらの式は派生したプロパティの値を計算します。
言語サポート	プリンタの現在の言語を識別します。
資格情報	資格情報パラメータを定義します。
ファームウェアの更新	ファームウェアコマンドとパラメータを定義します。

### テンプレートのプロパティ

特定のテンプレートに固有のすべてのプロパティを定義します。テンプレートの **property** (プロパティ) 要素には、プロパティが関連付けられるプロパティ名とテンプレート名が含まれます。

例 :<template-properties>

```
<property name="TemplateId" tname="DELL1320C">DELL1320C</property>
```

```
<property name="SysObjectID" tname="DELL1320C">1. 3. 6. 1. 4. 1. 674. 10898. 10. 51. 1094472982</property>
```

```
<property name="Model" tname="DELL1320C">1320c</property>
<property name="Vendor" tname="DELL1320C">Dell Inc.</property>
</template-properties>
```

## 共通識別子

テンプレート間のプロパティの関係とマッピングを定義します。

**identifier** (識別子) 要素は、テンプレートプロパティを定義し、**identifier-type** (識別子-種類)。要素は、一方のテンプレートから別のテンプレートへのマッピングを定義します。

例:<common-identifiers>

```
<identifier name="DELL1320C">
<identifier-type>DEFAULT</identifier-type>
<identifier-type>DELLSHARED</identifier-type>
<identifier-type>DELLCOMMON1</identifier-type>
<identifier-type>DELL1320C</identifier-type>
<identifier-type>DELLCOMMON6</identifier-type>
</identifier>
</common-identifiers>
```

## 型式情報

プリンタの型式に関連付けられている異なるパラメータについて説明します。**info** (情報) 要素は、テンプレートプロパティを定義します。プロパティが関連付けられている型式情報とテンプレート名を指定する値が含まれます。

例:<model-info>

```
<info name="DeviceDescription" tname="DELL1320C"><![CDATA[Dell Laser Printer
1320c]]></info>
<info name="PrinterSpeedMono" tname="DELL1320C"><![CDATA[16]]></info>
<info name="PrinterSpeedColor" tname="DELL1320C"><![CDATA[12]]></info>
<info name="PrinterType" tname="DELL1320C"><![CDATA[N]]></info>
<info name="PrinterColorType" tname="DELL1320C"><![CDATA[C]]></info>
```

```

<info name="DeviceImage" tname=
"DELL1320C"><![CDATA[ews/images/D1320_TRAY0.gif]]></info>
<info name="DrumMaxTotalPages" tname="DELL1320C"><![CDATA[35000]]></info>
<info name="FuserMaxTotalPages" tname="DELL1320C"><![CDATA[100000]]></info>
<info name="RollerMaxTotalPages" tname="DELL1320C"><![CDATA[35000]]></info>
<info name="ProcesserSpeed" tname="DELL1320C"><![CDATA[333]]></info>
</model-info>

```

## プロパティオーバーライド

プリンタの型式から設定または取得するプロパティについて説明します。プロパティオーバーライドの要素は、**static-reads** (静的 - 読み取り)、**web-reads** (Web- 読み取り)、**snmp-reads** (SNMP- 読み取り)、**web-write** (Web- 書き込み)、**snmp-writes** (SNMP- 書き込み) です。

- ・ **Static-reads** (静的 - 読み取り) は、静的な型式に関連するプロパティを定義します。**static-reads** (静的 - 読み取り) の **sr-info** (sr- 情報) のコンテンツ要素は、静的なプロパティを定義します。**sr-info** (sr- 情報) は、プロパティが関連付けられるプロパティ名とテンプレートを定義します。また、それぞれの特定のプロパティに対するストレージの種類と値を定義する、**type** (種類) と **value** (値) も含まれます。

例 : <static-reads>

```

<sr-info name="Enabled-SNMP" tname="DELL1320C">
<type>Boolean</type>
<value>>true</value>
</sr-info>
<sr-info name="MemoryCapacity" tname="DELL1320C">
<type>Integer</type>
<value>64</value>
</sr-info>
<sr-info name="SMTPPrimaryPassword" tname="DELL1320C">
<type>String</type>
<value>*****</value>

```

```
</sr-info>
```

```
</static-reads>
```

- **Web-reads** (Web-読み取り) は、Web を介して取得可能なプロパティを定義します。これは、情報を取得するためのプリンタ EWS と通信します。**web-reads** (Web-読み取り) の **wr-info** (wr-情報) のコンテンツ要素は、Web-読み取りのプロパティを定義します。**wr-info** (wr-情報) には、**format** (フォーマット)、URL、式要素が含まれます。

```
例 :<wr-info name="NetworkFirmwareVersion" tname="DELL1320C" rewording="false">
```

```
<format>
```

```
<type>String</type>
```

```
</format>
```

```
<url><![CDATA[ews/status/infomation.htm]]></url>
```

```
<expression><![CDATA[tr -> (td -> b -> font ->text:"Network Firmware Version")  
(td -> font -> text:"(.*)" )]]></expression>
```

```
</wr-info>
```

```
<wr-info name="SMTPPrimaryPort" tname="DELL1320C" rewording="false">
```

```
<format>
```

```
<type>Integer</type>
```

```
</format>
```

```
<url><![CDATA[ews/setting/setemalert.htm]]></url>
```

```
<expression><![CDATA[input<name="103013" value="(.*)"> ]]]></expression>
```

```
</wr-info>
```

```
<wr-info name="SMTPPrimaryUserName" tname="DELL1320C" rewording="false">
```

```
<format>
```

```
<type>String</type>
```

```
</format>
```

```
<url><![CDATA[ews/setting/setemalert.htm]]></url>
```

```
<expression><![CDATA[input<name="103015" value="(.*)"> ]]]></expression>
```

```

</wr-info>
<wr-info name="IPAddress" tname="DELL1320C" rewording="false">
<format>
<type>String</type>
</format>
<url><![CDATA[ews/setting/rptsvr.htm]]></url>
<expression><![CDATA[tr -> (td -> b -> font ->text:"IP Address$") (td -> font ->
text:"(.*)" )]]></expression>
</wr-info>

```

- ・ **Snmp-reads** (SNMP-読み取り) は、SNMP を介して取得可能なプロパティを定義します。これは、情報を取得するための特定のプロパティのオブジェクト ID (OID) を使用してプリンタと通信します。**snmp-reads** (SNMP-読み取り) の **snmp-info** (SNMP-情報) のコンテンツ要素は、SNMP 読み取りのプロパティを定義します。**snmp-info** (SNMP-情報) には、フォーマット要素が含まれます。

例 :<snmp-reads>

```

<snmpr-info name="SerialNumber" tname="DELL1320C" oid=
"1.3.6.1.2.1.43.5.1.1.17.1">
<format>
<type>String</type>
</format>
</snmpr-info>
<snmpr-info name="CurrentPageCount" tname="DELL1320C" oid=
"1.3.6.1.2.1.43.10.2.1.4.1.1">
<format>
<type>Integer</type>
</format>
</snmpr-info>
<snmpr-info name="FirmwareVersion" tname="DELL1320C" oid=
"1.3.6.1.2.1.43.15.1.1.6.1.2">

```

```
<format>
<type>String</type>
</format>
</snmpr-info>
</snmp-reads>
```

- **Web-writes** (Web-書き込み) は、Web を介して設定可能なプロパティを定義します。**Web-writes** (Web-書き込み) には、複数のタイプセット要素が含まれます。**typeset** (タイプセット) のコンテンツ要素は、要素をグループ化するためのセクションを定義します。**typeset** (タイプセット) の要素には、**format** (フォーマット) 要素、**action** (アクション) 要素、**paramname** (パラメータ名) 要素を含む **ww-info** (**ww-**情報) が含まれます。

```
例 :<web-writes>
<typeset name="1320CBASICCOMSET">
<ww-info name="Name" tname="DELL1320C" requisite="false" ordinal="0">
<format>
<type>String</type>
</format>
<action><![CDATA[ews/setting/setsys.htm]]></action>
<paramname>060002</paramname>
</ww-info>
<ww-info name="Contact" tname="DELL1320C" requisite="false" ordinal="1">
<format>
<type>String</type>
</format>
<action><![CDATA[ews/setting/setsys.htm]]></action>
<paramname>060004</paramname>
</ww-info>
<ww-info name="Location" tname="DELL1320C" requisite="false" ordinal="2">
```

```

<format>
<type>String</type>
</format>
<action><![CDATA[ews/setting/setsys.htm]]></action>
<paramname>060003</paramname>
</ww-info>
<ww-info name="AssetTagNumber" tname="DELL1320C" requisite="false" ordinal="3">
<format>
<type>String</type>
</format>
<action><![CDATA[ews/setting/setsys.htm]]></action>
<paramname>060007</paramname>
</ww-info>
</typeset>
</web-writes>

```

- ・ **Snmp-writes** (SNMP-書き込み) には、SNMP を介して設定可能なプロパティを定義する **sw-info** (sw-情報) のコンテンツ要素が含まれます。**sw-info** (sw-情報) には、**format** (フォーマット) 要素が含まれます。

例 : <snmp-writes>

```

<sw-info name="IPAddress" tname="DELLM20" oid="1.3.6.1.4.1.236.11.5.1.12.2.5.0"
valueType="SNMP_IPAddress"/>
<sw-info name="IPAddressMode" tname="DELLM20" oid=
"1.3.6.1.4.1.236.11.5.1.12.2.1.0" valueType="SNMP_Inetger">
<format>
<type tname="DELLM20" property="DellConfigBy">Translation</type>
</format>
</sw-info>

```

```

<sw-info name="AssetTagNumber" tname="DELLSHARED" oid=
"1.3.6.1.4.1.11.2.3.9.4.2.1.1.3.12.0,4" valueType="SNMP_Inetger">
<format>
<type dataconversion="AddDELLControlCharacters">Translation</type>
</format>
</sw-info>

<sw-info name="PrinterHostname" tname="DELL8100" oid="1.3.6.1.2.1.1.5.0"
valueType="SNMP_String"/>
</snmp-writes>

```

## 変換

一方のフォーマットから別のフォーマットへの変換に必要なすべてのプロパティについて説明します。変換はプリンタから情報を取得、またはプリンタに情報を保存するために使用されます。**dc-info** (dc-情報) の要素はデータ変換を定義し、**t-info** (t-情報) の要素は一方のフォーマットから別のフォーマットへの変換を定義し、**t-valid values** (t-有効値) の要素は現在の要素における特定のプロパティに対する有効な値を定義します。

例:<translations>

```

<t-info tname="DELL1320C" property="BannerSheetPosition" name="0" value="OFF"/>
<t-info tname="DELL1320C" property="BannerSheetPosition" name="1" value="BTM"/>
<t-info tname="DELL1320C" property="BannerSheetPosition" name="2" value="TOP"/>
<t-info tname="DELL1320C" property="BannerSheetPosition" name="OFF" value="0"/>
<t-info tname="DELL1320C" property="BannerSheetPosition" name="BTM" value="1"/>
<t-info tname="DELL1320C" property="BannerSheetPosition" name="TOP" value="2"/>
</translations>

```

## 派生

異なるプロパティを使用して、派生について説明します。**construct** (コンストラクト) 要素は、式のプロパティの他の値に基づいて、派生の値を定義します。

例:<derivations>

```

<construct name="LevelC">

```

```

<![CDATA[ (CurrentLevelAbsoluteCyan / MaxLevelCyan ) * 100 ]]>
</construct>
<construct name="LevelM">
<![CDATA[ (CurrentLevelAbsoluteMagenta / MaxLevelMagenta) * 100 ]]>
</construct>
<construct name="LevelY">
<![CDATA[ (CurrentLevelAbsoluteYellow / MaxLevelYellow) * 100 ]]>
</construct>
<construct name="LevelK">
<![CDATA[ (CurrentLevelAbsoluteBlack / MaxLevelBlack) * 100 ]]>
</construct>
</derivation>

```

## 言語サポート

特定のプリンタの型式の言語プロパティ構成について説明します。**wr-info** (wr-情報) および **ww-info** (ww-情報) の要素は、Web-読み取りおよび Web-書き込みのプロパティを定義します。つまり、これは、プリンタの現在の EWS 言語を取得し、変更する方法を定義します。

例 : <language-support>

```

<wr-info name="PanelLanguage" tname="DELL1320C" rewording="false">
<format>
<type tname="DELL1320C" property="PanelLanguage">Translation</type>
</format>
<url><![CDATA[ews/printer/prtsystem.htm]]></url>
<expression><![CDATA[R:select.name=301010.*value="([0-9]+)".selected]]></expression>
</wr-info>
<ww-info name="PanelLanguage" tname="DELL1320C" requisite="false" ordinal="0">
<format>
<type tname="DELL1320C" property="PanelLanguage">Translation</type>

```

```
</format>
<action><![CDATA[ews/printer/prtsystem.htm]]></action>
<paramname>301010</paramname>
</ww-info>
</language-support>
```

## 資格情報

これらの要素は、検討中のプリンタの型式の既定の資格情報を定義します。資格情報には SNMP および EWS パラメータが含まれます。

例 :<credentials>

```
<SNMPReadCommunity>public</SNMPReadCommunity>
<SNMPWriteCommunity>public</SNMPWriteCommunity>
<SNMPVersion>Version</SNMPVersion>
<EWSLogin>admin</EWSLogin>
<EWSPassword>{blank}</EWSPassword>
</credentials>
```

## ファームウェアの更新

これらの要素には、プリンタの型式のファームウェア更新に必要な、ファームウェアのコマンド情報が含まれます。**command-name** (コマンド-名前) の要素は、ファームウェアツールの情報を定義します。**arguments** (引数) の要素は、ツールの実行に必要な引数の情報を定義します。

例 :<firmware-update>

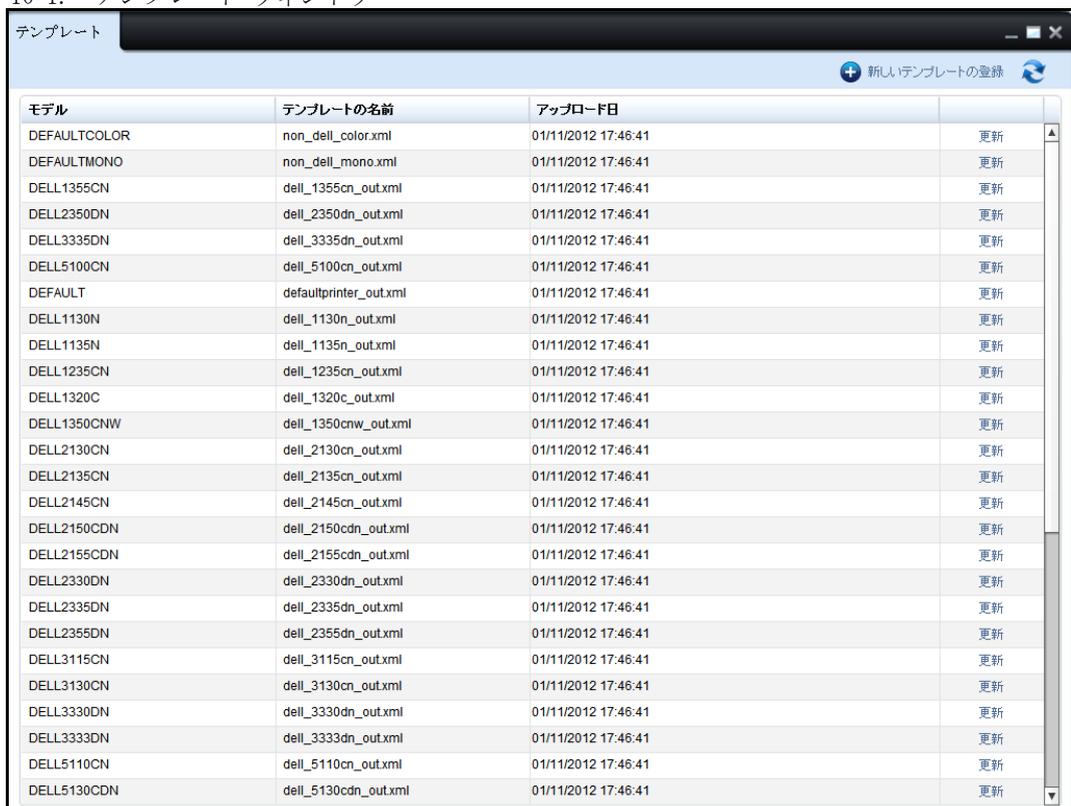
```
<command-name>lpr.exe</command-name>
<arguments><![CDATA[-S <ips> -P <ip> <filename>]]></arguments>
</firmware-update>
```

## 新しいテンプレートの登録

新しいテンプレートを登録するには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Manage**（管理）→**Templates**（テンプレート）をクリックします。

図 10-1. テンプレート ウィンドウ



モデル	テンプレートの名前	アップロード日	
DEFAULTCOLOR	non_dell_color.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DEFAULTMONO	non_dell_mono.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL1355CN	dell_1355cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2350DN	dell_2350dn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3335DN	dell_3335dn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5100CN	dell_5100cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DEFAULT	defaultprinter_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL1130N	dell_1130n_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL1135N	dell_1135n_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL1235CN	dell_1235cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL1320C	dell_1320c_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL1350CNW	dell_1350cnw_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2130CN	dell_2130cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2135CN	dell_2135cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2145CN	dell_2145cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2150CDN	dell_2150cdn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2155CDN	dell_2155cdn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2330DN	dell_2330dn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2335DN	dell_2335dn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2355DN	dell_2355dn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3115CN	dell_3115cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3130CN	dell_3130cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3330DN	dell_3330dn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3333DN	dell_3333dn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5110CN	dell_5110cn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5130CDN	dell_5130cdn_out.xml	01/11/2012 17:46:41	更新

### フィールド

### 説明

モデル

プリンタの型番を示します。

テンプレートの名前

テンプレートファイルの名前を示します。

アップロード日

テンプレートファイルがアップロードされた日付を示します。

- 表示されるウィンドウで、**Register New Template**（新しいテンプレートの登録）をクリックします。

図 10-2. テンプレートのアップロード ウィンドウ



- 表示されたウィンドウの [ブラウズ] をクリックし... そこからテンプレートファイルを選択して下さい。

 注意：テンプレートは XML 形式のみに対応しています。

- [テンプレートのアップロード] をクリックして下さい。

## 既存のテンプレートの更新

既存のテンプレートを更新するには、次の手順を実行します：

- 1 **Templates** (テンプレート) ウィンドウで、必要なプリンタの型式に対応する **Update** (更新) をクリックします。

図 10-3. テンプレートの更新ウィンドウ



- 2 表示されたウィンドウの [ブラウズ] をクリックし... そこからテンプレートファイルを選択して下さい。
- 3 [テンプレートのアップロード] をクリックして下さい。

## 接続

OpenManage Printer Manager (OPPM) は、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) およびハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) を使用してプリンタと通信します。これらのプロトコルは、パラメータをプリンタに接続するよう 要求します。

OPPM を初めてインストールするときに、OPPM のテンプレートはデフォルト値で事前に構成され、ネットワーク上で検出されたプリンタは、デフォルト値を持つ対応するテンプレートに関連付けられます。

OPPM をインストールする前に SNMP と EWS の接続設定がプリンタ EWS で変更されている場合、検出プロセスでプリンタは検出されません。EWS の接続設定のみ変更されている場合、プリンタは検出されますが、一部のプリンタのプロパティは検出されません。さらに、プリンタ詳細設定の操作が停止されます。このため、SNMP および EWS の設定を同期することを推奨します。



**注意：**OPPM をインストールする前に SNMP および EWS の設定を変更する場合、適切なコミュニティ名を検索ウィジェットに入力する必要があります。検出後、OPPM の接続設定を変更し、プリンタの EWS 接続に一致させる必要があります。



フィールド	説明
場所	ネットワーク内にあるプリンタの場所を示します。

- 2 表示されるウィンドウで、更新するプリンタを 1 つ以上選択し、**Next>**（次へ）をクリックします。

図 11-2. 接続設定ウィンドウ

接続

SNMP v1/v2の設定

SNMP読み取りコミュニティ:

SNMP書き込みコミュニティ:

SNMP v3の設定

コンテキスト名:

ユーザー名: \* admin

認証とプライバシーオプション

認証  プライバシー

認証パスワード:

確認パスワード:

認証アルゴリズム:  MD5  SHA

プライバシーパスワード:

確認パスワード:

プライバシーアルゴリズム:  DES  AES

テスト接続

EWSの設定

ログインID:

ログインパスワード:

<戻る 設定の更新

フィールド	説明
SNMP 読み取りコミュニティ	SNMP 読み取りのためにプリンタで使用するコミュニティ名を示します。
SNMP 書き込みコミュニティ	SNMP 書き込みのためにプリンタで使用するコミュニティ名を示します。
コンテキスト名	エージェントの管理情報ベース (MIB) の名前付きサブセットを示します。
ユーザー名	ユーザーの名前を示します。
認証アルゴリズム	ユーザーが送受信するメッセージの認証に使用するプロトコルを示します。
認証パスワード	認証プロトコルがメッセージの認証に使用するパスワードを示します。
プライバシーアルゴリズム	ユーザーが送受信するメッセージの暗号化に使用するプロトコルを示します。
プライバシーパスワード	プライバシープロトコルがメッセージの暗号化および復号化に使用するパスワードを示します。
ログイン ID	プリンタで実行中の Web サーバーにアクセスするために使用するログイン ID を示します。
ログインパスワード	プリンタで実行中の Web サーバーにアクセスするために使用するパスワードを示します。

- 表示されるウィンドウで、適切なフィールドに情報を入力し、**Update Settings** (設定の更新) をクリックします。

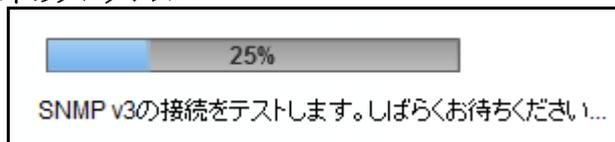
## SNMP v3 の接続をテストする。

SNMP v3 の接続ステータスをテストするため、[接続ウィンドウ] に [接続テスト] ボタンが表示されています。

SNMP v3 の接続をテストするには、次のステップを行って下さい。

- 1 [接続ウィジェット] からプリンタを選択し、[次へ] をクリック。  
[接続ウィンドウ] が現れます。  
 **注意：** SNMP v3 が未設定だと、[接続テスト] ボタンは機能しません。
- 2 適切なフィールドに情報を入力し、[接続テスト] をクリックして下さい。  
[接続テスト] が開始され、プログレスバーが表示されます。

図 11-3. SNMP v3 テストのプログレスバー



 **注意：** v3 接続のテスト進行中は、[接続ウィジェット] にアクセスできません。

[接続テスト] が成功すると、ファイルダイアログボックスが現れ、CSV ファイルをローカルに保存するよう促します。

[接続テスト] が失敗すると、エラーメッセージが現れます。

図 11-4. SNMP v3 テストのエラーメッセージ



終了すると各 IP ごとの失敗又は成功のレポートが CSV ファイルに保存されます。CSV レポートにはモデル、IP アドレス、接続ステータス詳細が含まれます。この詳細は「失敗」のステータスに基づいてソートされています。

## アップグレード

OpenManage Printer Manager (OMPM) の **Upgrade** (アップグレード) 機能を使用すると、選択したプリンタのファームウェアを更新できます。ファームウェアツールは、ファームウェアパッチを使用して、1 台のプリンタまたはプリンタグループのファームウェアをアップグレードする際に必要です。ファームウェアのアップグレードをスケジュールする特定の時間を定義できます。

ファームウェアのアップグレード用ファームウェアツールは、メーカーとプリンタの型式により異なります。各ファームウェアツールは、プリンタの型式番号に関連付けられています。プリンタのファームウェアをアップグレードするために、OMPM はファームウェアパッチとともにファームウェアツールを使用します。

## 既存のファームウェアツールの関連付け

ファームウェアツールは、プリンタのファームウェアをアップグレードするために使用します。既存のファームウェアツールをプリンタの型式に関連付けたり、既存のファームウェアツールの関連付けを変更したりできます。

既存のファームウェアツールを関連付けする前に、すべてのファームウェアツールを **tools** (ツール) フォルダにコピーする必要があります。デフォルトでは、OMPM とともに *curl* ツールが提供されています。また、OMPM は、ほとんどの Windows オペレーティング システム (OS) にインストールされている *lpr* ツールも使用します。このツールは、後で **tools** (ツール) フォルダに追加することもできます。



**注意：** 1 つのプリンタの型式に関連付けできるファームウェアツールは 1 つだけです。

既存のファームウェアツールを関連付けするには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Manage** (管理) → **Upgrade** (アップグレード) をクリックします。



図 12-2. ファームウェアツールの更新ウィンドウ

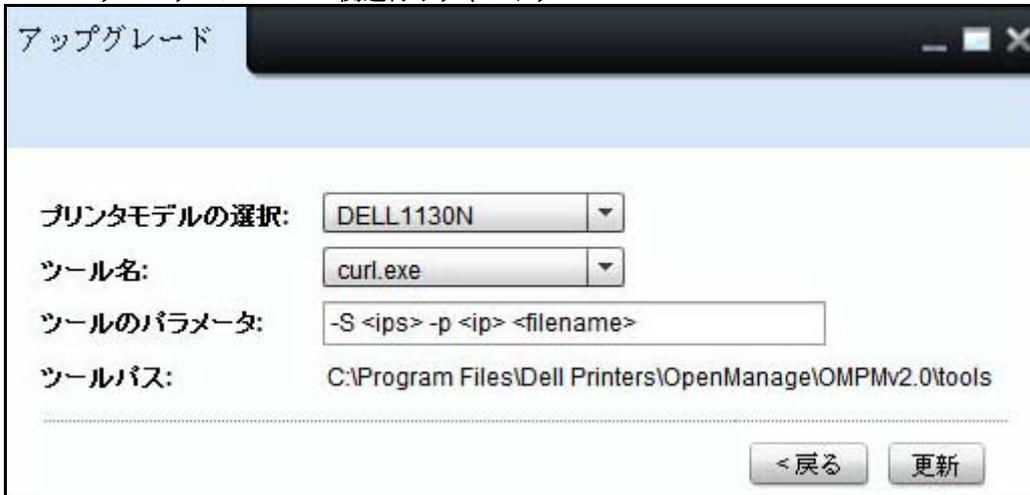
モデル	ツールパス	日付を関連付け	
DELL7330N	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL7130CDN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5535DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5530DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5350DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5330DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5310N	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5230DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5210N	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5130CDN	lpr.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL5110CN	lpr.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3335DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3333DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3330DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3130CN	lpr.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL3115CN	lpr.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2355DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2350DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2335DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2330DN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2155CDN	lpr.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2150CDN	lpr.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2145CN	curl.exe	01/11/2012 17:46:41	更新
DELL2135CN	lpr.exe	01/11/2012 17:46:41	更新

フィールド	説明
モデル	プリンタの型番を示します。
ツールパス	ファームウェアのツールパスを示します。
関連付けした日付	ファームウェアが関連付けされた日付を示します。

- 表示されるウィンドウで、**Add Firmware Tool** (ファームウェアツールの追加) をクリックします。

-  **注意：** 既存のファームウェアツールの関連付けを変更するには、**Firmware Tool Update** (ファームウェアツールの更新) ウィンドウで、特定のプリンタに対応する **Update** (更新) をクリックします。

図 12-3. ファームウェアツールの関連付けウィンドウ



- 4 **Select Printer Model** (プリンタの型式を選択) ドロップダウンボックスから、プリンタの型番を選択します。
- 5 **Tool Name** (ツール名) ドロップダウンボックスから、関連付け/更新するファームウェアツールを選択します。

 **注意：** tools (ツール) フォルダにコピーされているすべてのファームウェアツールが、**Tool Name** (ツール名) の一覧に表示されます。tools (ツール) フォルダのディレクトリは、**<OMPM Install directory>%Dell Printers%OpenManage%OMPMv2.0%tools** です。ディレクトリは、ソフトウェアがインストールされている場所に依りて異なります。
- 6 **Parameters For Tool** (ツールのパラメータ) フィールドで、プリンタの IP アドレスと型番、更新ファイルの url を任意の順序で入力します。

 **注意：** lpr の場合、パラメーター行は以下のとおりです **:-S <ips> -P <ip> <filename>**。

 **注意：** curl.exe の場合、パラメーター行は以下のとおりです **:-s -f --form upload=@<filename> --form press=OK <url>**。
- 7 **Update** (更新) をクリックします。

## ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレードは、Dell が提供するテンプレートに関連付けられているプリンタでのみサポートされています。

ファームウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します：

- 1 **Upgrade** (アップグレード) ウィンドウで、ファームウェアのアップグレードが必要なプリンタを選択します。
- 2 **Next** (次へ) をクリックします。

図 12-4. パッチのアップロード ウィンドウ

アップグレード

ファームウェアツール

名前: \* Upgrade for 2335

ファームウェアアップデートファイル: \* 2335dn\_v2.70.01.24.b アップロード...

スケジュール指定のオプション

更新のスケジュール(日): 07/30/2012

時刻: 12 時間 00 分

スケジュールについての注意:

注意: 実行状態にあるタスクは削除できません。

< 戻る 更新を適用

- 3 表示されるウィンドウで、名前を入力します。

- 4 **Upload...** (アップロード...) をクリックし、ファームウェアパッチ・ファイルを選択します。
- 5 **Schedule Options** (スケジュールオプション) セクションで、**Schedule Update on** (次の日に更新をスケジュール) フィールドからファームウェアの更新日を選択します。
- 6 **At** (から) フィールドで、予定時間を時間 (hrs) と分数 (mins) で選択してあとでファームウェアをアップグレードすることをスケジュールします。
- 7 **Schedule Notes** (注記スケジュール) フィールドで、アップグレード用の注記を入力します。
- 8 変更を更新するには、**Apply Updates** (更新プログラムの適用) をクリックします。



## アラート

OpenManage Printer Manager (OPPM) の **Alerts** (アラート) 機能を使うと、プリンタ関連のイベントに関して、登録済みユーザーと未登録ユーザーに複数の電子メールアラートを送信できます。

OPPM は、簡易メール転送プロトコル (SMTP) を使用して、電子メールアラートを送信できるようにします。一部の一般的なウイルス検索プログラムは、電子メールアラート送信の Java プロセスを識別し、送信機能をブロックします。電子メールアラートの送信を有効にするには、適切な特権があるユーザーが、Java プロセスの際の例外をウイルス検索プログラムに追加する必要があります。



**注意：** 電子メールアラート通知イベントは監査ログに記録されます。

## アラートの構成

アラートは次のイベントに対して構成されます：

- ・ プリンタが指定した時間数の間オフラインになっている。
- ・ プリンタの消耗品の残量が指定の量より少なくなった。
- ・ プリンタによって SNMP トラップが送信された。

 **注意：** SNMP トラップはプリンタから届けられるメッセージで、主にプリンタの異常な状態が表示されます。

 **注意：** 複数のイメージングドラムプリンタの場合は、1 つのイメージングドラムの残量が定義されたしきい値を下回った場合でも、電子メールアラートが送信されます。

アラートを構成するには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Manage**（管理）→**Alerts**（アラート）をクリックします。

### 図 13-1. アラートウィンドウ



警告の種類	しきい値(%/時間)	グループ名	登録済みユーザー	電子メールアドレス	更新
<input type="checkbox"/> イメージングドラム	23	Third Floor	Edel	edel@example.com	更新
<input type="checkbox"/> トナー	20	First Floor	Norman	david@example.com	更新
<input type="checkbox"/> プリンタはご利用できません	6	Second Floor	Mark	mark@example.com	更新

フィールド	説明
アラートの種類	電子メールアラートが送信されるイベントの種類を示します。
しきい値 (%/ 時間)	消耗品の残量* または、アラートが送信されるイベントの期間を示します。残りのプリンタの消耗品に対して、しきい値は % に設定されます。プリンタがオフラインの場合、時間単位で設定されます。
グループ名	アラートが構成されるプリンタグループの名前を 示します。
登録済みユーザー	電子メールアラートが送信される登録済みユーザーの名前を 示します。
電子メールアドレス	アラートが送信される登録済みユーザーの電子メールアドレスを示します。

\* % の値は概算です。

- 2 表示されるウィンドウで、**Alert Configuration**（アラートの構成）をクリックします。



**注意：** 既存のアラートを編集するには、**Alerts**（アラート）パネルで、指定したアラートに対応する **Update**（更新）をクリックします。

図 13-2. アラートの構成ウィンドウ

The screenshot shows the 'Alerts' configuration window with the following sections:

- アラートオプション**
  - 警告の種類を選択: トナー (トナー) 未満 10 通り %
  - グループ名を選択: Color
- 電子メールアラートオプション**
  - ユーザーを選択:  admin <admin@admin.com>
  - 電子メールアドレス: 電子メールアドレスを入力してください。電子メールアドレスのプレフィックスは @ 記号で入力してください。
  - 件名: 打印机警报 - 墨粉
  - メール本文: %PrinterLocation%のプリンタ%PrinterName%、%PrinterIP%トナーが不足しています。至急点検してください。
  - 電子メールに添付されたファイル:
- トラブルチケットアラートオプション**
  - アラートテンプレート: TTA\_OFFLINE
  - システム電子メール: ompm@k1000demo7.kase.com
  - 件名: Printer Alert - %PrinterName%-%PrinterHostname%
  - メール本文: @category=%PrinterStatus% @asset=%PrinterName% @Serial\_Numbers%SerialNumber%
  - 電子メールに添付されたファイル:
- アラートテンプレート**
  - アラートテンプレート: TTA\_TEMPLATE\_1
  - システム電子メール: ompm@k1000demo7.kase.com
  - 件名: Printer Alert - %PrinterName%-%PrinterHostname%
  - メール本文: @category=%PrinterStatus% @asset=%PrinterName% @Serial\_Numbers%SerialNumber%
  - 電子メールに添付されたファイル:

注意: カスタムアラートテンプレートの作成についてはユーザーガイドをご覧ください。

Buttons: <戻る, OK

- 3 表示されるウィンドウで、**Select Alert Type**（アラートの種類の選択）をクリックし、必要なアラートの種類を選択します。
- 4 アラートの種類の横にあるフィールドで、アラートに対するしきい値を入力または選択します。  
 **注意：** 閾値はアラートタイププリンタオフラインは時間単位、アラートタイプトナー、イメージングドラム寿命、フューザー、ローラーは%です。アラートの種類 **SNMP traps**（トラップ）の場合、しきい値はありません。
- 5 **Select Group Name**（グループ名の選択）ドロップダウンボックスで、アラートに対するプリンタグループを選択します。
- 6 **ユーザー選択フィールド**で、アラートを受信するユーザーを選択します。
- 7 **E メールアドレスフィールド**で、登録されていないユーザーの有効なE メールアドレスを入力します。  
 **注意：** 電子メールアドレスはセミコロン（;）で区切らなければなりません。
- 8 **件名行** フィールドで、電子メールの適切な件名で規定の件名の行を置換します。  
 **注意：** **メール本文**フィールドは 電子メールが送信される際の実際の値に変換される変数と OMPM 既定コンテンツ を含みます。
- 9 **電子メールに注記を添付**フィールドで電子メールに追加したい注記を入力します。
- 10 **OK** をクリックします。

## トラブルチケットアラートテンプレートの使用

OMPM は、1つ以上のトラブルチケットテンプレートを選択するオプションを提供します。選択されたテンプレートは既定により、システムEメール、件名、本文を含みます。

トラブルチケットアラートテンプレートを設定するには次の手順を実行します。

- 1 **Trouble-Ticket Alert Options**(トラブルチケットアラートオプション) セクションで、アラートテンプレートドロップダウンボックスから **Alert Template** (アラートテンプレート) を選択します。

 **注意：** 選択されたアラートテンプレートは 選択したアラートタイプに一致理想的にすべきである。例えば、アラートタイプが**トナー**の場合、選択するアラートテンプレートは、**TTA\_Toner** など、トナーに関連しなければなりません。を参照してください、カスタムトラブルチケットアラートテンプレートのマッピングアラートタイプ。

- 2 **System Email** (システム電子メール) フィールドにシステム電子メールアドレスを入力します。

 **注意：** 件名フィールドとメール本文フィールドは**トラブルチケットアラートテンプレート**の変数のある既定コンテンツを含みます。これらの変数は Eメールが送信される際に実際の値に変換されます。

- 3 **電子メールに注記を添付**フィールドでEメールに追加したい注記を入力します。
- 4 追加のアラートテンプレートを追加するには、**アラートテンプレート**ドロップダウンボックスの右側の **+** ボタンをクリックし、追加のアラートテンプレートの適切な値を入力 / 選択します。

 **注意：** テンプレートを削除するには、削除したいテンプレートのアラートテンプレートドロップダウンボックスの 右側の **-** ボタンをクリックします。

- 5 **OK** をクリックします。

 **注意：** アラートテンプレートに関する詳細は、よくある質問の **Alert Templates** を参照してください。

# トラブルチケットアラートテンプレートの作成とインストール

OMPM はトラブルチケットテンプレートの作成とインストールを有効にする 条件があります。トラブルチケットテンプレートの作成とインストールは次の手順を実行してください。

 **注意：** 各インスタンスで CRLF があることを確認します。

- ・ 変数とコンテンツの後
- ・ 2つの変数の間 (シングルラインギャップ)

- 1 メモ帳など、UTF-8 エンコードをサポートするエディタを開きます。
- 2 次のフォーマットでテンプレートを作成します：

パラメータ	説明
%OMPM_AT_MAP_<PRIMARY ALERT TYPE>%	# アラートマップ変数。オプションです。 テキスト “<PRIMARY ALERT TYPE>” を選択したアラートタイプと入れ替えて下さい。例えば、選択したアラートタイプがトナーの場合には、%OMPM_AT_MAP_TONER% を入力して下さい。 を参照してください、カスタムトラブルチケットアラートテンプレートのマッピングアラートタイプ。
%OMPM_AT_EmailId%	# システム E メールアドレスを一つのみ入力します。  <b>注意：</b> E メールアドレスは 768 文字を超過してはなりません。
system@somedomain.com	
%OMPM_AT_EmailSubject%	# 件名は 1 行以上ではいけません。  <b>注意：</b> Eメールの件名は 768 文字を超過してはなりません。
カスタムテンプレート 1 件名	
%OMPM_AT_EmailBody%	# 添付されるメール本文。Mail body that will be appended。
カスタムテンプレート 1 メール本文	
@IPAddress=%PrinterIP%	# @ のついたパラメータは意図されたシステム変数でその右のパラメータは OMPM 変数です。
@Serial=%SerialNumber%	
@ServiceTag=%ServiceTag%	
@Toner=%TonerGroup%	

- 3 次のロケーションで UTF-8 エンコードでテンプレートを .txt ファイルで保存します " <OPPM Install directory>/Dell Printers/OpenManage/OPPMv2.0/alert\_templates " フォルダ。



**注意：** .txt ファイルのみがアラートテンプレートコンボボックスに表示されます。



**注意：** 新規のテンプレートや既存のテンプレートの編集時に OPM が既に作動している場合は変更を反映するためにアラート画面を更新します。

## メール件名変数

次のテーブルはメール件名と該当する変数ペアで使用される パラメータについて記載しています。

パラメータ	変数
プリンタ名	%PrinterName%
プリンタの IP アドレス	%PrinterIP%
プリンタのロケーション	%PrinterLocation%
プリンタモデル	%PrinterModel%
製造番号	%SerialNumber%
サービスタグ	%ServiceTag%
プリンタステータス	%PrinterStatus%
プリンタホスト名	%PrinterHostname%
ローオン	%LowOn%
オフライン時間	%OfflineHours%
スレシホールドレベル	%ThresholdLevel%

## メール本文変数

次のテーブルはメール本文と該当する変数ペアで使用されるパラメータについて 記載しています。

パラメータ	変数
プリンタ名	%PrinterName%
プリンタの IP アドレス	%PrinterIP%

パラメータ	変数
プリンタのロケーション	%PrinterLocation%
プリンタモデル	%PrinterModel%
製造番号	%SerialNumber%
サービスタグ	%ServiceTag%
プリンタステータス	%PrinterStatus%
プリンタホスト名	%PrinterHostname%
ローオン	%LowOn%
オフライン時間	%OfflineHours%
スレシホールドレベル	%ThresholdLevel%
シアントナーレベル	%CyanTonerLevel%
マゼンタトナーレベル	%MagentaTonerLevel%
イエロートナーレベル	%YellowTonerLevel%
ブラックトナーレベル	%BlackTonerLevel%
シアンドラムレベル	%CyanDrumLevel%
マゼンタドラムレベル	%MagentaDrumLevel%
イエロードラムレベル	%YellowDrumLevel%
ブラックドラムレベル	%BlackDrumLevel%
ローラーレベル	%RollerLevel%
フューザーレベル	%FuserLevel%
ロートラップデータ	%RawTrapData%
データタイムスタンプ	%ServerDateTimeStamp%

## パラメータグループ変数

次のテーブルはパラメータのグループと該当する変数ペアについて 記載しています。

変数	パラメータグループ	アウトプット
%Common%	<p>この変数はEメールの一般的なプリンタ詳細を入手するために使用します。</p> <p> <b>注意：</b> この変数はEメール本文でのみ使用します。</p>	<p>名前：%PrinterName%</p> <p>IP アドレス：%PrinterIP%</p> <p>ロケーション： %PrinterLocation%</p> <p>モデル：%PrinterModel%</p> <p>製造番号：%SerialNumber%</p> <p>サービスタグ：%ServiceTag%</p>
%TonerGroup%	<p>この変数は同メールの CMYK アラートを入手するために使用します。</p> <p> <b>注意：</b> この変数はEメール本文でのみ使用します。</p>	<p>シアン：%CyanTonerLevel%</p> <p>マゼンタ：%MagentaTonerLevel%</p> <p>イエロー：%YellowTonerLevel%</p> <p>ブラック：%BlackTonerLevel%</p>
%SpecificTonerString%	<p>この変数は異なるメールで CMYK トナーアラートの作成に使用します。</p> <p> <b>注意：</b> この変数は必須項目です。</p> <p> <b>注意：</b> この変数を件名の任意の場所で使用してください。</p>	
%SpecificTonerLevel%	<p>この変数は異なるメールで CMYK トナーアラートの作成に使用します。</p> <p> <b>注意：</b> この変数はオプションです。</p> <p> <b>注意：</b> 件名に %SpecificTonerString% がある場合のみこの変数をメール本文に使用します。</p>	
%DrumGroup%	<p>この変数は同メールの CMYK ドラムアラートを入手するために使用します。</p> <p> <b>注意：</b> この変数はEメール本文でのみ使用します。</p>	<p>シアン：%CyanDrumLevel%</p> <p>マゼンタ：%MagentaDrumLevel%</p> <p>イエロー：%YellowDrumLevel%</p> <p>ブラック：%BlackDrumLevel%</p>

変数	パラメータグループ	アウトプット
%SpecificDrumString%	<p>この変数は異なるメールで CMYK ドラムアラートの作成に使用します。</p> <p> <b>注意：</b> この変数は必須項目です。</p> <p> <b>注意：</b> この変数を件名の任意の場所で使用してください。</p>	
%SpecificDrumLevel%	<p>この変数は異なるメールで CMYK ドラムアラートの作成に使用します。</p> <p> <b>注意：</b> この変数はオプションです。</p> <p> <b>注意：</b> 件名に %SpecificDrumString%がある場合のみこの変数をメール本文に使用します。</p>	
<p> <b>注意：</b> アラートテンプレートに関する詳細は、よくある質問の Alert Templates を参照してください。</p>		

## カスタムトラブルチケットアラートテンプレートのマッピングアラートタイプ

ユーザーが適切でないカスタムトラブルチケットアラートテンプレートを選択した場合は、ユーザーへの警告なしに OMPM がメールを送付します。

 **注意：** このメールコンテンツは、全てのデフォルトのコンテンツ変数を対応するデータで置き換えるわけではありません。

アラートマップ変数は、アラートタイプと選択されたアラートテンプレートのミスマッチがある場合の警告に使われます。

プライマリアラートタイプ	変数
トナー	%OMPM_AT_MAP_TONER%
オフライン	%OMPM_AT_MAP_OFFLINE%
トラップ	%OMPM_AT_MAP_TRAPS%
イメージングドラム	%OMPM_AT_MAP_DRUMS%
フューザー	%OMPM_AT_MAP_FUSER%
ローラー	%OMPM_AT_MAP_ROLLER%

 **注意：** ユーザーがカスタムアラートテンプレートとアラートタイプとマッチさせたい場合、そのアラートテンプレートの一行目に適切な変数が表示されていることを確認して下さい。

 **注意：** このアラートマップ変数は、必須ではありません。

 **注意：** ユーザーにその操作で良いかどうかを確認する警告メッセージが、OMPM により表示されます。

### アラートマップ変数のあるテンプレート

ユーザーがアラートマップ変数のあるアラートテンプレートを作成する場合には、次の一連の操作と事象が発生します。

- 1 ユーザーがアラートマップ変数のあるカスタムテンプレートを作成し、そのテンプレートをアラートフォルダに入れる。
- 2 OMPM が、そのアラートテンプレートを読み取る。
- 3 ユーザーが、そのアラートテンプレートに適合しないアラートタイプを選択する。
- 4 ユーザーにその操作で良いかどうかを確認する警告メッセージが、OMPM により表示されます。

## アラートマップ変数のないテンプレート（OMPM のデフォルトアラートテンプレートに適合）

ユーザーがアラートマップ変数のないアラートテンプレートを作成する場合には、次の一連の操作と事象が発生します。

- 1 ユーザーがアラートマップ変数のないカスタムテンプレートを作成し、そのテンプレートをアラートフォルダに入れる。
- 2 OMPM が、そのアラートテンプレートを読み取る。
- 3 ユーザーが、そのアラートテンプレートに適合しないアラートタイプを選択する。
- 4 ユーザーへの警告なしに OMPM がメールを送付します。

## サンプルアラートテンプレート

この章では異なるパラメータのいくつかのサンプルアラートテンプレートについて記載しています。

### サンプル 1: トナーレベルのアラートの作成

%OMPM\_AT\_EmailId# システム E メール Id

ompm@somedomain.com

%OMPM\_AT\_EmailSubject# 既定を上書きする件名。

プリンタアラート - トナーレベル

%OMPM\_AT\_EmailBody# 添付されるメール本文。

@category= その他

@status= オープン

@priority= 警告

@impact= 多くの人が不便

@asset=%PrinterName%

@custom\_1=IP '%PrinterIP%' のプリンタ '%PrinterName%' とのトナーレベルがローオン。

@custom\_2= その他のプリンタ詳細：

@custom\_3= シリアルナンバーは %SerialNumber%。

@custom\_4= サービスタグは %ServiceTag%。

@custom\_5= トナーレベル :

@Cyan=%CyanTonerLevel%

@Magenta=%MagentaTonerLevel%

@Yellow=%YellowTonerLevel%

@Black=%BlackTonerLevel%

## サンプル 2: ドラムレベルのアラートの作成

%OPPM\_AT\_EmailId%#System Email Id ompm@somedomain.com

%OPPM\_AT\_EmailSubject%# 既定を上書きする件名。

プリンタアラート - ドラムレベル

%OPPM\_AT\_EmailBody%# 添付されるメール本文。

@category= その他

@status= オープン

@priority= 警告

@impact= 多くの人が不便

@asset=%PrinterName%

@custom\_1=Printer IP '%PrinterIP%' のプリンタ '%PrinterName%' のドラムは低レベルです。

@custom\_2= その他のプリンタ詳細 :

@custom\_3= シリアルナンバーは %SerialNumber%。

@custom\_4= サービスタグは %ServiceTag%。

@custom\_5= ドラムレベル :

@custom\_6=%DrumGroup%

### サンプル 3: 特定のトナーレベルのアラートの作成

%OMPM\_AT\_EmailId%# システム E メール Id ompm@somedomain.com

%OMPM\_AT\_EmailSubject% # 既定を上書きする件名。

Printer Alert %PrinterIP% %PrinterName% - %SpecificTonerString% のトナーの中で

%OMPM\_AT\_EmailBody% # 添付されるメール本文。

プリンタアラートモニタリングアプリケーションが注意を必要とするプリンタを検出しました  
現在のトナーレベルは %SpecificTonerLevel%

IP:%PrinterIP%

名前:%PrinterName%

モデル:%PrinterModel%

ホスト名: %PrinterHostname%

ロケーション: %PrinterLocation%

製造番号: %SerialNumber%

エラー:%SpecificTonerString% トナーの中で。

検出: %ServerDateTimeStamp%

### サンプル 4: アラートマップ変数のあるカスタムトナーテンプレート

%OMPM\_AT\_MAP\_TONER%

%OMPM\_AT\_EmailId%# システム E メール Id ompm@somedomain.com

%OMPM\_AT\_EmailSubject% # 既定を上書きする件名。

コンテンツは一行を超えないこと。

用トナー低い%PrinterName%

%OMPM\_AT\_EmailBody% # 添付されるメール本文。

トナーレベルは%BlackTonerLevel%で、%ThresholdLevel% のスレシホールドレベル以下です。

IP:%PrinterIP%

名前:%PrinterName%

モデル:%PrinterModel%

ホスト名: %PrinterHostname%

ロケーション: %PrinterLocation%

製造番号: %SerialNumber%

検出: %ServerDateTimeStamp%

## SMTP/ 電子メール設定の構成

SMTP は電子メールアラートを送信するように構成されます。

SMTP を構成するには、次の手順を実行します：

- 1 Alerts (アラート) ウィンドウで、SMTP Configuration (SMTP の構成) をクリックします。

図 13-3. SMTP の構成ウィンドウ



The screenshot shows a window titled "アラート" (Alerts) with a sub-section for SMTP configuration. The fields are as follows:

SMTPサーバー:	10 .255 .10 .15
SMTPポート:	25
電子メール差出人アドレス:	admin@example.com
	<input type="checkbox"/> SMTPサーバーには認証が必要ですか?
SMTPサーバーのログイン:	
SMTPサーバーのパスワード:	

At the bottom right, there are two buttons: "<戻る" (Back) and "OK".

- 2 表示されるウィンドウで、**SMTP Server** (SMTP サーバー) フィールドをクリックし、送信電子メールの SMTP サーバー アドレスを入力します。
- 3 **SMTP Port** (SMTP ポート) フィールドで、SMTP 電子メールサービスで使用するサーバーの TCP/IP ポート名を入力します。
- 4 **Email From Address** (受信者の電子メールアドレス) フィールドで、登録済みユーザーの電子メールアドレスを入力します。
- 5 SMTP サーバーで認証が必要な場合、次のことを行います：
  - ・ **SMTP Server requires authentication** (SMTP サーバーで認証を必要とする) チェックボックスをオンにします。
  - ・ **SMTP Server Login** (SMTP サーバーログイン) フィールドで、SMTP サーバーにログインするためのユーザー名を入力します。
  - ・ **SMTP Server Password** (SMTP サーバーパスワード) フィールドで、SMTP サーバーにログインするためのパスワードを入力します。
- 6 **OK** をクリックします。

## アラートの削除

以前に構成されたアラートは削除されます。

アラートを削除するには、次の手順を実行します：

- 1 **Alerts** (アラート) ウィンドウで、削除が必要なひとつまたは複数のアラートのチェックボックスを選択します。**Delete** (削除) ボタンが無効になります。
- 2 **Delete** (削除) をクリックします。

図 13-4. アラートの削除



- 3 表示されるダイアログボックスで、**Yes** (はい) をクリックします。

## 電子メールアラートの形式

プリンタ関連のイベントに関する電子メールアラートは、特定の形式で、登録済みユーザーに送信されます。種類が異なるプリンタイベントの形式は次のとおりです：

### プリンタの消耗品に関する電子メールアラート

プリンタの消耗品の残量が指定の量より少なくなった場合、電子メールアラートが指定したユーザーに送信されます。

例

宛先：<ユーザーの電子メール ID [OMPM/non-OMPM]>

差出人：OMPM

件名：プリンタアラート <トナー / イメージングドラムの寿命 / フューザー / ローラー>

<プリンタの場所> にあるプリンタ <プリンタ名、プリンタ IP> は、<トナー / イメージングドラムの寿命 / フューザー / ローラー> が低下しています。至急点検してください。

消耗品残量 (%)：

トナー残量：

シアン :-

マゼンタ :-

黄 :-

黒 :X

イメージングドラム残量：

シアン :-

マゼンタ :-

黄 :-

黒 :Y

フューザーの位置：

フューザー :-

ローラーの位置：

ローラー :-

OpenManage Printer Manager から送信されたメッセージ。

注意：値が無効な場合、“-”が表示されます。

### オフラインのプリンタに関する電子メールアラート

プリンタが指定した時間数の間、例えば、1 時間オフラインになっている場合、電子メールアラートが指定したユーザーに送信されます。

例

宛先：<ユーザーの電子メール ID [OMPM/non-OMPM]>

差出人：OMPM

件名：プリンタアラート - オフライン

OpenManage Printer Manager は、<プリンタの場所>にあるプリンタ <プリンタ名、プリンタ IP> に <ユーザー指定の> 時間通信できません。<プリンタの場所>にあるプリンタ <プリンタ名、プリンタ IP> を至急点検してください。

OpenManage Printer Manager から送信されたメッセージ。

### 電子メールトラップのアラート

プリンタによって SNMP トラップが送信される場合、電子メールアラートが指定したユーザーに送信されます。

例

宛先：<ユーザーの電子メール>

差出人：OMPM

件名：プリンタ <プリンタ名/IP アドレス> に対する OpenManage Printer Manager のアラートトラップ

OMPM は、プリンタ <プリンタ名、プリンタ IP> から次のトラップを受信しました  
<生のトラップデータ>

OpenManage Printer Manager から送信されたメッセージ。

## 構成

OpenManage Printer Manager (OPM) には、一方のプリンタから同じ型式の別のプリンタへ設定をコピーし、構成する機能が備わっています。構成は、プリンタの機能と主要機能のセットアップを行うプロセスです。**Configuration** (構成) 機能を使うと、プリンタ設定をコピーし、適用 できます。

## プリンタ設定の適用

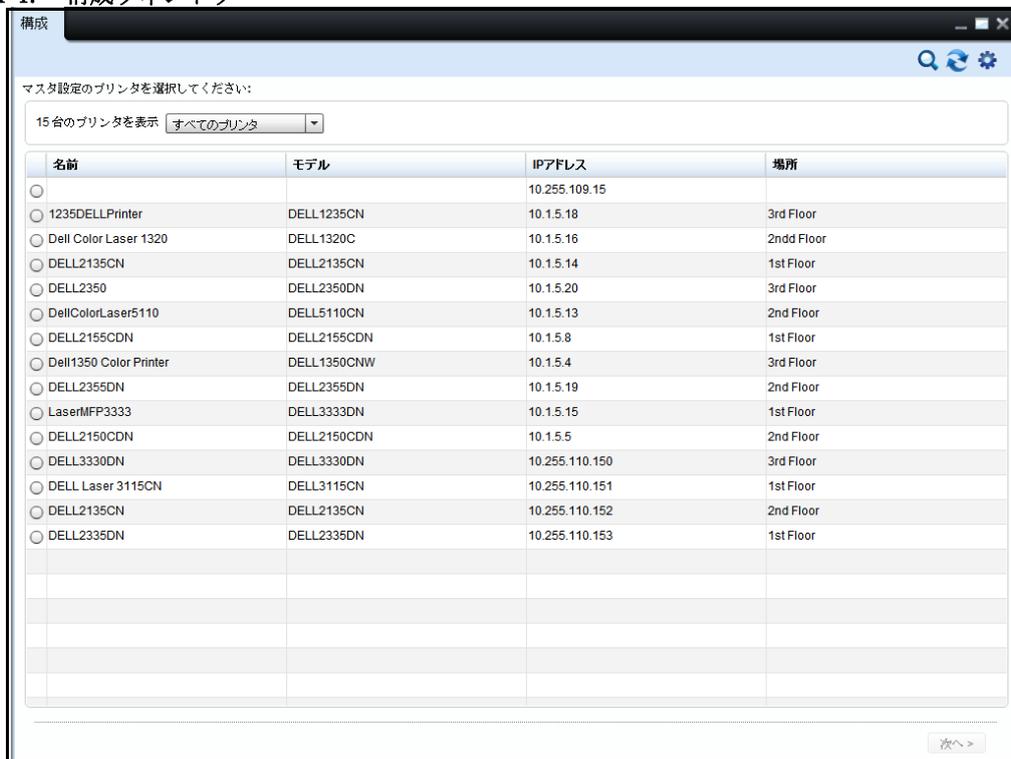
OPPM はプリンタの設定を複製し、同じ型式の他のプリンタに適用します。設定の複製元のプリンタをマスタープリンタと呼びます。設定のコピー中に、以下を除くマスタープリンタのすべてのフィールドがデータベースにコピーされ、プリンタに適用されます：

- ・ プリンタ名
- ・ プリンタの説明
- ・ プリンタの IP アドレス
- ・ プリンタの製造番号

一方のプリンタから別のプリンタへ設定を適用するには、次の手順を 実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Manage** (管理) → **Configuration** (構成) をクリックします。

図 14-1. 構成ウィンドウ





フィールド	説明
名前	選択したグループ内にあるプリンタ名を示します。
シリアル番号	プリンタの製造番号を示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを示します。
サービスタグ	プリンタのサービスタグを示します。

- 表示されるウィンドウで、設定を適用する必要があるプリンタを選択します。
- Include Network Settings** (ネットワーク設定を含める) チェックボックスを選択して、ネットワーク設定をコピーし、**Apply Settings** (設定を適用する) をクリックします。

## スケジュール

OpenManage Printer Manager (OPPM) では、スケジュール済みのすべてのタスクの詳細と状態が表示されます。特定の時間に自動的に実行するタスクをスケジュールできます。**Schedules** (スケジュール) 機能を使用すると、OPPM データベースからスケジュール済みタスクを閲覧、更新、削除できます。

## スケジュール済みタスクの更新

スケジュール済みのすべての OPM のタスクは、データベースに保存されます。Schedules (スケジュール) 機能を使用すると、以前にスケジュールしたタスクを更新できます。

 **注意**：Running (実行) 状態または Completed (完了済み) の状態にあるタスクは更新できません。スケジュール済みタスクの更新を行うには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、Manage (管理) → Schedules (スケジュール) をクリックします。

図 15-1. スケジュールウィンドウ



フィールド	説明
名前	スケジュールの名前を示します。
スケジュール済みタスク	スケジュール済みタスクを示します。
備考	ユーザーが入力したメモを示します。
状態	スケジュール済みタスクの状態を示します。

- 2 表示されるウィンドウで、更新するタスクに対応する Update (更新) をクリックします。

図 15-2. タスクの更新ウィンドウ

スケジュール

名前: \* Monthly Cleanup

タスクのスケジュール: 月単位

スケジュール指定のオプション

データベースのクリーンアップのスケジュール (月単位/日): 1

時刻: 23 時間 00

スケジュールについての注意:

注意: 実行状態にあるタスクは削除できません。

<戻る OK

- 3 必須フィールドを更新し、**OK** をクリックします。

## スケジュール済みタスクの削除

**Scheduled**（スケジュール済み）または **Completed**（完了済み）の状態のタスクを OMPM データベースから削除できます。

 **注意**： **Running**（実行）状態にあるタスクは削除できません。

スケジュール済みタスクを削除するには、次の手順を実行します：

- 1 **Schedules**（スケジュール）ウィンドウで、削除するタスクを選択し、**Delete**（削除）をクリックします。

図 15-3. スケジュール済みタスクの削除



- 2 表示されるダイアログボックスで、**Yes**（はい）をクリックします。

## ログ

OpenManage Printer Manager (OPPM) には、ユーザーとアプリケーションの操作を追跡するためのログ機能が備わっています。**Logs** (ログ) 機能を使用して、システムログと監査ログを表示します。システムログは、OPPM 内のキーポイントにおける詳細なトレース情報をキャプチャします。監査ログには、システムとユーザーアクティビティに関する情報が含まれています。

 **注意：**OPPM 管理者は、すべてのログにアクセスできます。

## ログの表示

OMPM には、監査ログとシステムログの履歴が表示されます。追跡には、ユーザー操作、行われた操作の状態、アプリケーションのすべての操作に関するデータの維持が含まれます。

システムログまたは監査ログを表示するには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Manage**（管理）→ **Logs**（ログ）をクリックします。

 **注意：** Logs（ログ）ウィンドウには、デフォルトでは、監査ログが表示されます。

図 16-1. ログウィンドウ



ユーザー名	操作の種類	実行した操作	日付
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Mon Apr 30 11:38:4...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Mon Apr 30 11:12:1...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Mon Apr 30 11:03:4...
admin	ユーザー	ユーザー admin がログアウトしました。	Mon Apr 30 11:00:3...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Mon Apr 30 10:52:5...
SYSTEM	計画報告	已成功完成计划报告生成。	Mon Apr 30 10:33:2...
SYSTEM	計画報告	计划报告： Consumable Usage 已成功生成，且已为电子邮件 id 。	Mon Apr 30 10:33:2...
SYSTEM	計画報告	已成功启动计划报告生成。	Mon Apr 30 10:33:0...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Fri Apr 27 11:06:42 ...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Fri Apr 27 11:05:42 ...
admin	ユーザー	ユーザー admin がログアウトしました。	Fri Apr 27 11:05:36 ...
admin	レポート	レポート用紙-インク_使い方_04-27-2012_11_01_02_859.pdfが正常に生成されました。	Fri Apr 27 11:01:09 ...
admin	レポート	レポート用紙-インク_使い方_04-27-2012_10_58_45_843.pdfが正常に生成されました。	Fri Apr 27 10:59:03 ...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Fri Apr 27 10:57:59 ...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Fri Apr 27 10:40:15 ...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Fri Apr 27 10:39:57 ...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Fri Apr 27 10:34:45 ...
SYSTEM	ユーザー	ユーザー admin 已登录。	Fri Apr 27 10:30:36 ...
admin	ユーザー	ユーザー admin がログアウトしました。	Fri Apr 27 10:30:30 ...
admin	ユーザー	已创建新用户。	Fri Apr 27 10:28:53 ...

---

### フィールド

### 説明

ユーザー名

ユーザーの名前を示します。

操作の種類

操作の種類を示します。

実行した操作

ユーザーが実行した操作を示します。

日付

操作の日付を示します。

---

- 2 システムログを表示するには、表示されるウィンドウで、**Display System Logs**（システムログを表示）をクリックします。

図 16-2. システムログ ウィンドウ

説明	重要度	日付
Health polling operation completed.	Informational	Mon Apr 30 12:05:19 2012
Health polling operation started.	Informational	Mon Apr 30 12:03:48 2012
Successfully processed the temporary license.	Informational	Mon Apr 30 11:38:42 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:38:42 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:38:28 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:37:57 2012
SNMP polling operation completed.	Informational	Mon Apr 30 11:36:35 2012
Health polling operation completed.	Informational	Mon Apr 30 11:35:03 2012
SNMP polling operation started.	Informational	Mon Apr 30 11:33:32 2012
Health polling operation started.	Informational	Mon Apr 30 11:33:32 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:14:20 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:14:20 2012
Successfully processed the temporary license.	Informational	Mon Apr 30 11:12:14 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:12:14 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:12:08 2012
Successfully processed the temporary license.	Informational	Mon Apr 30 11:07:15 2012
Health polling operation completed.	Informational	Mon Apr 30 11:04:50 2012
Successfully processed the temporary license.	Informational	Mon Apr 30 11:03:44 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 11:03:44 2012
Health polling operation started.	Informational	Mon Apr 30 11:03:20 2012
Successfully processed the temporary license.	Informational	Mon Apr 30 10:52:57 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 10:52:57 2012
Successfully retrieved application configuration fro...	Informational	Mon Apr 30 10:52:50 2012
EWS polling operation completed.	Informational	Mon Apr 30 10:49:45 2012
Either IP address has changed or device is offline, ...	Informational	Mon Apr 30 10:34:08 2012
Either IP address has changed or device is offline, ...	Informational	Mon Apr 30 10:34:08 2012

フィールド	説明
説明	OMPM の操作を示します。
重要度	操作の状態を示します。
日付	操作の日付を示します。

 **注意：** もう一度監査ログを表示するには、**Display Audit Logs**（監査ログを表示）をクリックします。

## ログファイルの保存

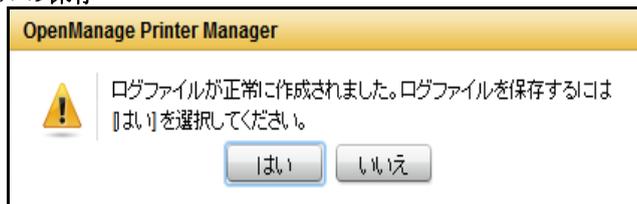
ログをテキスト形式で保存できます。

 **注意：** データベースのクリーンアップ中に、監査ログとシステムログが削除されます。

ログファイルを保存するには、次の手順を実行します：

- 1 **Logs**（ログ）ウィンドウで、画像  をクリックします。
- 2 ログファイルを保存する場所を選択します。

図 16-3. ログファイルの保存



- 3 表示されるダイアログボックスで、**Yes**（はい）をクリックします。

 **注意：** データベースのクリーンアップ処理を行うと、ログも削除されます。

## ユーザー管理

OpenManage Printer Manager (OMPM) はその全ユーザーとロールの認証を行います。ユーザーズ機能はユーザータイプと OMPM 使用メソッドを定義します。この機能でデータベースのユーザー追加、更新、削除が容易になります。

OMPM は 2 種類のユーザーを管理します。一つは OMPM で作成されそのデータベースに記憶されたユーザーグループ、もう一つは Active Directory クレデンシャルでログインしたユーザーグループです。OMPM は同一システムで、両ユーザーの共存を可能にします。

## ユーザーロール

OMPM は次の 2 つのユーザーロールを保持します：

- ・ 管理者
- ・ ユーザー

### 管理者

管理者はさまざまなタスクを実行できます。次の表に、管理者のアクセシビリティを示します：



**注意：** 管理者は自分以外の管理者を削除できます。

機能	管理者ロール
グループの管理	表示、追加、削除、変更
探索管理	表示とスケジュール
プリンタの在庫管理	プリンタをグループに追加、プリンタをグループから削除、禁止リストの表示と編集
プリンタ設定のプッシュ	表示と変更
レポート管理	カスタムレポートの実行と作成
アラート管理	アラートの表示、追加、削除
アプリケーション設定の管理	OMPM 設定の表示、追加、変更
テンプレートの管理	新しいテンプレートの登録と現在のテンプレートの更新
ソフトウェア更新ツールの管理	型式と更新ツール間のリンクの設定の追加または変更
ユーザーグループの管理	ユーザーの表示、編集、検索、追加、削除
ログ	表示
マップ	マップの追加、編集、削除
プラグイン管理	プラグインの追加と削除

## ユーザー

ユーザーは一部のタスクしか実行することができません。次の表に、ユーザーのアクセシビリティを示します：

機能	ユーザーロール
グループの管理	表示のみ
探索管理	アクセス許可なし
プリンタの在庫管理	表示のみ
プリンタ設定のプッシュ	プリンタのパスワードと SNMP コミュニティ名はユーザーに表示されません
レポート管理	カスタムレポートの実行と作成
アラート管理	アクセス許可なし
アプリケーション設定の管理	アプリケーション設定の表示のみ
テンプレートの管理	アクセス許可なし
ソフトウェア更新ツールの管理	アクセス許可なし
ユーザーグループの管理	アクセス許可なし
ログ	アクセス許可なし
マップ	表示のみ
プラグイン管理	表示のみ

## OMPM からの Active Directory (AD) 認証の設定

インストール時に Active Directory (AD) の設定をしなかった場合には、OMPM から設定することができます。あなたが管理者権限のあるユーザーの場合は、ユーザーズウィンドウの ADS 設定オプションが使用可能です。

AD 設定をするには、以下の手順を実行して下さい：

- 1 ユーザーズウィンドウで、**ADS 設定**をクリックする。

図 17-1. ユーザーズウィンドウ



<input type="checkbox"/>	名前	作成日時	ロール	電子メールアドレス	ユーザータイプ	
<input type="checkbox"/>	admin admin	06/27/2013 14:40:46	管理者	admin@admin.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	AdminGroup	06/27/2013 17:23:45	ユーザー		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Peter V	06/27/2013 17:17:27	ユーザー	peter@mydomain.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	PrinterGroup	06/27/2013 17:23:45	管理者		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Stanley K	07/02/2013 15:38:39	ユーザー	stanley@mydomain.com	ADS	更新

図 17-2. ADS 設定ウィンドウ



- 2 ADS ドメイン名を入力する。
- 3 ADS ドメインコントローラ名を入力する。
- 4 ADS ポート番号を入力する。
- 5 OK をクリックする。

接続のステータスが成功の場合、「ADS 設定に成功」のメッセージが表示されます；そうでない場合、「ADS ドメインコントローラに接続できません。設定の詳細をチェックして下さい」のメッセージが表示されます。

図 17-3. 図 17-3. ADS 設定



 **注意：** Active Directory (AD) 認証の設定の詳細については、Active Directory (AD) 認証の設定項を参照して下さい。

### Single Sign-On の有効化 / 無効化 (SSO) 設定

インストール中に SSO の構成を行った場合にのみ、「Single Sign-On を使用する」チェックボックスが表示され選択された状態になります。SSO を無効化した場合、ユーザーは、ログインページで「Windows ログイン資格情報をログインページに使用する」チェックボックスを見ることができません。したがって、SSO を使用して OMPM にアクセスすることはできません。再有効化にすることで、以前に構成されている設定が使用されます。

 **注意：** Active Directory LDAP 認証を無効化すると、自動的に SSO 設定が無効化されます。

## OMPM のユーザーの管理

同一システム内で、OMPM ユーザーと AD ユーザーが共存できます。

ユーザーを管理するには、以下の手順を実行して下さい：

ナビゲーションパネルで、[アプリケーション設定 -> ユーザー] をクリックする。

図 17-4. ユーザーズウィンドウ

<input type="checkbox"/>	名前	作成日時	ロール	電子メールアドレス	ユーザータイプ	
<input type="checkbox"/>	admin admin	06/27/2013 14:40:46	管理者	admin@admin.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	AdminGroup	06/27/2013 17:23:45	ユーザー		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Peter V	06/27/2013 17:17:27	ユーザー	peter@mydomain.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	PrinterGroup	06/27/2013 17:23:45	管理者		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Stanley K	07/02/2013 15:38:39	ユーザー	stanley@mydomain.com	ADS	更新

 注意：E メールアドレスは、AD グループと関連付けられません。

データグリッドは下記のコラムを表示します：

フィールド	説明
名前	は OMPM ユーザー、AD ユーザー、又は AD グループを表示します。
作成日	そのユーザー (AD/OMPM) 又は AD グループが、OMPM に追加された日付／時間を表示します。
ロール	そのユーザーのロールを表示します。
E メールアドレス	そのユーザーの E メールアドレスを表示します。
ユーザータイプ	その OMPM ユーザー又は AD ユーザーのタイプを表示します。

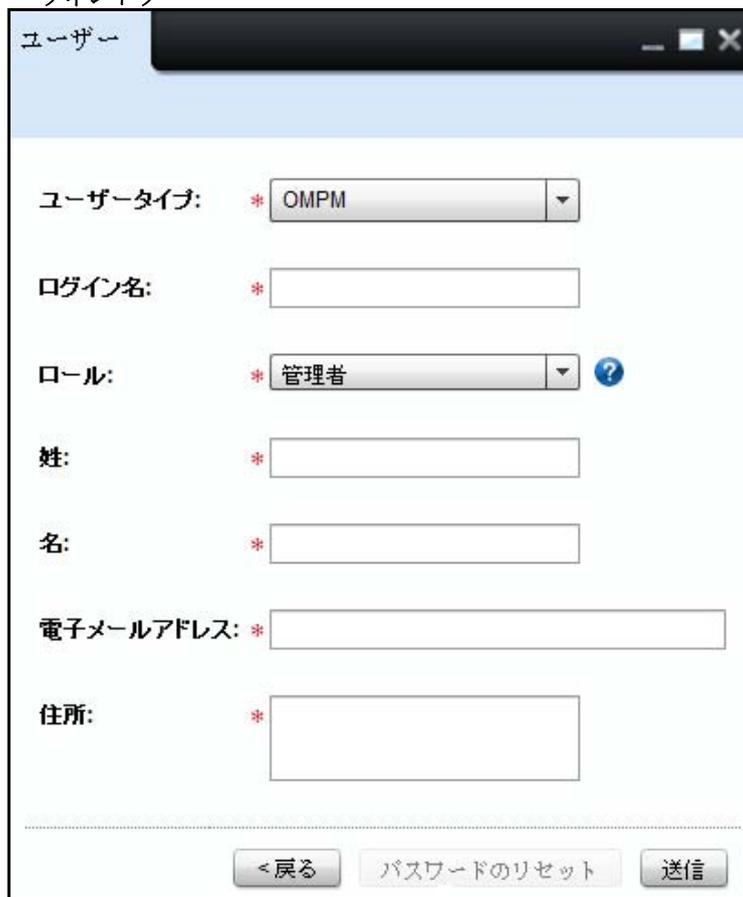
## ユーザーの追加

### OMPM ユーザーの追加

ユーザーを追加するには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Application Settings** (アプリケーションの設定) → **Users** (ユーザー) をクリックします。
- 2 表示されるウィンドウで、**New User** (新しいユーザー) をクリックします。

図 17-5. ユーザー ウィンドウ



ユーザー

ユーザータイプ: \* OMPM ▼

ログイン名: \*

ロール: \* 管理者 ▼ ?

姓: \*

名: \*

電子メールアドレス: \*

住所: \*

<戻る    パスワードのリセット    送信

- 3 表示されるウィンドウで、**Login Name** (ログイン名)、**First Name** (名)、**Last Name** (? 姓)、**Mail Address** (メールアドレス)、**Address** (住所) を入力します。
- 4 **Role** (ロール) ドロップダウンリストから、ロールを選択します。
- 5 **Submit** (送信) をクリックします。

## AD ユーザー / グループの OMPM への追加

AD ユーザーは、既に OMPM に追加されているか、又は属しているグループ / ユーザーのひとつが既に OMPM に追加されている場合のみ、OMPM にログインすることができます。

AD 認証の設定が完了している場合のみ、AD ユーザーを追加することができます。

ユーザーを追加するには、以下の手順を実行して下さい：

- 1 ナビゲーションパネルで、[アプリケーション設定 -> ユーザー] をクリックする。

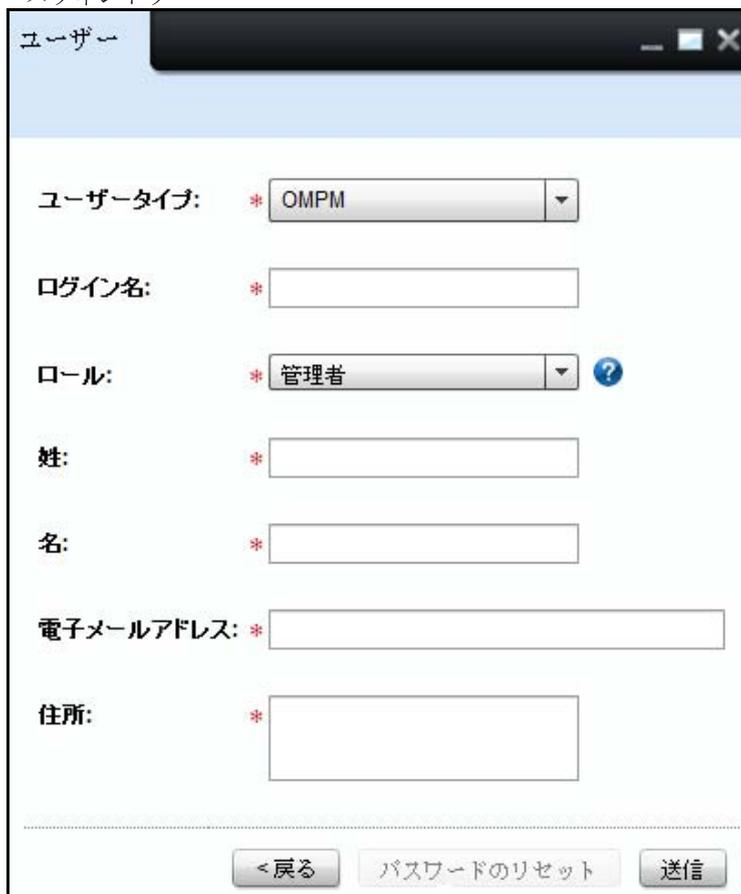
図 17-6. ユーザーズウィンドウ



<input type="checkbox"/>	名前	作成日時	ロール	電子メールアドレス	ユーザータイプ	更新
<input type="checkbox"/>	admin admin	06/27/2013 14:40:46	管理者	admin@admin.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	AdminGroup	06/27/2013 17:23:45	ユーザー		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Peter V	06/27/2013 17:17:27	ユーザー	peter@mydomain.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	PrinterGroup	06/27/2013 17:23:45	管理者		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Stanley K	07/02/2013 15:38:39	ユーザー	stanley@mydomain.com	ADS	更新

- 2 表示されたウィンドウで、[新規ユーザー] をクリックする。

図 17-7. ユーザーズウィンドウ



ユーザー

ユーザータイプ: \* OMPM ▼

ログイン名: \*

ロール: \* 管理者 ▼ ?

姓: \*

名: \*

電子メールアドレス: \*

住所: \*

<戻る    パスワードのリセット    送信

 注意：AD 認証が設定されていない場合、ADS はユーザータイプにリストアップされません。

- 3 [ユーザータイプ] ドロップダウンリストから、**AD ユーザー**を選択する。

図 17-8. ユーザーズウィンドウ

ユーザー

ユーザータイプ: \* ADS

ユーザーまたはグループを探します。 \* Smith\* 検索

<戻る パスワードのリセット 送信

- 4 [ユーザー又はグループを探す] テキストボックスに、検索文字列を入力する。

 **注意：** ユーザー又はグループ名は [ユーザー又はグループを探す] の検索コンポーネントで探すことができます。検索文字列は、最低 2 文字を接尾又は接頭に付けた '\*' (アスタリスク) ワイルドカード文字を含むことができます。

 **注意：** 検索ボタンは、[ユーザー又はグループを探す] テキストボックスに最低 2 文字を入力すると使用可能になります。

- 5 [検索] をクリックする。

AD 認証ウィンドウが表示されます。

図 17-9. ADS 認証ウィンドウ



The screenshot shows a dialog box titled "OpenManage Printer Manager" with a sub-tab "User Management". It contains two input fields: "ADSユーザー名:" with the value "edwin" and "ADSパスワード:" with masked characters "\*\*\*\*\*". Below the fields is a note in Japanese: "備注：いかなるADSユーザーの資格情報を入力してください。" At the bottom right are "OK" and "閉じる" buttons.

 **注意：**注意：ログインしたユーザーが OPM ユーザーの場合、認証ダイアログボックスがユーザー名とパスワードを入力するよう促します。ログインしたユーザーが AD ユーザーの場合には、認証ダイアログボックスはユーザー名に一致したパスワードを入力するよう促します。

- ・ AD ユーザーのクレデンシャル認証が不成功の場合、次のメッセージが表示されます：「AD ユーザー '<ユーザー名 >' を認証することができません。詳細はシステムログをチェックして下さい。」

図 17-10. 警告メッセージ



- ・ 認証が成功すると、データグリッドに相当する全結果が表示されます。

図 17-11. ユーザーズウィンドウ



ユーザー

ユーザータイプ: \* ADS

ユーザーまたはグループを探します。 \* Smith\* 検索

検索結果:

<input type="checkbox"/>	ユーザー名またはグループ名:	姓	名	電子メールアドレス
<input type="checkbox"/>	smithf	Smith	Fernandes	smithf@someDomain.com
<input type="checkbox"/>	smith	Smith	R	smithr@someDomain.com
<input checked="" type="checkbox"/>	smith02	Smith	K	smith02@someDomain.com

ロール: \* 管理者 ?

<戻る    パスワードのリセット    送信

データグリッドは下記のコラムを表示します：

フィールド	説明
ユーザー名又はグループ名	AD ユーザー又は AD グループの名称を表示します。
名	ユーザーの名を表示します。
姓	ユーザーの姓を表示します。
E メールアドレス	ユーザーの E メールアドレスを表示します。

- 6 OMPM に追加したいユーザー／グループに一致する、チェックボックスを選択する。
- 7 [ロール] ドロップダウンリストから、ロールを選択する。
- 8 [送る] をクリックする。

図 17-12. メッセージウィンドウ



## ユーザーの更新

### OMPM ユーザーの更新

既存のユーザーを更新するには、次の手順を実行します：

- 1 **Users** (ユーザー) ウィンドウで、更新するユーザーを選択し、**Update** (更新) をクリックします。

図 17-13. ユーザーの更新



ユーザー

ログイン名: \* Joseph

ロール \* 管理者

姓: \* Joseph

名: \* Corera

電子メールアドレス: \* joseph@example.com

住所: \* Joseph  
Address 1  
Country

<戻る      パスワードのリセット      送信

- 2 表示されるウィンドウで、必要なフィールドを更新します。
- 3 Submit (送信) をクリックします。

 **注意:** 新しいユーザーの既定のパスワードは **welcome** です。初回ログイン時に、ライセンス画面が表示される前に、ダイアログボックスを使用して、パスワードを変更する必要があります。

 **注意:** Reset Password (パスワードのリセット) ボタンをクリックし、パスワードを既定値にリセットできます。既定のパスワードを変更するには、OMPM に再ログインします。

 **注意:** 管理者パスワードをを既定値にリセットするには、フォルダ <OMPM Install directory>%Dell Printers%OpenManage%OMPMv2.0%server に移動し、PasswordReset.jar ファイルをクリックします。

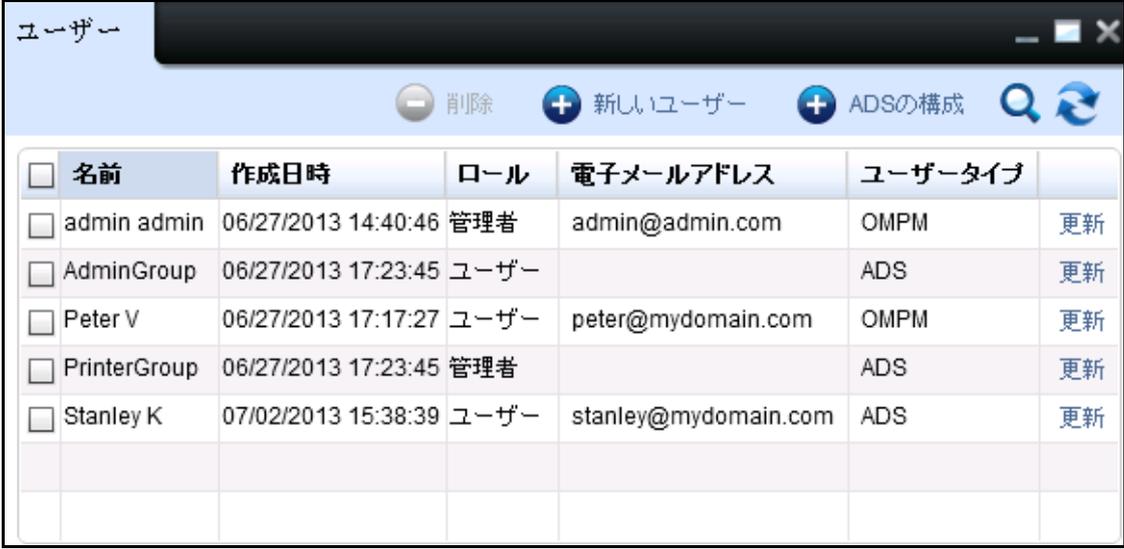
## OMPM の AD ユーザーの更新

AD ユーザー/グループは Users ウィンドウを通して更新できます。OMPM の AD ユーザーの更新は、AD サーバーに影響しません。AD ユーザー/グループのロールのみ更新することができます。

ユーザーを更新するには、以下の手順を実行して下さい：

- 1 ユーザーズウィンドウで、データグリッドの AD ユーザー又はグループコラムに該当するアップデートリンクをクリックする。

図 17-14. ユーザー管理ウィンドウ



<input type="checkbox"/>	名前	作成日時	ロール	電子メールアドレス	ユーザータイプ	
<input type="checkbox"/>	admin admin	06/27/2013 14:40:46	管理者	admin@admin.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	AdminGroup	06/27/2013 17:23:45	ユーザー		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Peter V	06/27/2013 17:17:27	ユーザー	peter@mydomain.com	OMPM	更新
<input type="checkbox"/>	PrinterGroup	06/27/2013 17:23:45	管理者		ADS	更新
<input type="checkbox"/>	Stanley K	07/02/2013 15:38:39	ユーザー	stanley@mydomain.com	ADS	更新

図 17-15. ユーザー管理ウィンドウ



- 2 [ロール] ドロップダウンリストから、ユーザー／グループのロールを選択する。
- 3 [送る] をクリックする。

AD ユーザー / グループのロールが更新されます。

ユーザーズウィンドウには、各ロールと共に更新されたユーザー／グループが表示されます。

## ユーザーの削除

ユーザーを削除するには、以下の手順を実行して下さい：

- 1 ユーザーズウィンドウで、削除したいユーザーを選択し、[削除] をクリックする

図 17-16. ユーザーの削除



- 2 表示されたダイアログボックスで、[はい] をクリックする。  
選択されたユーザーグループが OMPM DB (データベース) から削除されます。

 **注意：** OMPM からのユーザー削除は、AD サーバーに影響しません。

## データベースのクリーンアップ

OpenManage Printer Manager (OPPM) は、日単位のデータ履歴を最大 2 年分保持します。データベース (DB) のクリーンアップは、未使用の情報をデータベースから削除するプロセスです。**DB Cleanup** (クリーンアップ) 機能を使用して、不要なデータを OPPM のデータベースから削除し、OPPM のパフォーマンスの向上を図ることができます。

## ロールアップの操作

ロールアップの操作は、詳細データを要約し、データベースから削除するプロセスです。ロールアップの操作は、時間単位のデータを削除した後に、分、時間、日単位のデータを要約するために 実行します。同様に、時間単位のデータは、月単位のデータに要約されますが、データはデータベースから削除されません。データのクリーンアップ中に、監査ログとシステムログは同時にクリーンアップされますが、サマリーは保持されません。OMPM は、デフォルトでは、日単位のデータを 1 年間、月単位のデータを削除するまで恒久的に保持します。

## DB クリーンアップのスケジュール

**DB Cleanup** (DB クリーンアップ) 機能を使用して、クリーンアップのスケジュールを行うことができます。データベースのクリーンアップを行うことにより、データベース内のレコード数が減少し、プリンタのデータベースへのクエリの実行が速くなります。データベースクリーンアップは次のように 3 つの 異なる時間にスケジュールすることができます。

- ・ 毎月
- ・ 1 度
  - ・ 今
  - ・ あとで

## 毎月 DB クリーンアップをスケジュールする

毎月データベースクリーンアップをスケジュールするには次の手順を実行します。

- 1 ナビゲーションパネルで、**Application Settings**（アプリケーションの設定）→ **DB Cleanup**（クリーンアップ）をクリックします。

図 18-1. 毎月 DB クリーンアップをスケジュールする

データベースのクリーンアップ

名前: \* Monthly Cleanup

タスクのスケジュール: 月単位

スケジュール指定のオプション

データベースのクリーンアップのスケジュール (月単位/日): 1

時刻: 12 時間 00 分

次の日数が経過したアイテムを削除する: 6 月

スケジュールについての注意:

注意:実行状態にあるタスクは削除できません。

OK

- 2 表示されるウィンドウで、名前を入力します。
- 3 **Schedule Task**（スケジュールタスク）ドロップダウンボックスをクリックし、**Monthly**（毎月）を選択します。
- 4 **Schedule Options**（スケジュールオプション）セクションで、**Schedule DB Cleanup monthly on day**（次の日に毎月 DB クリーンアップをスケジュールする）で該当日を選択します。
- 5 **Schedule Options**（スケジュールオプション）セクションの **At**（から）フィールドでスケジュール時間を時間（hrs）と分数（mins）で選択します。

- 特定の月よりも古いデータを削除するには、**Delete items older than** (次の月数が経過したアイテムを削除する) ボックスをクリックし、を選択します。
- Schedule Notes** フィールドで、データベースクリーンアップの注記を入力します。
- OK** をクリックします。

## 瞬時に DB クリーンアップをスケジュールする

データベースクリーンアップを瞬時にスケジュールするには次の手順を実行します。

- ナビゲーションパネルで **Application Settings** (アプリケーション設定) → **DB CleanUp** (DB クリーンアップ) 画面をクリックします。

図 18-2. 瞬時に DB クリーンアップする

データベースのクリーンアップ

名前: \* Cleanup Once

タスクのスケジュール: 1回

今すぐ  後で

スケジュール指定のオプション

次の日時にクリーンアップのスケジュール: 07/30/2012

時刻: 12 時間 00 分

次の日数が経過したアイテムを削除する: 6 月

スケジュールについての注意:

注意:実行状態にあるタスクは削除できません。

OK

- 表示される画面に名前を入力します。

- 3 **Schedule Task**(スケジュールタスク) ドロップダウンボックスをクリックし、**Once**(1度きり)を選択します。2つのオプションが **Schedule Task** (スケジュールタスク) ドロップダウンボックスの下に表示されます。
- 4 **Now** (現在) に対するラジオボタンを選択します。
- 5 特定の月よりも古いデータを削除するには、**Delete items older than** (次の月数が経過したアイテムを削除する) ボックスをクリックし、を選択します。
- 6 **OK** をクリックします。

### あとで1度きりの DB クリーンアップをスケジュールする

特定の日に1度きりのデータベースクリーンアップをスケジュールするには、次の手順を実行します。

- 1 ナビゲーションパネルで **Application Settings** (アプリケーション設定) → **DB CleanUp** (DB クリーンアップ) 画面をクリックします。

図 18-3. あとで1度きりの DB クリーンアップをする

データベースのクリーンアップ

名前: \* Cleanup Later

タスクのスケジュール: 1回

今すぐ  後で

スケジュール指定のオプション

次の日時にクリーンアップのスケジュール: 07/30/2012

時刻: 12 時間 00 分

次の日数が経過したアイテムを削除する: 6 月

スケジュールについての注意:

注意:実行状態にあるタスクは削除できません。

OK

- 2 表示される画面で名前を入力します。
- 3 **Schedule Task**(スケジュールタスク) ドロップダウンボックスをクリックし、**Once** (1度きり) を選択します。2つのオプションが **Schedule Task** (スケジュールタスク) ドロップダウンボックスの下に表示されます。
- 4 **Later** (あとで) に対するラジオボタンを選択します。
- 5 **Schedule Options** (スケジュールオプション) セクションで、**Schedule DB Cleanup on** (DBクリーンアップをスケジュール) ボックスでスケジュール日を選択します。
- 6 **Schedule Options** (スケジュールオプション) セクションの **At** (から) フィールドでスケジュール時間を時間 (hrs) と 分数 (mins) で選択します。
- 7 特定の月よりも古いデータを削除するには、**Delete items older than** (次の月数が経過したアイテムを削除する) ボックスをクリックし、を選択します。
- 8 **Schedule Notes** (注記スケジュール) フィールドで、データベースクリーンアップの注記を入力します。
- 9 **OK** をクリックします。

## データベース バックアップ

OpenManage Printer Manager (OPPM) は、データベースのバックアップを提供します。

データベースのバックアップ機能を使用して、データベースのバックアップを保存することができます。データベースのバックアップは、以下に保存されます。<OPPM のインストール先のディレクトリ >\Dell Printers\OpenManage\OPPMv2.0\server\<jboss-dir>\rdmfconfig\backup フォルダ

データベースのバックアップ エンジンによって、別のディレクトリが以下に作成されます。

<OPPM のインストール先のディレクトリ >\Dell Printers\OpenManage\OPPMv2.0\server\  
<jboss-dir>\rdmfconfig\backup\ devicemanagement\_<Timestamp> フォルダ

 **注意：** backup (バックアップ) フォルダ内の各フォルダは、devicemanagement\_<Timestamp> として名前が指定されます。

 **注意：** サーババックアップ、クライアント DB、静的クライアント DB ファイル、ロケーションマップ、プラグイン、アラートテンプレートフォルダは devicemanagement\_<Timestamp> フォルダの中に保存されています。

## データベースのバックアップ設定のスケジュール

指定したバックアップ プロファイルに対するデータベースのバックアップ設定をスケジュールできます。データベースのバックアップをスケジュールすることにより、データベースのバックアップを OMPM に自動的に保存できます。

### データベースの毎日バックアップ設定のスケジュール

毎日の設定をスケジュールするには、次の手順を実行します：

- 1 ナビゲーションパネルで、**Application Settings**（アプリケーションの設定）→ **DB Backup**（データベースのバックアップ）をクリックします。

図 19-1. 毎日のDB バックアップ

データベースのバックアップ

名前: \* Daily Backup

タスクのスケジュール: 毎日

スケジュール指定のオプション

時刻: 12 時間 00 分

スケジュールについての注意:

注意:実行状態にあるタスクは削除できません。

OK

- 2 表示されるウィンドウで、名前を入力します。
- 3 **Schedule Task**（スケジュールタスク）ドロップダウンボックスをクリックし、（毎日）をクリックします。

- 4 スケジュールオプションセクションの **At** (から) フィールドでスケジュール時間を時間 (hrs) と 分数 (mins) で選択します。
- 5 注記スケジュールフィールドで、データベースバックアップの注記を入力します。
- 6 **OK** をクリックします。

## データベースの毎週バックアップ設定のスケジュール

週単位で設定のスケジュールを行うには、次の手順を実行します：

図 19-2. 毎週 DB バックアップをする

- 1 ナビゲーションパネルで、**Application Settings** (アプリケーションの設定) → **DB Backup** (データベースのバックアップ) をクリックします。
- 2 表示されるウィンドウで、名前を入力します。

- 3 **Schedule Task** (スケジュールタスク) ドロップダウンボックスをクリックし、**Weekly** (毎週) を選択します。
- 4 **Schedule Options** (スケジュールオプション) で **Every** (すべて) のドロップダウンボックス ] をクリックし、週の曜日を選択します。
- 5 **Schedule Options** (スケジュールオプション) で (から) フィールドでスケジュール時間を時間 (hrs) と 分数 (mins) で選択します。
- 6 **Schedule Note** (注記スケジュール) フィールドで、データベースバックアップの注記を入力します。
- 7 **OK** をクリックします。

## データベースの毎月バックアップ設定のスケジュール

月単位で設定のスケジュールを行うには、次の手順を実行します：

図 19-3. 毎月 DB バックアップをする

The screenshot shows a dialog box titled "データベースのバックアップ" (Database Backup). The "名前:" (Name) field contains "Monthly Backup". The "タスクのスケジュール:" (Task Schedule) dropdown is set to "月単位" (Monthly). Under "スケジュール指定のオプション" (Schedule Options), the "データベースのクリーンアップのスケジュール (月単位/日):" (Database Cleanup Schedule (Monthly/Day)) is set to "1", and the "時刻:" (Time) is set to "12" hours and "00" minutes. There is a "スケジュールについての注意:" (Note about Schedule) field which is currently empty. A note at the bottom states "注意:実行状態にあるタスクは削除できません。" (Note: Tasks in execution state cannot be deleted). An "OK" button is located at the bottom right.

- 1 ナビゲーションパネルで、**Application Settings** (アプリケーションの設定) → **DB Backup** (データベースのバックアップ) をクリックします。
- 2 表示されるウィンドウで、名前を入力します。
- 3 **Schedule Task** (タスクのスケジュール) ドロップダウンボックスで、**Monthly** (毎月) を選択します。
- 4 **Schedule Options**(スケジュールオプション) セクションで、[ 次の日に毎月 DB バックアップをスケジュールする ] ボックスで、該当日を選択します。
- 5 **Schedule Options** (スケジュールオプション) で (から) フィールドでスケジュール時間を時間 (hrs) と 分数 (mins) で選択します。
- 6 **Schedule Note**(注記スケジュール) フィールドで、データベースバックアップの注記を入力します。
- 7 **OK** をクリックします。

### DB バックアップスケジュールを瞬時にスケジュールする

バックアップを瞬時にスケジュールするには次の手順を実行します。

- 1 ナビゲーションパネルで、**Application Settings** (アプリケーションの設定) → **DB Backup** (データベースのバックアップ) をクリックします。

図 19-4. 瞬時に DB バックアップする

データベースのバックアップ

名前: \* Backup Now

タスクのスケジュール: 1回

今すぐ  後で

スケジュール指定のオプション

次の日時にバックアップのスケジュール: 07/30/2012

時刻: 00 時間 00 分

スケジュールについての注意:

注意:実行状態にあるタスクは削除できません。

OK

- 2 表示されるウィンドウで、名前を入力します。
- 3 **Schedule Task** (スケジュールタスク) ドロップダウンボックスをクリックし、**Once** (1 度きり) を選択します。2 つのオプションが **Schedule Task** (スケジュールタスク) ドロップダウンボックスの下に表示されます。
- 4 **Now** (現在) に対するラジオボタン] 選択します。
- 5 **OK** をクリックします。

## あとで1度きりの DB クリーンアップ設定をスケジュールする

バックアップを瞬時にスケジュールするには次の手順を実行します。

- 1 ナビゲーションパネルで、**Application Settings** (アプリケーションの設定) → **DB Backup** (データベースのバックアップ) をクリックします。

図 19-5. あとで1度きりのDBバックアップを行う

データベースのバックアップ

名前: \* Backup Later

タスクのスケジュール: 1回

今すぐ  後で

スケジュール指定のオプション

次の日時にバックアップのスケジュール: 07/30/2012

時刻: 12 時間 00 分

スケジュールについての注意:

注意:実行状態にあるタスクは削除できません。

OK

- 2 表示される画面に名前を入力します。
- 3 **Schedule Task** (スケジュールタスク) ドロップダウンボックスをクリックし、**Once** (1度きり) を選択します。2つのオプションが **Schedule Task** (スケジュールタスク) ドロップダウンボックスの下に表示されます。

- 4 **Later** (あとで) に対するラジオボタン] 選択します。
- 5 **Schedule Options** (スケジュールオプション) セクションで、**Schedule Backup on** (次の日にバックアップをスケジュール) ボックスで該当日を選択します。
- 6 **Schedule Options** (スケジュールオプション) で **At** (から) フィールドでスケジュール時間を時間 (hrs) と 分数 (mins) で選択します。
- 7 **Schedule Note** (注記スケジュール) フィールドで、データベースバックアップの注記を入力します。
- 8 **OK** をクリックします。

## データベースのバックアップの復元

データベースのバックアップデータを復元するには、次の手順を実行します：

- 1 すべての OMPM UI ウィンドウを閉じます。
- 2 OMPM のバックアップフォルダをローカルコンピュータに作成します。  
 **注意：** デフォルトでは、OMPM はバックアップファイルを以下に作成します。  
<OMPM のインストール先のディレクトリ >%Dell PrintersOpenManage\OMPMv2.0\server\- 3 コマンドプロンプト ウィンドウを開き、ディレクトリを以下に変更します。<OMPM のインストール先のディレクトリ >\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server
- 4 次の構文でバッチを実行します :Restore.bat <バックアップフォルダのパス >。  
例 :Restore.bat "C:\Program Files\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server\ **注意：** リストアスクリプトは OMPM サービスを開始/停止し、実行するには数分かかります。  
 **注意：** DB バックアップは別の OMPM インストールに保存することができるアラート設定、スケジュール、テンプレートとプラグインのバックアップもとります。該当するマシンの既存のアラート設定、スケジュール、テンプレート、プラグイン はバックアップデータ により上書きされます。

## プラグインの管理

プラグイン機能は OPM 追加の機能と能力を追加することができます。プラグイン機能を使用して OpenManage Printer Manager (OPM) からプラグインの追加と削除を行うことができます。



**注意：** 管理者特権を持つ OPM ユーザーのみがプラグインの追加と削除を行うことが可能です。

## プラグインの追加

プラグインを追加するには次の手順を実行します。

- 1 ナビゲーションパネルから **Home** (ホーム) → **Application Settings** (アプリケーション設定) → **Manage Plugins** (プラグインの管理) をクリックします。

図 20-1. プラグインの管理



- 2 表示される画面で **Select Plugin** (プラグイン選択) フィールドで **Upload..** (アップロード) をクリックして '.zip' 拡張子のプラグインをブラウザしてアップロードします。プラグインのアップロード時にプラグイン名が **Select Plugin** (プラグインの選択) フィールドに表示されます。

 **注意:** '.zip' ファイルはパスワード保護または暗号化する必要があります。

- 3 **Add Plugin** (プラグインの追加) をクリックして OPM へ選択したプラグインを追加します。プラグインの詳細には **プラグイン** リストに表示された名前、バージョン、インストール日が含まれています。

## プラグインの削除

プラグインを削除するには次の手順を実行します。

- 1 ナビゲーションパネルから **Home** (ホーム) → **Application Settings** (アプリケーション設定) → **Manage Plugins** (プラグインの管理) をクリックします。
- 2 表示される画面で**プラグイン**リストから削除したいプラグインを特定します。
- 3 削除するプラグインに該当する  アイコンをクリックします。プラグインの詳細は OMPM から削除されます。



**注意：** プラグインの管理の詳細はよくある質問のプラグインの管理を参照してください。



## トラブルシューティング

エラーコードは、アプリケーションで問題が発生する可能性のあるイベントに対する応答です。エラーコードは、アプリケーションで発生したエラーに関する情報を提供します。イベントの重要度および、アプリケーションへの影響によって、エラーコードは重大なエラーと警告に分類されます。

本セクションでは、OpenManage Printer Manager (OPPM) で生成されたエラーコードとともに重要度が一覧表示されます。

-  **注意：**OPPM の URL をブラウザで開くと、OPPM のログイン画面は表示されません。代わりに、Flash コンポーネントのダウンロードをブラウザによって要求されます。Adobe のサイトから、最新版のブラウザ用 Flash プラグインをダウンロードしてください。
-  **注意：**検出処理中は、プリンタは検出されません。これは、プリンタの応答の遅延またはネットワーク待ち時間により OPPM で発生するタイムアウトが原因です。検出中のタイムアウト値は、HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Dell\OPPMv2\Config の下にあるレジストリキー DiscTimeoutInSecs の値を増やすことにより設定されます。この値は、デフォルトでは、10 秒に設定されます。値が増えると、要求の送信後に OPPM の応答の最大待ち時間が長くなるため、検出処理の速度が遅くなる場合があります。
-  **注意：**OPPM を新しいバージョンにアップグレードした後に、OPPM ユーザーインターフェースに公開済みの変更が見つからない場合、ブラウザのキャッシュをクリアにしてから、もう一度 OPPM の URL にアクセスしてください。
-  **注意：**「サーバーに接続できません。しばらくしてから再試行して下さい」のエラーメッセージが表示された場合、ブラウザのキャッシュをフラッシュして下さい。IE ブラウザを使用している場合は次の設定を行って下さい：
  - a [ツール] を選択 → [インターネットオプション]。
  - b 表示された [インターネットオプション] ウィンドウの [閲覧の履歴] セクションで、[設定] をクリック。
  - c 表示されたテンポラリーインターネットファイルと履歴設定ウィンドウの、[保存されたページの最新版] セクションで、「ウェブページを表示するたびに」を選択し [OK] をクリック。
  - d ブラウザを再起動し、OPPM を立ち上げます。

その他の OPPM がサポートするブラウザを使用している場合は、ブラウザ設定に同様の変更を行って下さい。



注意： OMPM に Windows 2012 R2 オペレーティング システムの Internet Explorer でアクセスする際、 OMPM にログインできない場合は、 Internet Explorer の「ツール」にある「互換表示設定」オプションで OMPM の Web サイトの URL を追加してください。システムを再起動する度にこの設定を追加する必要がある場合があります。

## エラーコードの一覧

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1001	サーバーを起動できません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <code> &lt;OMPM Install directory&gt;%Dell Printers%OpenManage%OMPv2.0%server</code> に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。
1002	クライアントを起動できません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <code>&lt;OMPM Install directory&gt;%Dell Printers%OpenManage%OMPv2.0%server</code> に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。
1003	OMPM クライアントはサーバーに接続できません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <code>&lt;OMPM Install directory&gt;%Dell Printers%OpenManage%OMPv2.0%server</code> に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。
1004	サーバーはデータベースに接続できません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <code>&lt;OMPM Install directory&gt;%Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0%server</code> に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1005	30 分間クライアントからのメッセージはありません。	重大なエラー	OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0¥server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
1006	サーバーに接続できません。しばらくしてから再試行してください。	重大なエラー	ブラウザで、OMPМ サーバーの場合にプロキシを迂回します。OMPМ サーバーの IP アドレスを、ブラウザで提供されているプロキシの例外ボックスに入力し、プロキシサーバーを迂回できます。ポータルにアクセスし、問題が解決されたかどうかを確認してください。問題が解消しない場合は、OMPМ サービスを停止して開始し、2～3 分後にポータルに再アクセスしてください。
1007	クライアントはデータベースに接続できません。	重大なエラー	<OMPМ Install directory>¥Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0¥client フォルダで、クライアントデータベースと libsqlite3-0.dll を確認してください。ファイルが使用できない場合は、OMPМ ソフトウェアを再インストールします。
1008	クライアントがローカルリポジトリ内のプリンタのテンプレートから、情報を取得できません。	重大なエラー	テンプレートウィジェットを使用して、プリンタのテンプレートを登録します。新しいテンプレートの登録 (新しいテンプレートの登録) を参照してください。
1009	ローカルリポジトリからプリンタ情報を取得できません。	重大なエラー	OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>¥Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0¥server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1010	ローカルリポジトリからアプリケーションの構成を取得できません。	重大なエラー	OMP がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMP サービスを再開するには、フォルダ <OMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
1011	プリンタ情報をローカルリポジトリに保存できません。	重大なエラー	OMP がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMP サービスを再開するには、フォルダ <OMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
1012	アプリケーションの構成をローカルリポジトリに保存できません。	重大なエラー	OMP がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMP サービスを再開するには、フォルダ <OMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
1013	クライアントへコマンドを発行できません。	重大なエラー	OMP がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMP サービスを再開するには、フォルダ <OMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
2001	SNMP バージョン <X> の SNMP (検出中) を使用して、プリンタ <IP> に接続できません。	警告	プリンタの組み込み Web サーバー (EWS) を使用してプリンタの SNMP バージョンを確認し、バージョン番号を確認してください。プリンタの読み取りコミュニティ名が public であることを確認してください。SNMP ポートを 161 に設定します。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2002	<IP> プリンタでステータスポーリングを開始できませんでした。プリンタがオフラインになっている、または利用できません。	警告	プリンタの組み込み Web サーバー (EWS) を使用してプリンタの SNMP バージョンを確認し、バージョン番号を確認してください。プリンタの読み取りコミュニティ名が public であることを確認してください。SNMP ポートを 161 に設定します。
2003	SNMP を使用して、パラメータをプリンタ <IP> から取得できません。	警告	プリンタの組み込み Web サーバー (EWS) を使用してプリンタの SNMP バージョンを確認し、バージョン番号を確認してください。プリンタの読み取りコミュニティ名が public であることを確認してください。SNMP ポートを 161 に設定します。
2004	Web ページをプリンタ <IP> から取得できません。	警告	ブラウザで同じページにアクセスできるかどうかを確認してください。ページを表示できる場合は、プリンタと OMPM サービスを再起動します。
2005	Web 要求を使用して、パラメータ <Y> をプリンタ <IP> から取得できません。	警告	プリンタの組み込み Web サーバーのユーザー名とパスワードが、 <b>Connections</b> (接続) ウィジェットに正しく設定されていることを確認してください。
2006	プリンタ <IP> の SNMP を使用して、<X> の値をパラメータ <X> に設定できません。	警告	プリンタの SNMP 書き込みアクセス権を確認してください。SNMP ポートが有効で、161 に設定されているかどうかを確認してください。SNMP 書き込みコミュニティが、OMPM の <b>Connections</b> (接続) ウィジェットと同じ設定になっていることを確認してください。
2007	プリンタ <IP> の Web 要求を使用して、<X> の値をパラメータ <X> に設定できません。	警告	プリンタの組み込み Web サーバーのユーザー名とパスワードが、 <b>Connections</b> (接続) ウィジェットに正しく設定されていることを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2008	ウィジェットのロード中にエラーが発生しました。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
1014	別の (リモート) コンピュータからログインできません。これは、ポート 8080 が、OMPM をホストしているコンピュータから公開されていないことが原因です。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、ファイアウォールまたは開いているポート 8080 を無効にし、他のコンピュータからアクセスします。コンピュータ名がローカルネットワーク内で一意であることを確認してください。
3001	将来の時刻を選択してください。	情報	将来の時刻を確認し、スケジュール時刻を変更します。
2009	設定を更新することができませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
2010	ローカルリポジトリからプリンタ情報を取得できませんでした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2011	プリンタの詳細情報を同期できませんでした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPMP がインストールされているコンピュータで OMPMP サービスを停止して開始します。OMPMP サービスを再開するには、フォルダ <OMPMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
2012	更新済みのプリンタの詳細情報を適用できませんでした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPMP がインストールされているコンピュータで OMPMP サービスを停止して開始します。OMPMP サービスを再開するには、フォルダ <OMPMP Install directory>\Dell Printers\OpenManag\OMPMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
2013	グループを追加できませんでした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPMP がインストールされているコンピュータで OMPMP サービスを停止して開始します。OMPMP サービスを再開するには、フォルダ <OMPMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。
2014	グループを編集できませんでした。	警告	ウィジェットを更新し、グループが別のユーザーによって既に削除されているかどうかを確認します。
2015	グループを削除することができませんでした。	警告	ウィジェットを更新し、グループが別のユーザーによって既に削除されているかどうかを確認します。
2016	プリンタをグループに追加できませんでした。	警告	ウィジェットを更新し、ドラッグしたプリンタが既にグループに属しているかどうかを確認します。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2017	ローカルリポジトリからグループ情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2018	同じ名前のグループが既に存在します。	警告	名前を変更してやり直してください。
2019	レポートを作成/生成できませんでした。	警告	ウィジェットを更新し、同じ名前のカスタムレポートが既に存在しているかどうかを確認します。
2020	レポートを更新できませんでした。	警告	ウィジェットを更新し、カスタムレポートが別のユーザーによって既に削除されているかどうかを確認します。
2021	レポートを生成できませんでした。	警告	ウィジェットを更新し、カスタムレポートが別のユーザーによって既に削除されているかどうかを確認します。
	<b>注意：Generate Report</b> (レポートの生成) オプションを選択したときにブラウザがクラッシュする場合は、ブラウザのポップアップを許可します。		
2022	ローカルリポジトリからグループ情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2023	同じ名前のレポートが既に存在します。	警告	名前を変更してやり直してください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2024	ファイルをダウンロードできませんでした。	警告	もう一度やり直してください。
2025	検出をスケジュールすることができませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2026	検出を開始できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2027	検出は既に実行中です。しばらくしてから再試行してください。	警告	一度に 1 つの検出しか実行できません。スケジュールオプションを使用して、後で検出を実行してください。
2028	対応するファイル <X> が見つからないため、テンプレートを登録できません。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータの <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server\<jboss-dir>\rdmfconfig\template で、ユーザーグループに書き込みのためのアクセス許可があるかどうかを確認してください。アクセス許可を提供し、登録を再試行してください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2029	必要なツール <X>が見つからないため、テンプレートを登録できません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、<OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\client フォルダに、 <b>templateregistration.exe</b> という名前のツールがあるかどうかを確認してください。問題が解消しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください。
2030	テンプレートをアップロードできませんでした。	警告	ブラウザで、OMPM サーバーの場合にプロキシを迂回します。OMPM サーバーの IP アドレスを、ブラウザで提供されているプロキシの例外ボックスに入力し、プロキシサーバーを迂回できます。ポータルにアクセスし、問題が解決されたかどうかを確認してください。問題が解消しない場合は、OMPM サービスを停止して開始し、2～3分後にポータルに再アクセスしてください。アップロードしたファイルのサイズが IT ポリシーを超えているかどうかを確認してください。制限を超えている場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
2031	テンプレートの更新ができませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
1015	テンプレートの登録ができませんでした。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2032	SNMP および EWS の設定を更新できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2033	ローカルリポジトリからグループ情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2034	設定の更新ができませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
1016	<Path> には、ファームウェアのアップグレードを実行するための既定のツールが見つかりません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、<OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\tools フォルダが空かどうかを確認してください。tools (ツール) フォルダが空の場合、このフォルダのウイルス検索プログラムに例外を追加し、必要に応じてソフトウェアを再インストールします。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1017	<Path> には、ファームウェアのアップグレードを実行するためのツール <X> が 見つかりません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、プリンタのベンダから提供されているカスタムファームウェアアップグレードツールを <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\tools フォルダにコピーし、再試行してください。
2035	<Path> には、ファームウェアのアップグレードを実行するためのファームウェアファイル <X> が 見つかりません。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで、<OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server\<jboss-dir>\rdmfconfig\firmware フォルダに、ユーザーグループアカウントへの書き込みのためのアクセス許可があるかどうかを確認してください。問題が解消しない場合は、アクセス許可を提供します。
2036	プリンタが準備完了の状態になっていないため、<IP> のファームウェアをアップグレードできません。	警告	プリンタのエラーを修正して再試行してください。nc コマンドを使用している場合、プリンタの組み込み Web サーバーで、LPD ポートが 9100 に設定されているかどうかを確認してください。
2037	ファームウェアのアップグレードをスケジュールできませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3 分後にポータルに再アクセスしてください。
2038	ファームウェアツールを追加 できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3 分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2039	ローカルリポジトリからグループ情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPmv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2040	ローカルリポジトリからテンプレート情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPmv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2041	ローカルリポジトリからプリンタ情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPmv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
1018	アップグレードツールが見つかりませんでした。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、<OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPmv2.0\tools フォルダが空かどうかを確認してください。tools (ツール) フォルダが空の場合、このフォルダのウイルス検索プログラムに例外を追加し、必要に応じてソフトウェアを再インストールします。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1019	ファームウェアのアップグレードファイルをアップロードできませんでした。	重大なエラー	ブラウザで、OMPМ サーバーの場合にプロキシを迂回します。OMPМ サーバーの IP アドレスを、ブラウザで提供されているプロキシの例外ボックスに入力し、プロキシサーバーを迂回できます。ポータルにアクセスし、問題が解決されたかどうかを確認してください。問題が解消しない場合は、OMPМ サービスを停止して開始し、2～3分後にポータルに再アクセスしてください。アップロードしたファイルのサイズが IT ポリシーを超えているかどうかを確認してください。制限を超えている場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
3002	ファームウェアツールを追加するボタンを使用して、既存のファームウェアツールをこのプリンタモデルに 関連付けます。	情報	なし
2042	ファームウェアツールを更新できませんでした。	警告	OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
3003	同じモデルに 2 つのファームウェアを関連付けることはできません。	情報	このモデルのエントリを更新してください。
2043	電子メールアラート <X> をプリンタ <IP> に送信できません。	警告	サーバーを ping し、SMTP サーバーにアクセスできるかどうかを確認してください。ウイルス検索プログラムでアクセス保護が有効になっているかどうかを確認してください。問題が解消しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2044	アラート設定を追加 できませんでした。	警告	OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2045	アラート設定を更新 できませんでした。	警告	ウィジェットを更新して再試行してください。問題が解消しない場合は、OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2046	アラートの構成を削 除 できませんでした。	警告	ウィジェットを更新して再試行してください。問題が解消しない場合は、OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2047	SMTP 設定を更新 できませんでした。	警告	OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2048	ローカルリポジトリから SMTP の構成を取得 できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3 分後にポータルに再アクセスしてください。
1020	ローカルトラップハンドラサービスを実行 できません。	重大なエラー	ウィンドウ SNMP Trap service (トラップサービス) を無効にしてから、Net-SNMP trap handler (トラップハンドラ) を開始します。これらのサービスは、サービスコントロールパネルにあります。コマンド プロンプトで「services.msc」と入力してこれらにアクセスできます。
1021	SMTP 認証に失敗し ました。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3 分後にポータルに再アクセスしてください。
2049	ローカルリポジトリからユーザー情報を取得 できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3 分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2050	ローカルリポジトリからユーザー情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2051	同じ名前の警告が既に存在します。名前を変更してやり直してください。	警告	
2052	SNMP トラップからアラートを受信できません。	警告	OMPM サーバーが実行されているコンピュータで、ファイアウォールを無効にするか、UDP ポート 162 の例外を追加します。
2053	構成設定を適用できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2054	ローカルリポジトリからグループ情報を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2055	設定の更新ができませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2056	ローカルリポジトリからアプリケーションの構成を取得できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2057	検出のスケジュールを更新できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2058	ファームウェアのアップグレードスケジュールを更新できませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2059	データベースのク リーンアップのスケ ジュールを更新でき ませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2060	データベースのバック アップのスケ ジュールを更新でき ませんでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2061	定期タスクを削除で きませんでした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2062	ローカルリポジトリ からスケジュール情 報を取得できません でした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2063	ログファイルを保存 できません でした。	警告	<p>コンピュータに十分な領域があるか、また、ユーザーグループにフォルダへの書き込みのためのアクセス許可があるかどうかを確認してください。問題が解消しない場合は、OMP がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMP サービスを再開するには、フォルダ &lt;OMP Install directory&gt;\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。</p> <p><b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、<b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。</p>
2064	ユーザーを追加でき ませんでした。	警告	<p>OMP がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMP サービスを再開するには、フォルダ &lt;OMP Install directory&gt;\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。</p> <p><b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、<b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。</p>
2065	ユーザーの詳細情報を 更新できませんで した。	警告	<p>ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMP がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMP サービスを再開するには、フォルダ &lt;OMP Install directory&gt;\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。</p> <p><b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、<b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。</p>

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2066	ユーザーを削除できませんでした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPMP がインストールされているコンピュータで OMPMP サービスを停止して開始します。OMPMP サービスを再開するには、フォルダ <OMPMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMPv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2067	ユーザーのパスワードをリセットできませんでした。	警告	ウィジェットを更新します。問題が解消しない場合は、OMPMP がインストールされているコンピュータで OMPMP サービスを停止して開始します。OMPMP サービスを再開するには、フォルダ <OMPMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMPv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2068	自分のアカウントを削除することはできません。	警告	なし
2069	ローカルリポジトリからユーザー情報を取得できませんでした。	警告	OMPMP がインストールされているコンピュータで OMPMP サービスを停止して開始します。OMPMP サービスを再開するには、フォルダ <OMPMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMPv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2070	同じユーザー名のユーザーが既に存在します。ログイン名を変更してやり直してください。	警告	
248			トラブルシューティング

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2071	データベースのク リーンアップを実行 できません。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2072	データベースのク リーンアップをスケ ジュール できませ んでした。	警告	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
1022	データベースのバック アップを実行 でき ません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
1023	データベースのバック アップをスケ ジュール できませ んでした。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで OMPM サービスを停止して開始します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1024	ライセンスを適用できませんでした。	重大なエラー	OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。
2073	入力されたライセンスキーは無効です。やり直してください。	警告	なし
2074	OMPМ のライセンスの期限が切れています。無料ライセンスキーを取得するには、<xxxxx> を参照してください。3～5日以内にライセンスキーが届きます。	警告	なし
2075	この体験版の評価期間はあと X 日間です。無料ライセンスキーを取得するには、<xxxxx> を参照してください。3～5日以内にライセンスキーが届きます。	警告	なし
2076	ユーザー設定を保存できませんでした。	警告	OMPМ がインストールされているコンピュータで OMPМ サービスを停止して開始します。OMPМ サービスを再開するには、フォルダ <OMPМ Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPМv2.0\server に移動します。RestartServices.bat を右クリックし、Run as administrator (管理者として実行) を選択します。2～3分後にポータルに再アクセスしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
2077	ユーザーのログインに失敗しました。	警告	入力したユーザー名とパスワードが正しいかどうか確認してください。OMPM が実行されているコンピュータで引き続き問題が発生する場合は、PostgreSQL サービスがサービスコントロールパネルで実行されているかどうか確認してください。実行されていない場合は、スタートメニューの下にある停止／開始ショートカットを使用して、OMPM サービスを再開します。
1025	VC++ 2008 の前提条件をインストールできません。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1026	PostgreSQL の前提条件をインストールできません。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1027	Java ランタイムの前提条件をインストールできません。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1028	JBoss サービスの登録を解除できません。	重大なエラー	サービスコントロールパネルで、Jboss サービスが現在実行中かどうか確認してください。
1029	クライアントを設定できませんでした。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1030	JBoss サービスをインストールできません。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1031	JBoss サービスを開始できません。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1032	このソフトウェアをインストールするには、管理者権限を持つアカウントでログインしている必要があります。	重大なエラー	

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1033	選択したポートは他のアプリケーションで使用されていません。他のポートを選択してください。	重大なエラー	<b>netstat</b> コマンドを使用して、選択したポートが他のアプリケーションで使用されているかどうか確認してください。対応するアプリケーション/ポートを使用しているサービスを終了し、ポートが空いていることを確認してください。
1034	OMPM サービスを削除できません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、OMPM UI のインスタンスをすべて終了し、OMPM サービスを停止します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。アンインストールを続行します。
1035	トラップサービスを削除できません。	重大なエラー	サービスコントロールパネルで、 <b>Net-SNMP trap service</b> (トラップサービス) が現在実行中かどうか確認してください。実行中の場合は、サービスを停止します。
1036	OMPM データベースを削除できません。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、OMPM UI のインスタンスをすべて終了し、OMPM サービスを停止します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。アンインストールを続行します。
1037	トラップサービスを登録できません。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストールしてください。
1038	OMPM データベースを作成できません。	重大なエラー	サービスコントロールパネルで、PostgreSQL サービスが開始され、実行中であることを確認してください。そうでない場合は、サービスを開始します。問題が解消しない場合は、現在インストールされている PostgreSQL を削除し、再インストールしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1039	JBoss サービスを開始できません。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1040	このパスワードを使用して、データベースに接続できませんでした。インストールを完了するには、正しいパスワードを入力してください。	重大なエラー	
1041	ポート xxxx は他のアプリケーションで使用されています。ポートを他のアプリケーションが使用していないことを確認してください。インストールは中止されます。	重大なエラー	<b>netstat</b> コマンドを使用して <b>xxxx</b> ポートが他のアプリケーションで使用されているかどうか確認してください。対応するアプリケーション / ポートを使用しているサービスを終了し、ポートが空いていることを確認してください。
1042	PostgreSQL データベースが正しくインストールされていません。PostgreSQL サービスがシステムに登録されていません。PostgreSQL を再インストールして、OMPM をインストールしてください。	重大なエラー	PostgreSQL の以前のインスタンスが完全に削除されているかどうか確認してください。PostgreSQL をアンインストールした後で、PostgreSQL のユーザーとデータフォルダを削除して、PostgreSQL を再インストールしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1043	PostgreSQL サービスは実行されていません。インストールを続行する前に、PostgreSQL サービスを開始してください。PostgreSQL サービスを開始した後で [はい] をクリックしてください。インストールを取り消すには、[いいえ] をクリックしてください。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータのサービスコントロールパネルで、PostgreSQL サービスが開始され、実行中であることを確認してください。PostgreSQL サービスを開始して再試行してください。PostgreSQL 関連のエラーの <b>Application Event</b> (アプリケーションイベント) ログを確認し、それに従って対処してください。
1044	OMPM はデータベースへの接続に失敗しました。PostgreSQL サーバーが起動され、動作中であるかどうかを確認してください。インストールを続行するには、[はい] をクリックしてください。中止するには、[いいえ] をクリックしてください。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータのサービスコントロールパネルで、PostgreSQL サービスが開始され、実行中であることを確認してください。PostgreSQL サービスを開始して再試行してください。

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1045	OMPM をアンインストールしても、データベースを削除できませんでした。データベースは使用中です。OMPM UI のインスタンスをすべて終了してください。データベースの削除を再試行するには、[はい] をクリックしてください。アンインストールを続行するには、[いいえ] をクリックしてください。	重大なエラー	OMPM がインストールされているコンピュータで、OMPM UI のインスタンスをすべて終了し、OMPM サービスを停止します。OMPM サービスを再開するには、フォルダ <OMPM Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPMv2.0\server に移動します。 <b>RestartServices.bat</b> を右クリックし、 <b>Run as administrator</b> (管理者として実行) を選択します。アンインストールを 続行します。
1046	JBoss サービスが正しくインストールされていません。JBoss サービスがシステムに登録されていません。再試行するには、[はい] をクリックしてください。インストールの続きを行うには、[いいえ] をクリックしてください。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。
1047	JBoss サービスは実行されていません。サービスを開始し直すには、[はい] をクリックしてください。インストールの続きを行うには、[いいえ] をクリックしてください。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストール してください。

---

エラーコード	エラーメッセージ	重要度	解決策
1048	OMPM サービスは実行されていません。サービスを開始し直すには、[はい]をクリックしてください。インストールの続きを行うには、[いいえ]をクリックしてください。	重大なエラー	ソフトウェアをいったんアンインストールし、再インストールしてください。

---

## よくある質問

この章は OMPM を使用する際にユーザーが直面する問題や懸念の 解決策について記載しています。

FAQ はコンテキストにより構成されています。例えば、アラートに関する FAQ を参照するには、アラートの章までスクロールダウンします。

## アラートテンプレート

1 「私は新しいテンプレートを追加したのですが OMPM 上にテンプレートが表示されません。」

**回答：**問題を修正するには次の手順を実行します。

- a テンプレートが次のフォルダにあるかどうかを確認します <OMP Install directory\ Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0 alert\_templates>
- b テンプレートファイルが .txt 拡張子で保存されているかどうかを確認します。
- c OMPM が作動している場合、アラート画面を更新し、アラート設定を追加／更新します。

2 「'alert\_templates' フォルダで既存のテンプレートを編集しましたが、OMPM 上でテンプレートの変更が反映されていません。」

**回答：**問題を修正するには次の手順を実行します。

- a OMPM が作動している場合、アラート画面を更新し、アラート設定を追加／更新します。
- b テンプレートを 'alert\_templates' フォルダからデスクトップにコピーし、テンプレートを編集・保存してから既存のテンプレートを 'alert\_templates' フォルダに上書きします。

3 「既存のテンプレートを編集してシステム E メールアドレスを変更したのですが OMPM 上にテンプレートが表示されません。」

**回答：**問題を修正するには次の手順を実行します。

- a システム E メールアドレスが特定のアラート設定で変更・保存された場合、保存された値が表示されます。
- b 早期のアラート設定を削除し、アラート画面を更新してから新しいアラート設定を追加して更新されたシステム E メールアドレスを使用します。

- 4 「既存のテンプレートを意図せずに別のフォルダから削除し、そのテンプレートを使用するアラート設定があります。」

**回答：**問題を修正するには次の手順を実行します。

- a 以降のメールアラートは送信されません。
- b 新しいアラートはそのテンプレートで設定することができません。
- c 削除されたテンプレートフォーマットを回収することができません。
- d そのテンプレートに関連する既存の設定を削除し、同じテンプレートを作成して OPM 追加します。

- 5 「OPM サポート言語ストリングをテンプレートに追加したのですが、ストリングはボックスや暗号データのように表示されるか OPM には表示されません。」

**回答：**問題を修正するには次の手順を実行します。

- a テンプレートの作成または編集時にそれが UTF-8 エンコードで保存されていることを確認してください。
- b システム上に適切な言語パックがインストールされていることを確認してください。

- 6 「OPM をアップグレードしましたが 最新のアラート画面が表示されません。」

**回答：**問題を修正するには次の手順を実行します。

- a ブラウザのキャッシュをクリアし、ブラウザを閉じてから OPM を起動します。
- b 次のフォルダがあるかどうかを確認します。 `<OPM Install directory>DellPrinters/OpenManage/OPMv2.0\alert_template`
  - ・ もしこのフォルダがある場合はマシンを再起動します。
  - ・ もしこのフォルダがない場合はアップグレードはできませんでした。
- c OPM のアンインストールと再インストールを行います。

- 7 「既存の変数に新規または編集を作成し それに値を関連づけたいのです。」

**回答：**OPM はこの機能がありません。事前に定義した変数のみ 使用することができます。

8 「事前定義変数を使用しましたが、値が表示されないか、別の値がメールに表示されます。」

**回答：**これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ 使用された変数は事前定義 OMPM 変数と正確に一致しない
- ・ 変数は意図されたコンテキストで使用されていない
- ・ そのパラメータには値がない

9 「アラートを設定しましたが、メールを受け取っていません。」

**回答：**これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ テンプレートが次のフォルダに存在しません <OMPMP Install directory>\Dell Printers\OpenManage\OMPv2.0\alert\_templates>
- ・ SMTP 構成設定が設定されていないか保存されていない
- ・ SMTP 設定が間違っている
- ・ 組織ポリシーがサードパーティツールからメールを送信することを許可していない
- ・ 企業ポリシーに基づいて、メールはキューされ、スキャンされることがあります
- ・ システムメール ID はお使いの Mail Exchange のスパムリストに記載されることがあります
- ・ メール管理者に問い合わせる

10 「アラートトラブルチケットテンプレートを使用したか、システムの自動作成メールの既定義の変数と異なるか、または値がない。」

**回答：**これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ 選択されたアラートタイプが、そのトラブルチケットアラートテンプレートとマッチしていません。
- ・ 意図した内容には、変数が使用されていません。
- ・ そのパラメータには、値が含まれていません。

## プラグインの管理

- 1 「プラグインを追加すると、OMPM は、「ファイルを開凍することができない」というエラーが表示されます。」

**回答：**これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ Zip ファイルの拡張子が '.zip' ではない。
- ・ Zip ファイルが既定の windows zip ユーティリティまたは WinZip を使用していない。
- ・ Zip ファイルはパスワード保護または暗号化されている。
- ・ Zip ファイルが破損している。
- ・ ファイルは通常の拡張子で圧縮されていません。

- 2 「プラグインを追加すると、OMPM は「プラグインフォルダが既に存在しています」というエラーを表示します。」

**回答：**これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ 作成された zip ファイルは以前 OMPM で起動された別の プラグインフォルダの名前に一致する。

- 3 「プラグインを追加すると、OMPM は、「無効な XML 設定ファイル」というエラーが表示されます。」

**回答：**これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ XML ファイルは OMPM プラグインスキーマに一致しない
- ・ XML シンタックス/フォーマット、タグの欠落
- ・ XML ファイルが破損している

- 4 「プラグインを追加すると、OMPM は、「ファイルを見つけることができません」エラーが表示されます。」

**回答：**これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ ファイルパスはプラグイン設定のプラグインディレクトリと 関連しない
- ・ ユーザープラグインフォルダの欠落
- ・ ユーザープラグインディレクトリのフォルダの欠落
- ・ XML 設定ファイルのパスエントリーの欠落

5 「私は OMPM にプラグインを追加しましたが表示されません。」

回答：これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ プラグイン設定ファイルのメニューロケーションファイルが OMPM ナビゲーションメニュータイトルに一致しない
- ・ そのプラグインを表示する許可がない

6 「プラグイン設定ファイルのメニュータイトル & ロケーションで OMPM サポート言語ストリングを追加しましたが OMPM で表示することができません。」

回答：これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ プラグイン設定ファイルに UTF-8 XML ヘッダーがない
- ・ プラグイン設定ファイルが UTF-8 エンコードで保存されていない
- ・ 適切な言語パックがマシンにインストールされていない

7 「私のプラグインには OMPM サポート言語ストリングがありますが、OMPM がそれらを 起動しません。」

回答：これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ プラグインは自身のリソースバンドルに起動する必要がある
- ・ プラグインは OMPM 言語 ID をフェッチすることができなかった
- ・ 適切な言語パックがマシンにインストールされていない

8 「OMPM をアップグレードしましたが、**プラグインの管理** 画面が表示されません。」

回答：これは次の理由が原因として考えられます。

- ・ ブラウザのキャッシュをクリアしなければなりません。ブラウザを閉じてから OMPM を作動します
- ・ あなたは OMPM の管理者ではありません
- ・ OMPM のアンインストールと再インストールを行います

## Single Sign-on (SSO)

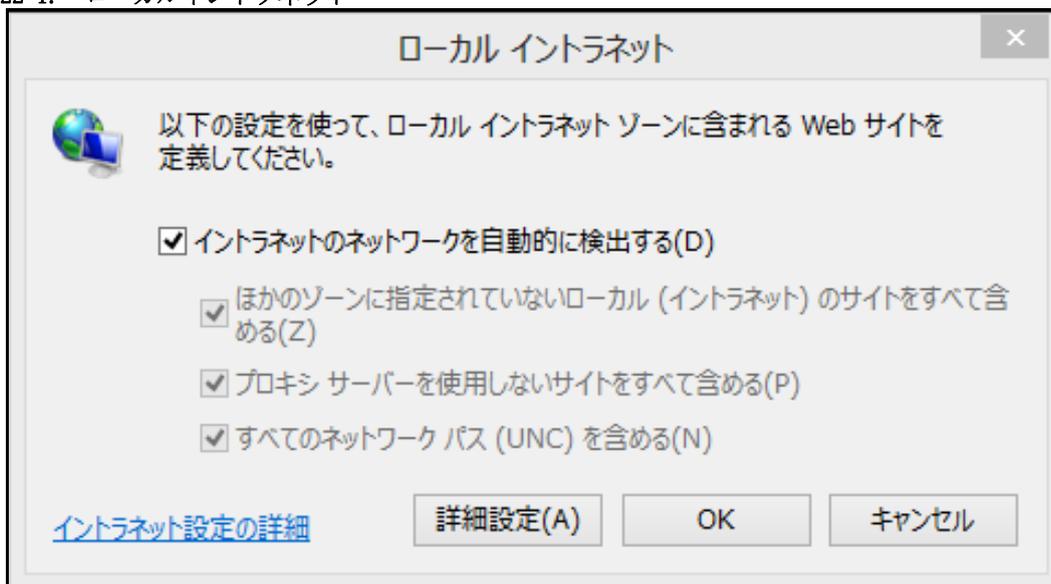
- 1 ウェブブラウザで Single Sign-on, をサポートするように設定するにはどうすれば良いですか？

回答：すべてのウェブブラウザが Single Sign-on. をサポートしている訳ではありません。IE 6 以降、Chrome および Mozilla Firefox がサポートしています。推奨しているブラウザのバージョンは、IE8 以降、Chrome v29 および Mozilla Firefox v21 です。推奨ブラウザの対応バージョンでは、次の手順に従って設定を行います。

### IE の構成

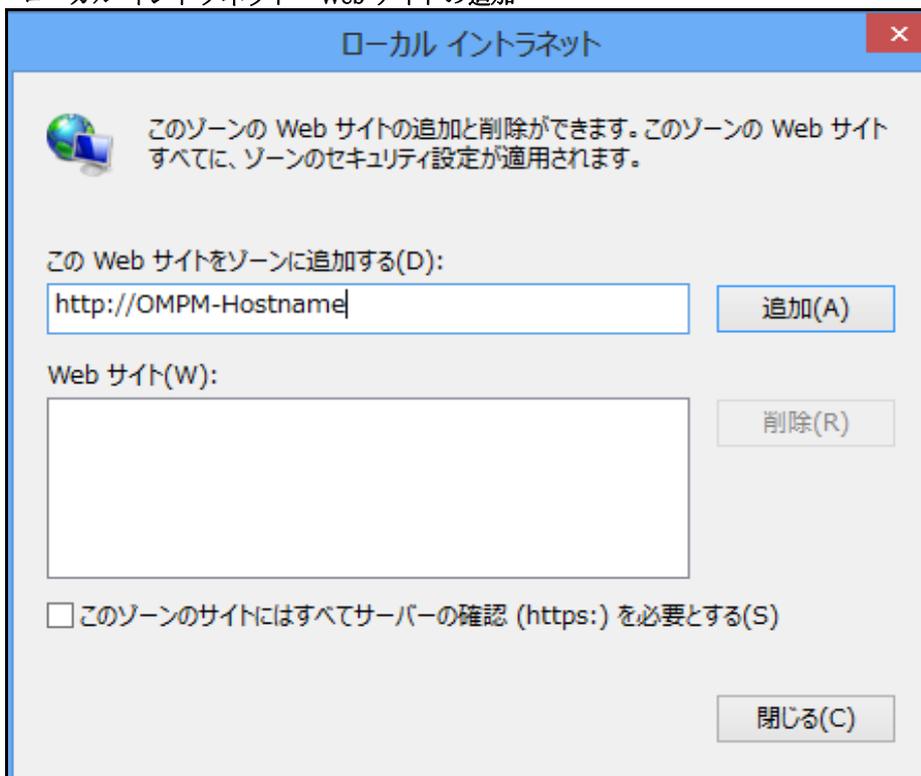
- a IE を起動します。
- b ツール??インターネットオプション を選択してインターネットオプションを開きます。
- c セキュリティ タブを選択し、→ローカルイントラネット を選択して サイト ボタンをクリックします。

図 22-1. ローカルイントラネット



- d **詳細設定** ボタンをクリックして、以下の図に示す OPM の Web サイトの URL を入力してから、追加 ボタンをクリックします。

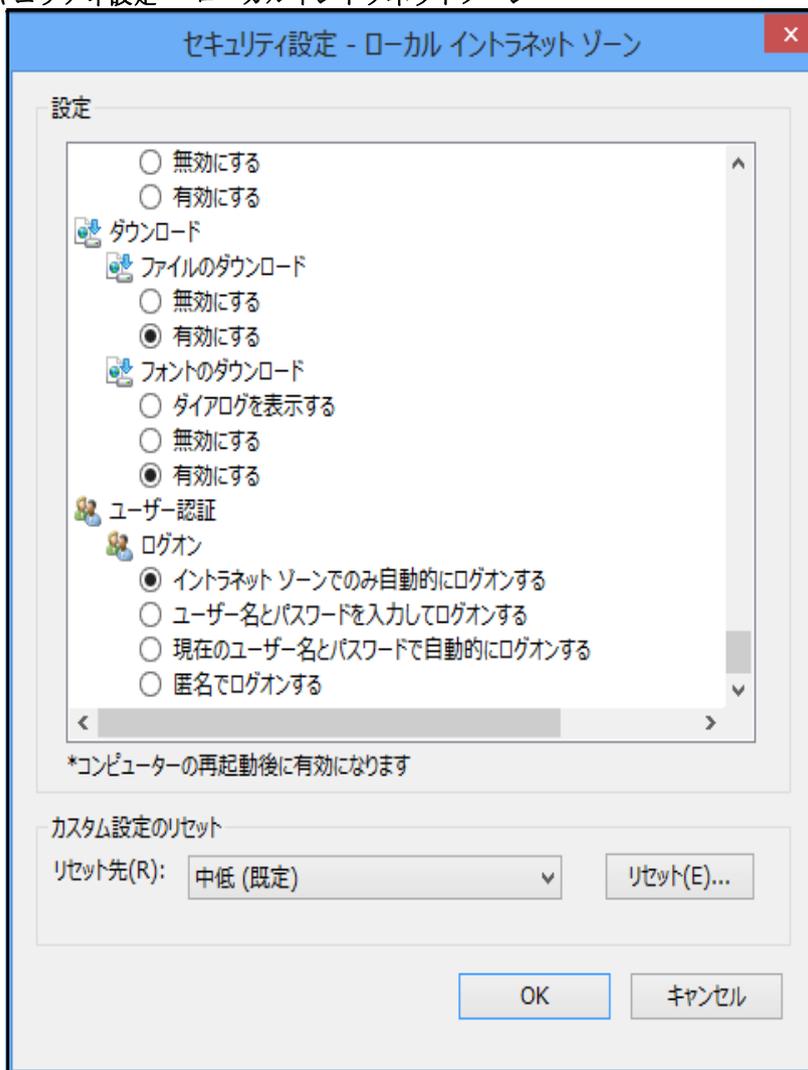
図 22-2. ローカル イン트라ネット - Web サイトの追加



**注意：** OMPM-Hostname、OMPM がインストールされているシステムのホスト名です。

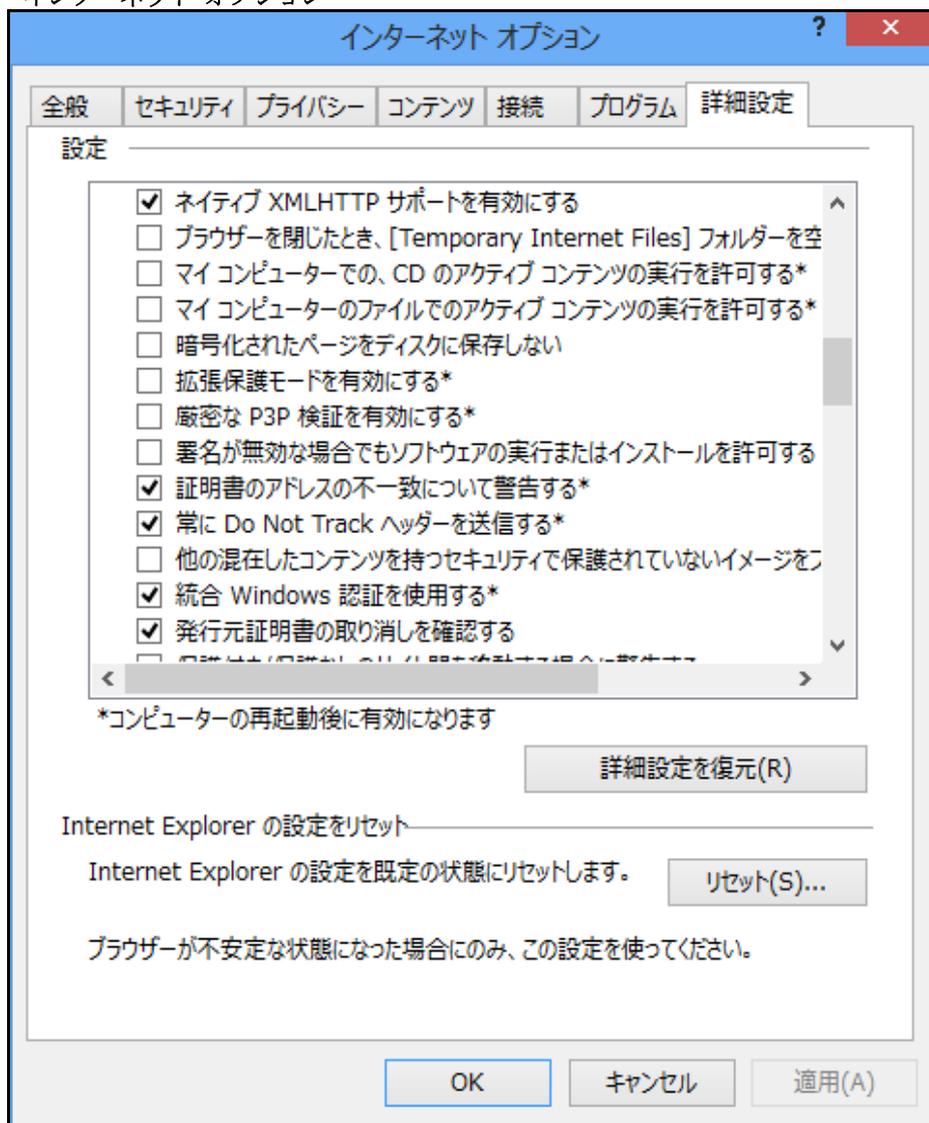
- e 閉じる ボタンをクリックして、ダイアログを閉じてから、OK ボタンをクリックして、セキュリティ タブに戻ります。
- f レベルのカスタマイズ... ボタンをクリックしてダイアログを開いたら、ユーザー認証セクションまでスクロールします。
- g 次の図に示すように、イントラネットゾーンでのみ自動的にログオンする を選択してから、OK ボタンをクリックして、セキュリティ タブに戻ります。

図 22-3. セキュリティ設定 - ローカルイントラネットゾーン



- h 詳細設定 タブを選択して **セキュリティ** セクションまでスクロールします。
- i 次の図に示すように、統合 Windows 認証を使用する \* のチェックボックスを選択して OK をクリックして設定を適用します。

図 22-4. インターネット オプション

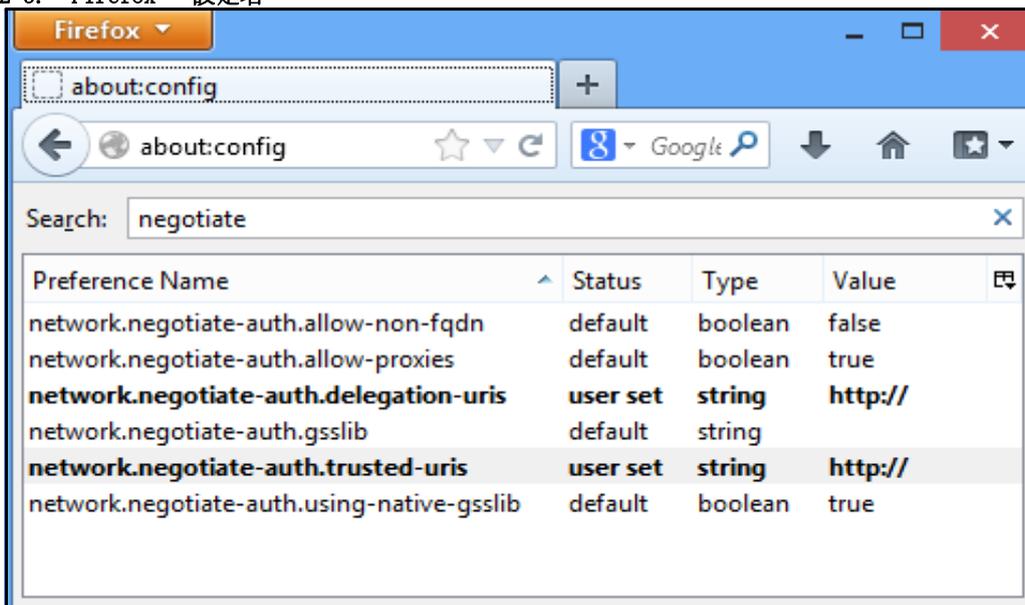


j IE を閉じて再起動することで設定を有効化します。

## Mozilla Firefox の構成

- a Firefox を起動します。
- b は、アドレスバーに `about:config` と入力します。
- c 検索バーに `negotiate` のフィルター文字列を入力します。
- d 以下の図に示すように `network.negotiate` の値の文字列を入力します：

図 22-5. Firefox - 設定名



## Chrome の構成

Chrome では、ブラウザ側で行う特別な設定が必要ありません。

- 2 Single Sign-On で設定するフィールドについてどうやって調べれば良いですか？

回答：Single Sign-On で設定するフィールドについての情報は、<http://technet.microsoft.com/enus/library/bb742433.aspx> をクリックして調べることができます。詳細については、ドメインの管理者に連絡してください。

- 3 keytab ファイルとは何ですか？ このファイルをどうやって取得すれば良いですか？

回答 :keytab とは、Kerberos のプリンシパルと Kerberos パスワードから導き出された暗号化鍵の組み合わせを含むファイルです。このファイルを使用することで、パスワードのプロンプトを表示せず Kerberos にログインすることができます。

このファイルは、ドメイン管理者から取得する必要があります。keytab についての情報は、<http://technet.microsoft.com/enus/library/bb742433.aspx> をクリックして調べることができます。詳細については、ドメインの管理者に連絡してください。

#### 4 「ADS ユーザーが OMPM に追加されていません」というエラーはどういう意味ですか？

回答：ログインして OMPM 機能にアクセスする前に、OMPM の管理者が OMPM のユーザーデータベースにユーザーを追加する必要があります。ユーザー管理 の章にある、ADS ユーザーを追加する のセクションを参照してください。

#### 5 「ADS ユーザーを認証できません」というエラーはどういう意味ですか？

回答：このエラーは、次のいずれかの理由が原因で引き起こされた可能性があります：

- ・ OMPM の URL に対して次のようなホスト名でアクセスしていません。  
*http://Hostname:<ポート>/OMPM/OMPM.html* ホスト名が OMPM のインストールされているホスト名である必要があります。また、ホスト名と IP アドレスとのマッピングエントリを、Windows マシンの `%systemroot%\system32\drivers\etc\hosts` に格納されている「hosts」ファイルに追加する必要があります。
- ・ Web ブラウザが Kerberos の代わりに TLM を使用して認証しています。これらの問題を解決するには、次のサイトへのリンクをクリックして内容に従います：  
[http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc779070\(v=ws.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc779070(v=ws.10).aspx)、<http://support.microsoft.com/kb/299838>、<http://support.microsoft.com/kb/908209>
- ・ Web ブラウザに SSO 認証の構成が設定されていない可能性があります。詳細については、質問 1. を参照してください。
- ・ シングルサインオンの設定が正しく構成されていない可能性があります。質問 2. と 3. を参照してください。Single Sign-On の構成の詳細については、ドメイン管理者に連絡してください。
- ・ OMPM を Windows Server 2012 R2 または Windows 8.1 Enterprise オペレーティングシステムにインストールしていない場合に、必要な Java Runtime Environment (JRE)、JRE 7 の更新 45 がされていません。JRE を既にインストールしているか、または、更新が含まれている最新の OMPM バージョンをインストールしている場合は、必要な JRE バージョンに更新する必要があります。

- 6 OPM インストール時に Single Sign-On の設定を行わなかった場合、どのように設定すれば良いですか？

回答：Active Directory Service の構成がこの設定を行うための必須条件になっている点に注意してください。詳細については、OPM から Active Directory (AD) 認証を構成する セクションを参照してください。

この構成の手順を続行する前に、OPM サービスがシャットダウンされ、このサービスにアクセスしているユーザーがアクセスできなくなる点について注意しておく必要があります。作業を保存し OPM アプリケーションを終了して、開いている Web ブラウザをすべて終了しておくことを強くお勧めします。

SSO をコマンドラインから設定するには、次の手順を実行します。

- a 管理者モードでコマンドプロンプトを開きます。
- b ディレクトリを OPM サーバのディレクトリの、「**<OPM インストールディレクトリ>\Dell Printers\OpenManage\OPMv2.0\server**」に変更します。
- c 次のコマンドラインオプションでバッチスクリプトを実行します。  
**SetupSSO.bat <Kerberos ドメインコントローラー名> <Kerberos レalm> <プリンシパル名> <keytab ファイルの絶対パス名>**  
構成オプションについて調べるには上記の質問 2. と 3. を参照してください。
- d 構成のスクリプトが完了するまで待機し、完了したら終了します。  
ウェブブラウザが OPM を自動的に起動するので、構成が正常に完了しているかどうか次のチェックボックスを確認します。

**Windows ログイン認証情報を使用します**

- 7 SSO のインストール no 段階で設定してあります。OPM からこの機能を有効化または無効化することができますか？

回答：はい、インストールの段階で SSO を設定してある場合は、OPM から SSO を有効化または無効化することができます。SSO を無効化するには、ナビゲーションペインから OPM にサインインして、**Application Settings → Users → ADS Configuration** にアクセスします。**Single Sign-on を使用する** チェックボックスが有効化されている画面が表示されるの、チェックボックスの選択を解除して Single Sign-on 機能を無効化します。ログインページでユーザー名とパスワードを入力することで OPM に継続してアクセスすることができます。

OMPM で SSO を有効化すると、以前に構成された SSO 設定が再度、使用されます。SSO 設定をアップデートする方法については、質問 6. を参照してください。

# インデックス

## O

### OMPM

- OMPM の起動, 15
- アーキテクチャ, 13

## S

### Single Sign-on, 17

- の設定, 35
- よくある質問, 271

## Z

### アラート

- SMTP/ 電子メール設定, 175
- 削除, 176
- 形式, 177

### アラートテンプレート

- FAQ, 266
- アラートテンプレートのマッピングアラートタイプ, 171
- アラートテンプレートの使用, 165
- サンプル, 172
- 作成とインストール, 166

### グループ

- グループの追加, 86
- プリンタのブロック, 90
- プリンタの削除, 90
- プリンタの編集, 90, 92
- プリンタの追加, 88
- 種類, 84

### スケジュール

- タスクの削除, 188
- タスクの更新, 186

### データベース

- クリーンアップのスケジュール, 212
- バックアップ, 217
- バックアップのスケジュール, 218
- ロールアップ, 212

### テンプレート

- コンポーネント, 134
- 更新, 146
- 登録, 144
- 種類, 134

### ナビゲーション

- コンテンツ領域, 38
- ショートカット, 37
- セクション, 33
- タイトルバー, 34
- パネル, 35
- 表示 / 非表示, 37

### ファームウェア

- アップグレード, 160
- ツールの追加, 156

### プラグイン

- FAQ, 269
- 削除, 227
- 追加, 226

### ヘルプ

- パネル, 42
- ヘルプを表示するには, 21

- マップ, 93-94
  - プリンタの検索, 63
  - マップの削除, 101
  - マップの追加, 97
  - 操作, 94
- ユーザー
  - ロール, 194
  - 削除, 210
  - 更新, 207
  - 追加, 200
- レポート
  - 生成, 110
- ログ
  - 表示, 190
- 接続
  - 設定の更新, 150
- 操作, 94
- 検出
  - CSV ファイル, 126
  - IP 範囲, 123, 219
  - サブネットマスク, 125
  - スケジュール, 128
  - 単一 IP, 121
  - 単一の IP, 218
- 構成
  - プリンタ設定の適用, 182
- 表示
  - プリンタの状態, 52, 54
  - プリンタの詳細情報, 60
- 設定, 57
- 警告
  - 構成, 162